

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587010501	科目番号 / Course code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12711_005		
授業科目名 / Course title	a1国際社会と日本経済 / International Societies and Japanese Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	成田 真樹子 / Narita Makiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	maki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 511研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	経済活動は国境を超える。輸出入やお金の移動, 労働者の移動などの問題を通じ, グローバル化による効果と課題について理解する。		
授業到達目標/Course goals	・国際的な問題とそれに関連した事象についての現状と課題を把握し, 説明できる (, ,)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1. 授業中の提出物, グループ学習の貢献度, プレゼンテーション (50%), 2. 期末試験 (50%) ただし, 1による評価が著しく低い場合には期末試験の受験資格を失う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 授業中に指示する。 復習: 授業やグループ学習の内容を復習し, 理解を深めること。 (予習, 復習合計で4時間)		
キーワード/Keywords	グローバル化, 貿易, 国際投資		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。資料を配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	世界経済の動向と課題
第3回	世界経済の動向と課題
第4回	国際貿易
第5回	国際貿易
第6回	国際貿易
第7回	為替レート
第8回	為替レート
第9回	地域経済統合
第10回	地域経済統合
第11回	国際投資
第12回	企業の国際化
第13回	企業の国際化
第14回	グローバル化の光と影
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587011301	科目番号 / Course code	05870113
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12731_005		
授業科目名 / Course title	a1企業行動と戦略COC / Organizational Decision Making and Strategy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	MONOPOLYのゲーム体験を通じて、ルールのマスター、ゲームの全体像の把握、不動産取引・金融の基礎のマスター、土地・税制の歴史ならびに都市計画法等による不動産に対する各種規制、これらへの興味喚起を促す。受講生の関心に応じて長崎県内の特定地域を事例としてとりあげる。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び、考え、主張し、行動することができる。」「主体性をもって他者と協働できる。」これらのために、MONOPOLYをプレイヤーとしても銀行係としても紳士・淑女的に運営できる。ゲームの全体像、ルール、その趣旨を説明できる。不動産取引・金融の基礎を説明できる。土地・税制の歴史ならびに都市計画法等による不動産に対する各種規制を説明できる。長崎県内の特定地域の事例分析ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOYのプレイヤーと銀行係の両方を体験させる。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゲームへの関与 (40%) , 筆記試験または口頭試問 (30%) , レポート課題 (30%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	各回、予習2時間と復習2時間を、以下について割いてください。LACS授業資料に掲げるリンク先サイト (不動産・開発事業関連、ハザードマップなどCOC関連) , 公式ルール (英文) , 日本語ルール , 教科書の関連する箇所について、事前・事後に目を通すこと。		
キーワード/Keywords	MONOPOLY, 不動産経営, 資産運用, 複式簿記, 抵当権, 処世術・交渉術, 土地・税制, 民法, 長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 林徹 (2019) 『モノポリーで学ぶビジネスの基礎 (第2版)』中央経済社。 参考書: Koury, Ken (2012) Monopoly Strategy, Lulu.com.		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	不動産経営や開発事業に関心があればベストです。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程（所得税法上の勤労学生：1983-1988）に在籍中、老舗割箸小売商、有限会社遠州屋商店（横浜市中区長者町）において、横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引（御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり）、視覚障がいをおもちの内職さんとの取引（割箸袋への割箸の挿入）、その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般、トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス（教員紹介、受講者からの希望と受講者の時間割の確認、単位認定要件の確認）、課題レポートの案内
2	デモンストレーション（ルールと流れの説明）、グループ分け
3	ゲーム実践：予選1
4	ゲーム実践：予選2
5	ゲーム実践：予選3
6	ゲーム実践：予選4
7	ゲーム実践：決勝
8	ゲーム実践：順位決定戦
9	ルール、定石、交渉術等のマスター（和文・英文の文献使用）
10	課題レポートの報告会1
11	課題レポートの報告会2
12	課題レポートの報告会3
13	課題レポートの修正報告会
14	ルール、定石、交渉術等に関する筆記試験または口頭試問
15	ルール、定石、交渉術等に関する筆記試験のレビューまたは再試験
16	当クォーターの反省と今後の展望

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587011701	科目番号 / Course code	05870117
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12741_005		
授業科目名 / Course title	a1社会制度と経済活動 / Social System and Economic Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	千野 厚 / Chino Atsushi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	千野 厚 / Chino Atsushi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	千野 厚 / Chino Atsushi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	achino nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 本棟626		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールにて面会日時の予約をすること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	全学モジュール科目の一つであり、金融市場が、消費者や企業の活動に、どのような機能を果たしているかを多面的に考察する。また、金融市場が効率的に作用するための制度・法律面に関する考察も行う。		
授業到達目標/Course goals	基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(または期末レポート)100点で評価し、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: LACSにおいて授業資料を事前に配布し、読んでおくべき箇所を示すので、それらに目を通したうえで講義にのぞむこと。(2h) 復習: 授業資料を再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	市場、金融取引、金融制度		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 岩田規久男『テキストブック金融入門』東洋経済新報社 2008年		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特に無し		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks (URL)	Yahooファイナンス等のサイトなどの金融・ファイナンスに関する情報に対して、常に興味を持っておくことを勧める。 https://finance.yahoo.co.jp/		

学生へのメッセージ/Message for students	金融の基礎的な知識を習得する。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	千野 厚/ 製造業企業(ABB(株))財務部における実務経験/ 同社での資金運用・調達・リスク管理の経験に基づき、金融の基礎を実例を用いて解説。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	貨幣と決済の仕組み(1)
第3回	貨幣と決済の仕組み(2)
第4回	銀行による貨幣の供給(1)
第5回	銀行による貨幣の供給(2)
第6回	間接金融の仕組み(1)
第7回	間接金融の仕組み(2)
第8回	直接金融の仕組み(1)
第9回	直接金融の仕組み(2)
第10回	金融市場と金融資産
第11回	リスクと金融制度(1)
第12回	リスクと金融制度(2)
第13回	金利と資産の価格(1)
第14回	金利と資産の価格(2)
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587010502	科目番号 / Course code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12711_005		
授業科目名 / Course title	a2国際社会と日本経済 / International Societies and Japanese Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山岡 時生 / yamaoka tokio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山岡 時生 / yamaoka tokio		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山岡 時生 / yamaoka tokio		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多、教、薬、水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tokio.yamaoka@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	経済学部本館624号室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	(メールでアポ対応しますが片淵ですので) 授業前後に質問してもらえれば対応します。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	経済のグローバル化が進展する中、企業は日本経済のみならず世界経済の状況を勘案して活動していく必要があります。本講義では、国際経済問題が日本に与える影響及び直面する課題について、国際機関等の活動を通じて概観しそれら課題について考察します。		
授業到達目標 / Course goals	国際機関や国際経済に関するニュースを理解することなどにより、国際経済に係る基礎的素養及び幅広い知識を身につけ、それら素養と知識を駆使した思考方法・素養を身につけ、さらにそれらに関する自らの考えを説明できるようになることを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	講義の前半 (オンデマンド) : 講義資料により、基礎的事項、問題背景等を説明します。 講義の後半 (対面) : 講義内容に応じて少人数で課題について議論し、それについての意見をとりまとめて発表、講義内容に関する小レポートの作成に取り組んでもらいます。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前にLACSに掲載する授業のパワーポイントを読み、知らない用語等基本的事項は調べておくこと (1~2h)、また毎回、授業での説明・グループでの議論を踏まえたレポート提出を課します (2~3h)。		
キーワード / Keywords	グローバル化、貿易自由化・保護貿易、食料安全保障、環境保護、知的財産保護、長崎		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は指定しません。毎回の講義資料はLACSに掲載します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	経済のグローバル化が進展する中、国際経済の動きと地域経済を含めた日本のあり方について共に考えたいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	教員は財務省税関より出向中。国際機関 (UNCTAD) や在外 (在ベルギー大使館、米国プリンストン大学) での経験が豊富であるため、WTO・EPAを含めた国際貿易・交渉の実態や税関における実務問題も踏まえ講義します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1・2回	授業の概要、国連、ブレトンウッズ体制
第3・4回	国際貿易問題
第5・6回	開発途上国とODA
第7・8回	知的財産権保護
第9・10回	食料・エネルギー安全保障
第11・12回	貿易と環境
第13・14回	自由課題 (国際問題)
第15・16回	講義全体のまとめ、定期試験 (注) 講義内容は前後することがあります。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587011302	科目番号 / Course code	05870113
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12731_005		
授業科目名 / Course title	a2企業行動と戦略COC / Organizational Decision Making and Strategy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-okada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所3階		
担当教員TEL/Tel	経済学部研究室 内線 6-352		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了後。事前に質問事項を決めている場合には、上記メールアドレスに、件名に「質問、学生 番号、氏名」を書いて、送ってほしい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>企業のみならず組織の経営や行動の前提には戦略があるが、戦略決定のためには投資意思決定や業績評価があり、またその戦略を具体化するものとして利益計画がある。利益は、病院等の非営利組織と言われるところでも、継続的な経営のためには、不可欠なものであることに注意してほしい。本科目では、企業行動や戦略の基礎にある管理会計について講義する。なお、具体的な事例として、長崎を代表する不動産ホールディングス代表取締役社長による講演及び学習を2コマほど予定している(COC+対応)。下記授業計画では、13回目と14回目に記載しているが、これは暫定的なもので、講義開始時点では変更されている可能性があるため、注意すること。製造業を例にするとはいっても、工学系の内容ではない。</p> <p>本講義は対面式を原則としたいが、状況によってはリアルタイムオンラインまたはハイブリッド型とすることもある。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>管理会計の体系を説明できる(、、B) 内部統制を通じて、会計上遵守すべきことを説明できる() 基礎的な意思決定や業績評価の問題に必要な情報(データ)を知り、それに基づいて課題を解くことができる(、、、B) 長崎地場企業の具体的な事例に即した課題に対して、主体的に取り組み、相手の意見を傾聴するとともに、自らの意見を論理的に説明(プレゼン)することができる(、、、、C、D)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	知識の理解を確認するための期末試験またはレポート(60点)+課題に対する取組み(プレゼンテーションを含む)(20点)+予習や復習(20点)=100点のうち60点以上を合格とする		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：毎回の講義で使用する予定の資料をLACSに掲載するので、ここに指示した内容に基づいて、講義の準備をすること(4h) 復習：毎回の講義で使用する資料の末尾に記載した内容または講義中に指示する(4h)		

キーワード/Keywords	利益計画と予算、戦略とビジョン、業績評価、長崎県 等
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定しないが、あらかじめ(または事後に)必要な資料をLACSに掲示する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし。授業の位置づけのところで記載しているように、製造業の経営を例として取り上げるが、工学の知識を前提にしない。あくまでも「経営」を考える素材として取り上げているだけなので、他学部の人は、自分が所属する学部の立場で自由に考えてほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	電卓を使うことがある
学生へのメッセージ/Message for students	この講義は、管理会計といわれる領域の基礎を対象としているので、数字を扱うことがある。日時としては11/19を予定しているが、不動技研ホールディングスの協力を得て、2回ほど、代表取締役社長による講演とグループワーク、さらにその成果発表をしてもらうので、この回は、無断欠席しないようにすること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	11月19日に予定している第13・14回の講義では、塩塚武氏を迎える。塩塚氏は、税理士事務所での勤務経験も有している。これまでの勤務の経験を基に、現在予定している講演内容は、「中小企業における意思決定とその事業戦略 ~脱炭素社会にむけて~」である。これらを通じて、経営の実践を理解してもらうことを目的とする。13回目の時間帯にこの講演を聞いた後、14回目の講義で地域貢献をテーマにしたグループ学習とその発表をしてもらう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	管理会計の概要(経営活動の流れ、会計とは、財務会計との相違、意思決定会計と業績評価会計、営利組織と非営利組織等)
第2回	異なる目的に異なる原価
第3回	利益計画(利益を増やす(損失を減らす)にはどうしたらよいか)
第4回	目標利益と損益分岐点分析(CVP分析)
第5回	原価管理と予算(1)
第6回	原価管理と予算(2)
第7回	意思決定と業績評価(1)
第8回	意思決定と業績評価(2)
第9回	設備投資意思決定
第10回	監査と内部統制
第11回	長崎県の産業などの紹介
第12回	不動技研に関する事前調査
第13回	不動技研ホールディングス社長による講演「中小企業における意思決定とその事業戦略 ~脱炭素社会にむけて~」
第14回	キーワードに基づくグループ討論(30~40分程度)と成果の発表(40分程度)、講師による講評
第15回	講義のまとめ
第16回	定期試験(50分または60分) 都合によっては、レポートに変更することもある

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587012101	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	a2経営情報と会計情報 / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	turusaki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階601		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて受け付ける turusaki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	イノベーションを創出するために必要となる「発想の事業化」について、そのプロセスを体感的に 学習する		
授業到達目標/Course goals	自ら学び、考え、主張し、行動することができる 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている 主体性をもって他者と協働できる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み (100点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 必要な場合は授業中に提示する (2 h) 事後学習: 授業で学んだことを整理するなど、復習に努める (2 h)		
キーワード/Keywords	イノベーション、発想、事業化		
教科書・教材・参考書/Materials	必要な資料は授業中に配布する		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-mail) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イノベーションとは D4モデルとは
第2回	Define 市場の定義
第3回	Discover アイデアの発想
第4回	Develop(Design) アイデアの設計
第5回	Demonstrate 証明する
第6回	プレゼンテーション1
第7回	振り返り

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587022101	科目番号 / Course code	05870221
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13921_005		
授業科目名 / Course title	a3エネルギー・マネジメント / Energy Management		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 敬彦 / Yamashita Takahiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 敬彦 / Yamashita Takahiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 敬彦 / Yamashita Takahiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamac nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部2号館E405		
担当教員TEL/Tel	095-819-2539		
担当教員オフィスアワー/Office hours	適時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教養科目		
授業到達目標/Course goals	エネルギー利用に関する課題発見ができるとともに、何らかの解決策を提示できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポートで評価し、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前に関係資料等に目を通しておく。(平均2時間) 時間外にレポートおよび調査・提案書作成 等を行う。(平均2時間)		
キーワード/Keywords	エネルギー・環境		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じてプリント等を配布する		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) /Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス 科目の概要、狙い、位置づけ、到達目標、各単元の到達目標、評価方法を理解する。
2 - 4	日本のエネルギー事情 日本のエネルギー事情について、その特徴と課題、日本のエネルギー問題への取り組みを理解する。
5 - 7	省エネ法および環境配慮法と環境レポート
8	課題探求と題解決の方法 課題探求と課題解決の方法を理解する。
9 - 12	情報収集および課題探求 長崎大学のエネルギーの利用状況について、情報を収集し、課題を探求する。
13 - 16	解決策の立案 ブレインストーミングとKJ法を利用して課題解決案を立案する。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587023301	科目番号 / Course code	05870233
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13951_005		
授業科目名 / Course title	a3廃棄物のマネジメントCOC / Management of Solid Waste		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	juniper_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2227		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで問い合わせ		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	廃棄物の処理に関する法律等を理解するとともに、居住地域としての長崎地域のごみの分別方法を確認し、他地域のごみの分別方法と比較することにより、廃棄物処理の現状認識を行う。また、実際に廃棄物の分別を体験し、廃棄物のマネージメントに関する知識と理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	日本の廃棄物処理のデータ分析と、学内の「ごみ」の実態調査・分析から、長崎地域と社会に必要な廃棄物のマネージメントについて考察する力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の授業への積極的な参加30%, レポート70%で評価し, 60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	シラバスの内容に沿った事前学習(2h程度), および, 各調査・分析毎に簡単なレポートを作成し提出する事後学習があります(2h程度)。		
キーワード/Keywords	廃棄物 ごみの分別 ごみ処理の方法 長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。資料は適宜提示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	環境と人類の持続可能な発展を受講していること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	自分が住んでいる自治体で定められているごみの分別方法を正しく理解しておくこと。グループ活動を中心とした実態調査, データ分析, 課題抽出が主体となるので, 欠席の影響は, 次の講義, さらに個人だけではなくグループにも及ぶことを念頭に置いておいてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ごみの話, 関連する法制度についての概要説明
第2回	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) の概要説明
第3回	居住地域のごみ分別方法について調査する
第4回	居住地域のごみ分別方法の調査結果を分析する
第5回	居住地域のごみ分別方法と他地域のごみ分別方法と比較検討し, 「ごみを分別すること」について考察する
第6回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する 1
第7回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する 2
第8回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を分析する
第9回	日本の廃棄物処理の現状評価から問題点を抽出する
第10回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う 1
第11回	長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する
第12回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う 2
第13回	長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析を行い, 現状を評価する
第14回	長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出する
第15回	「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討し, 提案する

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587050901	科目番号 / Course code	05870509
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15351_005		
授業科目名 / Course title	a3有害化学物質のマネジメント / Management of Harmful Chemicals		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	久保 隆 / Kubo Takashi, 真木 俊英 / Maki Toshihide		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	久保 隆 / Kubo Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	久保 隆 / Kubo Takashi, 真木 俊英 / Maki Toshihide		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kubo-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部 環335室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2756		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前連絡があれば随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	有害化学物質のマネジメントについて理解するとともに、長崎大学における廃液処理の実際を学び、長崎大学コミュニティの一員としてとるべき行動について理解を深める。		
授業到達目標 / Course goals	有害化学物質による汚染事例について自ら学び()、議論や発表を通じて理解を深める()。また、有害化学物質の管理制度について学ぶとともに()、本学における廃液処理管理等に関して学生相互に意見を出し合い、課題を発見・解析できるようになる()。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	講義への積極的取り組み30%, 試験20%, レポート50%で評価し, 60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	グループ内で分担した公害に関する調査を進める。また、講義で扱うテーマを提示するので、それについてネットなどを使って調べる。(2h) 講義資料を復習し、理解を深める。(2h)		
キーワード / Keywords	リスク、化学物質管理制度、実験廃液管理、公害、課題解決		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は使用しない。教材はPDFファイル等で提供する。 参考書: 「えっ! そうなの?! 私たちを包み込む化学物質」コロナ社、「基礎化学実験安全オリエンテーション」東京化学同人		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	予習と復習を前提とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	定期的にニュースをチェックすることや、幅広い内容について読書することも、この講義の理解を深めるために有用です。前向きな取り組みを期待します！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス： 科目の概要、狙い、位置づけ、到達目標、授業の方法、各単元の到達目標、評価方法を理解する。 課題探求と課題解決の方法について理解する。
第2回	実験時の安全： 実験に用いる薬品や器具等の基本的な取扱方法、具体的な安全対策について理解する。
第3回	安全・安心とリスク(その1)： 安全・安心の考え方、およびエラーとその対策概念の基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。
第4回	安全・安心とリスク(その2)： 化学物質の取り扱いに関するリスクアセスメントの基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。
第5回	毒性試験と毒性値： 毒性試験や毒性値の種類を学び、それらの意味を理解する。 GHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)やラベル表示の概要を理解する。
第6回	基準値等の設定： 化学物質の毒性に基づいた基準値や指針値設定の考え方を理解する。
第7回	特定化学物質の取り扱い： 特化則(特定化学物質障害予防規則)の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第8回	有機溶剤の取り扱い： 有機則(有機溶剤中毒予防規則)の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第9回	廃液処理システム： 本学の有機系及び無機系実験廃液処理施設の概要を学ぶ。また、本学の実験廃液管理システムについて理解する。
第10回	重金属廃液の処理効果の確認と施設見学： 簡単な実験を通して、廃液の分別の重要性を理解する。また、実施設の見学を通して、廃液処理を体験的に理解する。
第11回	廃液に関する課題解決(その1)： 本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。
第12回	廃液に関する課題解決(その2)： 本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。
第13回	公害に関する課題解決(その1)： 公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。
第14回	公害に関する課題解決(その2)： 公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。
第15回	テスト・レポート： テストによる知識の定着の確認を行う。また、公害について世界に発信すべき教訓を考え、まとめる。
第16回	総括： 講義の評価を行い、改善点等について議論する。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587060701	科目番号 / Course code	05870607
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15551_005		
授業科目名 / Course title	a4世界のことばの多様性COC / The World's Linguistic Diversity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	TOET RUDY		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	TOET RUDY		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	TOET RUDY		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rudytoet nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階ライティングセンター・留学相談室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の直後またはメールにて質問を受け付ける。メールによりアポイントメントを取ることもできる。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音声学・音韻論(発音)、形態論・統語論(文法)等の各観点から、世界の各言語に見られる様々な表現の仕方について考察する。日本語や英語の比較的身近な言語から聞いたことすらない言語まで幅広く見ていき、ヒトを特徴づける「ことば」というものの多様性に驚きながら、その表面の下にある人間の普遍性を示唆する側面も探る。また、他言語に見られる特徴が、日本共通語・標準語には見られないが、長崎方言(九州方言)には見られるなどのようなケースを通じて、世界のことばの多様性のみならず日本のことばの多様性についても理解を深め、地元のことばを考える機会ともする。学生の英語などの外国語学習に対する刺激になることも狙いの一つである。		
授業到達目標/Course goals	1. 世界の各言語のどの側面がどのように異なり得るか、そしてどのような普遍的な側面があるかを理解し、説明できるようになる((1)(7)(10))。 2. 自分の使うことば・地元のことばの特徴を把握し、世界のことばの多様性の中に位置づけることができるようになる((1)(7)(10))。 3. 英語などの外国語学習において取り組むべき要素を新たに見付け、その方法を考えることができるようになる((1)(2)(9))。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 授業で得た知識を活用して、外国語学習において取り組むべき要素を主体的に確認する活動 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み 30点 内容理解確認小テスト(平均点数) 20点 提出課題(平均点数) 20点 定期試験 30点 合計100点の内60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】毎回指定される資料を予め読んでおくこと。(1コマ当たり2時間) 【復習】授業の内容に対する学生の理解を確認するために定期的に実施する小テストのための復習と、数回提出を求める異なる言語のある特徴を比較する小レポートの執筆。(1コマ当たり2時間)
キーワード/Keywords	世界の各言語の音声学・音韻論・形態論・統語論、長崎県・九州地方の方言
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。授業で適宜に資料を配布する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1~2回	オリエンテーションに加えて世界の各言語について概説する。
第3~4回	音声学の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第5~6回	音韻論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第7~8回	形態論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第9~10回	統語論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第11~12回	「言語行為」(speech acts)の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第13~14回	時制(テンス)と相(アスペクト)の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第15回	第14回まで扱った内容をまとめる。
第16回	定期試験を実施する。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587068701	科目番号 / Course code	05870687
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a4日本の中の世界、世界の中の日本 / The world in Japan, Japan in the World,		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	木村 直樹 / Naoki KIMURA		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	木村 直樹 / Naoki KIMURA		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	木村 直樹 / Naoki KIMURA		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-kimura nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2914		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	明治時代より前の日本を前近代の日本と言う。近年の前近代の日本列島と世界に関わる研究のトピクスをとりあげ、日本を取り巻く世界と大きく相互に影響しているという視点から、日本の国家・社会が形成されていったことを学ぶ。特に、近世(江戸時代)の海外からの技術の受容という話題も盛り込む予定であるので、技術と社会についても考えるきっかけとなしてほしい。		
授業到達目標/Course goals	学生が、自分の住む社会が前近代からの延長線上にあることを理解できるようになる。特に、日本独自に自立的に社会が発展してきたと理解されがちな前近代の日本社会は、海外との関係ぬきにしては成り立たなかったことを具体的に理解できるようになり、そのことは、地域社会の将来を考える上で、グローバルな視点を現代のみならず過去からも理解する視点を身につけることになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義期間中に提出する小課題(40%)と定期試験(60%)の合計		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義内容にそった復習をレポートの提出(事前2h、事後2h)		
キーワード/Keywords	日本史 長崎学 技術と社会 対外交流		
教科書・教材・参考書/Materials	講義中に随時紹介していく		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	ガイダンス 日本の国家形成と東アジア世界	A B
第2回	渤海と刀伊	A B
第3回	平氏政権・蒙古襲来	A B
第4回	日本国王源道義と倭寇	A B
第5回	銀・鉄砲・キリスト教	A B
第6回	近世国家の特質 兵営国家をめぐる	A B
第7回	4つの口 長崎	A B
第8回	4つの口 蝦夷地	A B
第9回	4つの口 琉球	A B
第10回	4つの口 対馬	A B
第11回	翻訳の試行錯誤と技術	A B
第12回	大砲・小銃と社会	A B
第13回	和船から西洋型艦船へ	A B
第14回	病との闘い	A B
第15回	鉱山・冶金の世界 まとめ	A B
第16回	定期試験	A B

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587068901	科目番号 / Course code	05870689
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a4思想から見た九州 / Kyushu's Perspective from History of Idea		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森 元斎		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森 元斎		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森 元斎		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	motonaomori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟12階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近代以降の九州、とりわけ現在の国道3号線沿い周辺域で生じた出来事を、民衆の視線で取り上げ、近代化の流れへの抵抗や、近代的なものからの暴力がどのようになされてきたのかを論じ、民衆がどのようにして生きてきたのかを明らかにします。これに加えて、九州に住む現在の私たちの歴史を学ぶことも目的とします。		
授業到達目標/Course goals	近代以降の九州の民衆が、どのように近代化の時流に対応したのかを理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義期間中に提出する小課題 (40%) と定期試験 (60%) の合計		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】次回講義のキーワードを提示するので、キーワードに関する内容を各自、文献、Web等で調べておくこと。(2h) 【復習】講義資料を復習すると共に、講義時のレポート課題に関して、講義資料で紹介されたHPや文献で理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	国道3号線、米騒動、炭鉱、水俣、西南戦争、近代化		
教科書・教材・参考書/Materials	森元斎『国道3号線 抵抗の民衆史』共和国、2020		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	関連する書籍などを読むことが望ましいです。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)	指定した教科書から課題を出しますので、手元にあることが望ましいです。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	ガイダンス：九州の近代化と国道3号線 九州と世界
2回	北部九州の近代化 アジアとのつながり
3回	門司港の米騒動 第一次世界大戦
4回	炭鉱の米騒動 軍部と民衆
5回	サークル村の磁場 上野英信
6回	サークル村の磁場 谷川雁
7回	サークル村の磁場 森崎和江
8回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文(1)
9回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文(2)
10回	戦争と詩 丸山豊
11回	山鹿コミュニケーション ルソーの思想とコミュニケーション
12回	宮崎滔天のアジア
13回	水俣病 医学者としての原田正純
14回	水俣病 世界文学としての石牟礼道子
15回	西南戦争と近代化
16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587063901	科目番号 / Course code	05870639
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15691_005		
授業科目名 / Course title	a5文化人類学でみる世界と日本 / Anthropology for Cross-Cultural Understanding		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hosoda_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバル化の時代、さまざまな国、文化、宗教の人たちとともに働き、暮らす方法を模索しているのは日本だけではない。この授業では、多様な文化的背景を持つ人たちが共存する東南アジアの国々について学ぶ。前半では多文化社会としての東南アジアの魅力や将来について取り上げ、後半では東南アジアと日本との関わりについて議論する。授業の一環としてグループワークやゲストトークも取り入れる。		
授業到達目標/Course goals	(1) 現在の東南アジアに関する知識を習得する。(2) 多文化が共存する社会の政策や現実について具体的に述べる事ができる。(3) 東南アジアの魅力について自分で調べ、発信できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加(毎回の授業中の積極的な態度や課題への取り組み、コメントカードの内容)50点、授業中に行う小テストやグループ発表の成果30点、最終試験(あるいは最終レポート)20点の計100点で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: LACSにある資料を読み、自分の考えをまとめ、質問を準備すること。小テストや最終試験等の準備。(2h) 復習: 分からなかった単語や事象を授業後に自分で調べるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	東南アジア、多文化共生、アジアとの交流史		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はない。毎回、予習のための教材を指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	1．グループワーク活動に積極的に参加できることが受講の条件です。よって毎回の出席が必須です。2．まわりの人たちの学習のさまたげにならないよう、私語や携帯電話、スマートフォンなどの使用はひかえてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	イントロダクション、東南アジアの多様性：自然・経済・文化
第3-4回	東南アジア社会の成り立ち：地域の歴史から問い直す
第5-6回	多民族国家の誕生と現在：多宗教の共存に中心に
第7-8回	経済発展と移民労働：受け入れ国と送り出し国の両側から
第9-10回	東南アジアと日本
第11-12回	世界のなかの東南アジア
第13-14回	グループ発表
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587064101	科目番号 / Course code	05870641
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15701_005		
授業科目名 / Course title	a5国際関係論 / Introduction to International Relations		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	NURGALIYEVA LYAILYA		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lyailya.nurgaliyeva@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5F助教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2938		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業後或いは事前にメールで連絡		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	複雑な国際関係を基礎的な概念と理論で把握し、現代の主要な国際問題(たとえば、平和、環境、難民、寛容など)を検討する。その背景にある歴史、文化、思想、経済の変化は国際関係の学際的な枠組みを作り上げる。安全保障、経済と社会のグローバル化、人権の擁護などを事例にして、国際関係の理解を目指す。		
授業到達目標/Course goals	この授業では、複雑な現代国際関係を理解することと国際関係に関する基本的な判断力を養うことを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況 = 15% 予習・復習への取り組み(課題提出) = 25% 最終レポート = 60% *期間中に行うディスカッションも評価の対象とする *ディスカッションに参加するためには講義への出席が最低条件となる		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: ディスカッションや最終試験等の準備。新聞やテレビなど、いきかうニュースを見ること。 事前資料がある場合は資料を読むこと。(2h) 復習: 分からなかった単語や事象を授業後に自分で調べるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	平和と紛争、国際移民、国家、外交、グローバル化、人権、人間の安全保障、国家安全保障		
教科書・教材・参考書/Materials	プリントを配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	どなたでも受講可能です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業中に行うディスカッションに積極的に参加することは非常に重要です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション: 国際関係論とは
第2回	国際関係と歴史
第3回	国際関係の理論 (リアリズム)
第4回	国際関係の理論 (リベラリズム)
第5回	ゲーム理論
第6回	国際関係の理論 (コンストラクティビズム)
第7回	環境問題-1
第8回	環境問題-2
第9回	貧困問題-1
第10回	貧困問題-2
第11回	国際連合-1
第12回	国際連合-2
第13回	国際紛争・国内紛争
第14回	紛争の解決
第15回	国際社会における日本の位置づけ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587066101	科目番号 / Course code	05870661
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16371_005		
授業科目名 / Course title	a5文化資源と日本COC / Cultural Resources in Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	才津 祐美子 / Saitu Yumiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	才津 祐美子 / Saitu Yumiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	才津 祐美子 / Saitu Yumiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	saitu.kogi@gmail.com (を@に変更して送信してください。)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 14:30 - 16:00 事前にメールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	文化の創造・継承・活用の現代的な在り方を、文化の資源化という視座から、様々な言説および実践を通して考察する。事例として、身近な文化的事象=長崎に関するもの(「潜伏キリシタン関連遺産」や「よさこい」など)も取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・文化の創造・継承・活用の現代的な在り方を知り、説明できるようになる。 ・自らの身の回りの文化に目を向けるようになる。 ・一つの事象に対して多角的に考察する必要性を理解し、自らもそのような考察ができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ミニツツペーパー(40点)、期末レポート(60点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】 LACS上でレジюмеや参考資料を配布するので、授業前に読み、わからない言葉などは調べておくこと。(2h) 【復習】 授業の内容を復習し、理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	文化資源、地域文化、観光、文化政策、文化財 / 文化遺産、知的財産権		
教科書・教材・参考書/Materials	基本的には、講義ごとに要点をまとめたレジюмеを配布する。 参考文献：岩本通弥編2007『ふるさと資源化と民俗学』(吉川弘文館)、才津祐美子2020『世界遺産「白川郷」を生きる - リビングヘリテージと文化の資源化』など(講義内で適宜紹介する)。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回授業の最後に提出するミニツツペーパーを利用して、授業に積極的に関わってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	本講義の概説 - 「資源」としての文化 日本の観光史(1) - 概論編
第2回	日本の観光史(2) - 国際博覧会編
第3回	地域と文化(1) - 日本の文化政策の転換
第4回	地域と文化(2) - 文化政策の背景
第5回	地域と文化(3) - 文化政策の現在 地域文化は「財」である(1) - 日本における文化財保護制度の変遷
第6回	地域文化は「財」である(2) - 点の保存から面の保全へ
第7回	地域文化は「財」である(3) - UNESCOの世界遺産条約
第8回	地域文化は「財」である(4) - UNESCOの無形文化遺産保護条約
第9回	事例でみる文化の資源化(1) - 「白川郷」の発見（「大家族制」）
第10回	事例でみる文化の資源化(2) - 「白川郷」の発見（「合掌造り」）
第11回	事例でみる文化の資源化(3) - 「合掌造り」の文化財 / 文化遺産化とその影響
第12回	文化遺産の遺し方 - 移築保存と現地保存をめぐって
第13回	文化遺産の「価値」とは何か - 「潜伏キリシタン関連遺産」を事例として
第14回	文化の変容・創造・伝播(1) - 概論編
第15回	文化の変容・創造・伝播(2) - よさこい編
第16回	講義全体の総括および期末レポート

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587008101	科目番号 / Course code	05870081
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11911_005		
授業科目名 / Course title	a6伝承薬から最先端医薬品まで(薬はこうして創られる) / From Folk Medicines to Advanced Medicines		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石原 淳 / Ishihara Jun, 福田 隼 / Hayato Fukuda, 小嶺 敬太 / Komine Keita		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石原 淳 / Ishihara Jun		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石原 淳 / Ishihara Jun, 福田 隼 / Hayato Fukuda, 小嶺 敬太 / Komine Keita		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	石原 ; jishi nagasaki-u.ac.jp、福田 ; hfukuda nagasaki-u.ac.jp、小嶺 ; keita_komine78 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	薬学部3階 薬品製造化学研究室		
担当教員TEL/Tel	819-2426 (石原), 819-2427 (福田), 819-2428 (小嶺)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-木 15:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々の身の回りにある医薬品は化学物質で構成されている。化学物質は原子から出来ており、医薬品の作用機構など生命現象の多くは化学の言葉で語ることが可能である。高校の受験科目としての化学ではなく、生きた化学を理解し、医薬品の化学を通して化学を面白く感じるようになることが授業の狙いである。		
授業到達目標/Course goals	<p>人類の病気との戦いの歴史は、医薬品創製の歴史でもある。経験的に見出された伝承薬、天然物から発見された医薬品、そしてコンピューターによってデザインされた医薬品など、様々な医薬品はどのようにして合成し供給されるのか。幾つかの医薬品を例にとり、化学が医薬品開発に果たしてきた役割を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝承薬から最先端医薬品までの種々のくすりに関して、化学的観点から作用機序やその供給方法について説明できるようになる。 ・与えられた課題に対して何が必要かを自分で考えながら取り組むことができる。 ・レポート課題やプレゼンテーションなどにおいて、授業で取り上げた範囲を超えて関連する事柄についても自発的に調べることができる。 ・グループワークにおいて、メンバー他者と協力しながら、物事を進展・達成することができる。 ・グループワークにおいて目標を達成するために自分の役割を果たすとともにメンバー他者へ配慮した行動をとることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価の方法：積極的授業参加態度(40%)、グループプレゼンテーションの発表内容および報告レポート(60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。 基準：上記の到達目標に対しての達成度を課題演習、発表内容および報告レポートで評価する。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：教科書の該当範囲について事前に読んでおくこと。(2h) 事後学習：授業の進捗状況に応じ、毎回、学修した内容に関する課題を出すので、次回に回答でき
キーワード/Keywords	医薬品、化学合成、天然物
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指定する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業外の時間に週2時間以上、調査、情報整理、レポート作成などのために充てること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	積極的に課題に取り組み、グループ内でのコミュニケーションをとること。調査し予備知識をつけてから授業に臨み、自分の意見を述べるようになること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	概論：伝承薬から最先端医薬品について テーマ1：概論、テーマの提示とグループ分け
第2回	テーマ1：グループ内での調査
第3回	テーマ1：進捗状況の報告と意見交換
第4回	テーマ1：グループ内での調査
第5回	テーマ1：グループプレゼンテーション、全体討論
第6回	テーマ2：概論、テーマの提示とグループ分け
第7回	テーマ2：グループ内での調査
第8回	テーマ2：進捗状況の報告と意見交換
第9回	テーマ2：グループ内での調査
第10回	テーマ2：グループプレゼンテーション、全体討論
第11回	テーマ3：概論、テーマの提示とグループ分け
第12回	テーマ3：グループ内での調査
第13回	テーマ3：進捗状況の報告と意見交換
第14回	テーマ3：グループ内での調査
第15回	テーマ3：グループプレゼンテーション、全体討論
第16回	報告レポートについて、総論

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587010101	科目番号 / Course code	05870101
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11961_005		
授業科目名 / Course title	a6疾病の回復を促進する薬 / Fundamental Pharmacology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	尾野村 治 / Osamu Onomura, 川上 茂 / Kawakami Shigeru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	尾野村 治 / Osamu Onomura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	尾野村 治 / Osamu Onomura, 川上 茂 / Kawakami Shigeru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onomura_nagasaki-u.ac.jp (尾野村) skawakam_nagasaki-u.ac.jp (川上) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	薬学部3階医薬品合成化学研究室(尾野村) 医歯薬学総合研究棟(旧歯学部)7階医薬品情報学研究室(萩森)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2429 (尾野村) 095-819-8563 (川上)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日9:00-17:00 電話で予約をいれること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この講義では、薬物の働く仕組みだけでなく、薬物が医療の中でどのような役割を担っているか、また薬物がある有効な作用を発揮するために医師・看護師・薬剤師などがどのように働いているかを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物の働く仕組みを概説できる()。 ・薬物が医療の中で果たしている役割を概説できる()。 ・医療における医師・看護師・薬剤師の役割を概説できる()。 ・グループ内での役割(司会、書記、発表、質疑)を積極的に担い、他者と協働して1つの発表資料を作成し、他者に分かり易く伝えることができる()。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み(60%)、通信指導問題及び最終試験の結果(40%) 授業への取り組みは、全学モジュール科目の到達度評価用ルーブリック案 を用いて評価する。 http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/teacher/activeLearning2.html		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	小グループ討論を充実したものにすため、テキストを予習しておくこと(2時間)。放送大学の最終試験に合格できるよう、テキストをしっかりと復習すること(2時間)。		
キーワード/Keywords	薬の役割、薬の作用、薬の使用		
教科書・教材・参考書/Materials	疾病の回復を促進する薬(放送大学教材)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	前半を尾野村が、後半を川上が担当します。 テキストを十分に予習して授業に臨むこと
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	尾野村 治/企業において創薬研究の実務経験/医薬品の創製に従事した経験をもとに、創薬研究者としての実践的能力に必要な基本的知識を養う。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10/1 尾野村	薬理学総論（1）櫻井 隆
第2回 10/8 尾野村	薬理学総論（2）櫻井 隆
第3回 10/15 尾野村	末梢神経に作用する薬 服部 信孝
第4回 10/22 尾野村	中枢神経系に作用する薬（1）服部 信孝
第5回 10/29 尾野村	中枢神経系に作用する薬（2）服部 信孝
第6回 11/5 尾野村	循環器系に作用する薬（1）代田 浩之
第7回 11/12 尾野村	循環器系に作用する薬（2）代田 浩之
第8回 11/19 尾野村	呼吸器・消化器系に作用する薬 小川 薫 通信指導問題（中間テスト）配布
第9回 11/26 川上	代謝・内分泌系に作用する薬 小川 薫 通信指導問題（中間テスト）回収
第10回 12/3 川上	抗感染症薬と消毒薬 内藤 俊夫
第11回 12/10 川上	抗アレルギー薬、抗炎症薬、免疫調整薬 内藤 俊夫
第12回 12/17 川上	抗がん薬 小松 則夫
第13回 1/7 川上	救急領域で用いられる薬 射場 敏明
第14回 1/21 川上	妊娠・授乳中、小児への薬の使用 坂口 佐知
第15回 1/28 川上	チーム医療と薬の安全な使用 田城 孝雄
第16回 川上	最終試験（放送大学が実施する試験を受験のこと） 日時未定 放送大学長崎学習センター

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587056701	科目番号 / Course code	05870567
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15511_005		
授業科目名 / Course title	a6高齢化社会と地域医療・薬とのかかわりCOC / Aging Society and Its Association of Community - Based Medical Care and Medicine		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	向井 英史 / Mukai Hidefumi, 淵上 剛志 / Fuchigami Takeshi, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 吉田 さくら / Yoshida Sakura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	向井 英史 / Mukai Hidefumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	向井 英史 / Mukai Hidefumi, 淵上 剛志 / Fuchigami Takeshi, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 吉田 さくら / Yoshida Sakura		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmukai nagasaki-u.ac.jp (向井)、toriba nagasaki-u.ac.jp (鳥羽)、t-fuchi nagasaki-u.ac.jp (淵上)、yoshida-s nagasaki-u.ac.jp (吉田) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	「医歯薬学総合研究棟7階 医薬品情報学研究室」「薬学部研究棟5階 衛生化学研究室」		
担当教員TEL/Tel	095-819-8564 (向井)、095-819-2441 (鳥羽)、095-819-2442 (淵上)、095-819-2443 (吉田)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00-13:00 事前にE-mailで予約すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎県は高齢化社会の先進地区であり、高齢化が進む日本の将来の医療を考える上で重要なモデルである。ここでは、出島に近代西洋科学が導入されたくすりの歴史から、現在における高齢化社会の典型的な疾病とくすりの使われ方まで、医療経済を交えながら学び、長崎県を起点として高齢化社会におけるくすりの付き合い方について議論していく。後半の授業では、高齢化社会の進展に伴い急増する認知症に焦点を絞り、生命科学の視点からだけでなく、多様な視点から認知症に対する理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会への対応という現代的課題について自ら探究した上で、課題の解決に向けた提案ができる (4, 10, 12) ・高齢化社会における医療の変化について調査するだけでなく、その結果に対する自分の考えをまとめることができる (1, 3, 11)。 ・高齢化社会におけるくすりの使い方などを調査し、それぞれの結果について意見を述べあうことによって理解を深めることができる (10)。 ・高齢化社会への対応について調査した結果と見解を、他者にわかりやすく、伝えることができる (5) ・認知症に関して、多方面からの情報を収集することができる (10, 12)。 ・長崎県の高齢者化社会での問題点を整理し、課題を発表できる (5, 10, 12)。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的授業参加態度 (10%)、レポート(60%)、調査活動の成果と発表 (30%) 積極的授業参加態度は、LACS上のオンラインテストにて評価する。 レポート、調査活動の成果と発表は、全学モジュール科目の到達度評価用ルーブリック案を用いて評価する。 http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/teacher/activeLearning2.html		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前にLACS等で提示する資料に目を通し予習をしておく（2時間）。また、事後には授業で与えられた課題をプレゼンテーション資料やレポートとしてまとめる（2時間）。
キーワード/Keywords	くすり、高齢者、医療、医療経済、長崎県
教科書・教材・参考書/Materials	特になし・必要に応じて資料を配付する
受講要件（履修条件）/Prerequisites	調査等のため授業学習時間は不可欠で、授業時間だけでは、十分な学習を行うことは困難です。LACSや、個人のPCを活用した自主的な時間外学習は、週平均2時間以上は必要です。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	高齢者の問題・課題は、介護問題だけでなく社会に関わる多くの要因が絡んでいます。自分が目指す分野における関係性について考えてみてください。また、グループディスカッションとプレゼンテーションは、皆さんの総合力を磨く絶好のチャンスです。どんなことでもいいので、積極的に発言する姿勢で臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	向井英史 / 博士研究員・研究室主宰者として国立研究開発法人理化学研究所にてドラッグデリバリーシステムや分子イメージング科学分野の基礎研究を行なう実務経験 / 創薬や医療技術などの高度化による薬と社会のかかわりの変化を通して医療リテラシーを養う
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4月8日（木）3校時 向井	第1回：“くすりの過去 出島の科学”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト
4月8日（木）4校時 向井	第2回：第1回の学習項目を基にした研究テーマ候補4題の決定、資料を用いた予備調査によるさらに深く調査する研究テーマ1題の選定
4月15日（木）3校時 向井	第3回：第2回で選定した研究テーマに関するさらなる調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成
4月15日（木）4校時 向井	第4回：総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）
4月22日（木）3校時 向井	第5回：“高齢化社会における医療経済と長崎県”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト、講義資料におけるキーワードを基にした研究テーマの選定
4月22日（木）4校時 向井	第6回：第5回で選定した研究テーマに関する詳細な調査
5月6日（木）3校時 向井	第7回：研究テーマに関するさらなる調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成
5月6日（木）4校時 向井	第8回：総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）
5月13日（木）3校時 鳥羽、淵上、吉田	第9回：“高齢化社会における認知症の現状”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト、課題に対するアンケート
5月13日（木）4校時 鳥羽、淵上、吉田	第10回：認知症に関する情報収集(Web)と研究テーマの提案
5月20日（木）3校時 鳥羽、淵上、吉田	第11回：関連のある研究テーマに関する予備調査および研究テーマ・研究目的の決定
5月20日（木）4校時 鳥羽、淵上、吉田	第12回：第11回で選定した研究テーマに関する詳細な調査
5月27日（木）3校時 鳥羽、淵上、吉田	第13回：研究テーマに関するさらなる詳細な調査、プレゼンファイルと発表原稿の作成開始
5月27日（木）4校時 鳥羽、淵上、吉田	第14回：研究テーマに関するさらなる詳細な調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成、さらに不足するデータの収集
6月3日（木）3校時 鳥羽、淵上、吉田	第15回：研究テーマに関する詳細な調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587008501	科目番号 / Course code	05870085
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11921_005		
授業科目名 / Course title	a7薬との賢い付き合い方 / How to Wisely Get Along with Medicines		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 麓 伸太郎 / Fumoto Shintaro, 宮元 敬天 / Hiroataka Miyamoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 麓 伸太郎 / Fumoto Shintaro, 宮元 敬天 / Hiroataka Miyamoto		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	koyo-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	歯学部7階 薬剤学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-8566		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 14:00-18:00 (LACSで予定を確認すること)、メールでも対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬の消費者として薬と賢く付き合うためには、薬に関する理解を深めることが必要である。本講義では、薬が効くしくみと薬の体内における動き(体内動態)の基礎を理解し、代表的な疾患に対する薬物治療と薬の影の部分(副作用など)について学ぶことをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	薬に関する正しい知識を理解し、説明できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	考査(30%)、レポート(30%)、授業に対する積極的な取り組み状況(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前に授業に関するキーワードについて予習する(2時間)。事後には、いろいろな視点からクスリとの賢い付き合い方について考え、毎回の課題を作成する(2時間)。		
キーワード/Keywords	薬の効果、薬の動き、副作用、生体の機能、病気、生活習慣病薬、麻薬、向精神薬		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：くすりの作用と効くしくみ事典(永岡書店) 参考書：図解雑学 薬のしくみ(ナツメ社)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/indexj.html		
学生へのメッセージ/Message for students	教科書や参考書を熟読すること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	宮元 敬天/長崎大学病院での薬剤師実務経験/薬剤師としての臨床経験に基づき病院・薬局での臨床実習を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	からだのしくみ：マクロからミクロへ
第3回	薬が効くしくみ：酵素と受容体、作用薬と拮抗薬
第4回	薬物の消化管からの吸収：消化管の機能、膜透過
第5回	薬物の消化管以外からの吸収：クスリの投与部位、各種機能性製剤
第6回	薬物の体内分布：血液循環、血液成分、タンパク結合
第7回	薬物代謝：肝臓の機能、酵素反応、アルコールの代謝
第8回	薬物の排泄：腎臓の機能、尿・胆汁の生成、半減期
第9回	薬の宅配便：製剤学・DDS (Drug Delivery System, 薬物送達システム) 入門
第10回	病と薬(1)：感染症と免疫システム
第11回	病と薬(2)：生活習慣病
第12回	病と薬(3)：癌と疼痛コントロール
第13回	病と薬(4)：こころの病
第14回	薬の影：副作用、薬物相互作用、薬害
第15回	薬との賢い付き合い方：総論・薬物治療の未来像

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587009301	科目番号 / Course code	05870093
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11941_005		
授業科目名 / Course title	a7疾病と薬物治療 / Diseases and Drug Therapy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	都田 真奈 / Mana Miyakoda, 北里 海雄 / Kitazato Kaio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	都田 真奈 / Mana Miyakoda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	都田 真奈 / Mana Miyakoda, 北里 海雄 / Kitazato Kaio		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mana-t nagasaki-u.ac.jp, kkholi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて 送信してください)		
担当教員研究室/Office	薬学部本館2階 育薬研究教育センター・臨床研究薬学研究室 (文教キャンパス)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2456		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金 9:00~17:00。メールにて予約すること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	感染症、がん、循環器疾患、神経疾患、糖尿病などの病気について調べ、その病態の概念や治療法 (薬物療法を含む)について学ぶ。さらに、日常生活習慣と疾病との関連性や生活習慣の改善法 について考える。		
授業到達目標/Course goals	様々な疾病の原因、病態、治療、予防について概要を理解できる。 興味のある課題を自分でみつけることができる。 必要な情報を適切に収集して分析することができる。 自分の意見を積極的に表現することができる。 思考法について理解し実践することができる。 ディベートについて理解し実践することができる。 他者との意見交換を建設的に行うことができる。 他人の価値観を寛容できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 問題を出して、考えさせてから、それぞれの学生に解答を求める。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度30点、授業への取組み 30点、プレゼンテーション課題 40点の計100満点中60点以上を合 格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	[予習] 各回のテーマに関する情報を新聞や書籍であらかじめ調べてきてください。(2h) [復習] 各回のテーマにに関連した書籍や論文を探し、読んでください。(2h)		
キーワード/Keywords	疾病、薬物治療、思考法、生活習慣、ディベート		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	6回以上の欠席は失格とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	課題があるので、その都度必ず予習・復習して授業へ参加すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月9日 金3	オリエンテーション（成績評価の説明、アイスブレイキング）と種々の思考法を知る（都田、北里）
第2回 4月9日 金4	教育の手法とKJ法を知り、学んだ結果を発表する（都田、北里）
第3回 4月16日 金3	様々な疾病の病態とその薬物治療の基礎を知る（都田）
第4回 4月16日 金4	様々な疾病の病態とその薬物治療の基礎を知る（北里）
第5回 4月23日 金3	ある疾病の原因・診断・病態・治療・予防について個人学習を行う（都田）
第6回 4月23日 金4	ある疾病の原因・診断・病態・治療・予防についてグループ学習を行う（都田）
第7回 5月14日 金3	ある疾病の原因・診断・病態・治療・予防についてグループでまとめの準備を行う（都田）
第8回 5月14日 金4	ある疾病の原因・診断・病態・治療・予防についてグループでプロダクトを作成する（都田）
第9回 5月21日 金3	中間発表を行い、ディベートを実践する（都田、北里）
第10回 5月21日 金4	ある疾病の原因・診断・病態・治療・予防について個人学習を行う（北里）
第11回 5月28日 金3	ある疾病の原因・診断・病態・治療・予防についてグループ学習を行う（北里）
第12回 5月28日 金4	ある疾病の原因・診断・病態・治療・予防についてグループでまとめの準備を行う（北里）
第13回 6月4日 金3	ある疾病の原因・診断・病態・治療・予防についてグループでプロダクトを作成する（北里）
第14回 6月4日 金4	最終発表を行い、ディベートを実践する（都田、北里）
第15回 6月11日 金3	課題についてレポートを作成し、授業の総括を行う（都田）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587049301	科目番号 / Course code	05870493
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15301_005		
授業科目名 / Course title	a7薬草・健康食品と病気COC / Medicinal Plants, Health Food, and Disease		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 隆 / Tanaka Takashi, 山田 耕史 / Yamada Koji, 齋藤 義紀 / Saito Yoshinori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 隆 / Tanaka Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 隆 / Tanaka Takashi, 山田 耕史 / Yamada Koji, 齋藤 義紀 / Saito Yoshinori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	田中 隆 (t-tanaka_nagasaki-u.ac.jp) / 山田耕史 (kyamada_nagasaki-u.ac.jp) / 齋藤義紀 (saiyoshi_nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	薬学部・天然物化学研究室 (田中 隆、齋藤義紀)、薬用植物園 (山田耕史)		
担当教員TEL/Tel	天然物化学: 819-2432, 2433、薬用植物園: 819-2462		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問などには電子メールにて対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	植物は身を守るために化学物質を作り、人間はそれらを薬として利用してきた。そのような物質には癌の治療薬や保健機能食品として利用されるものがある一方で、中毒を引き起こして社会をさがせる物質もある。この科目では、実験や観察を交えながら、生物が作る物質の機能とその産業的利用法について知識を習得する。さらに長崎県の地域特産物を利用した産業振興の実例や課題を参考にしつつ、これからの長崎の地域振興について考え、自分がどのように貢献できるか考える。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な薬用植物や食用植物の効能や機能について説明できる。 ・身近な植物を観察し、植物を見分けるポイントを身につける。 ・植物由来の薬や毒について説明できる。 ・長崎県の様々な資源について知り、長崎の地域振興策を提案できる(地域, COC+) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	3名の教員が5コマずつ担当し、各教員それぞれ30点満点で、授業日毎に課される課題(宿題・レポートを含む)や、SGDやプレゼンの評価、授業での態度等を評価する。さらに全体の授業への取り組みを10点として総合評価とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業で示されたテーマについて各自で調べ、疑問点を整理して講義に臨む。少人数グループワークでは、分担したテーマについて様々な方法で事前に情報収集し、取捨選択してパワーポイントファイルに取りまとめ、人に説明できるように準備する(事前学修2h/コマ、4h/日)。与えられた課題やレポートを作成する。授業での討論後には意見を参考にプレゼン内容をブラッシュアップして説得力のあるものにする(事後学修2h/コマ、4h/日)。		
キーワード/Keywords	薬草、健康食品、植物、動物、薬、毒、食品、地域特産物、産業利用、長崎県、地域振興		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に指定しない。必要に応じてプリントなどを配布する。様々な植物図鑑などが出版されており植物観察で利用できる。また、インターネットでも検索することができる。薬用植物・毒草・機能生息品についても多くの書籍が出版されており、参考にしてほしい。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	天然物化学： http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/natpro/index-j.html 薬用植物園： http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/plant/doc/plant%20garden/mainpage1.html
学生へのメッセージ/Message for students	身近にある植物が、昔の人々によって選ばれて利用されてきているものであることを知り、選ばれた理由を科学的に説明できるようになることで、薬、食品、身近な自然、農林業についての見方が変わります。その知識は新たな利用法へとつながり、地域振興にも役立ちます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/8 田中	（導入講義）薬草・健康食品とは何か。ヒトはどのように利用してきたか。特定保健用食品、機能性表示食品、健康食品の違いと問題点 農林水産物で長崎地域振興を考える（問題提起）
第2回 4/8 田中	雑草観察・植物成分を見る実験（2・4回は天候次第で入れ替えあり）
第3回 4/15 田中	農林水産物で長崎地域振興を考える（グループワーク）
第4回 4/15 田中	雑草観察・植物成分を見る実験（2・4回は天候次第で入れ替えあり）
第5回 4/22 田中	長崎での機能性食品開発の事例紹介（グループ発表）と今後の課題（講義）
第6回4/22 齋藤	機能から見る薬、食品、毒の関係。 薬草や健康食品の成分に関するグループワーク-1：グループ分け，テーマ設定，役割分担
第7回5/6 齋藤	におい連想ゲーム
第8回5/6 齋藤	歴史の中の薬草・毒草。 薬草や健康食品の成分に関するグループワーク-2：調査経過報告と討議
第9回5/13 齋藤	薬草や健康食品の成分に関するグループワーク-3：プレゼンテーション
第10回5/13 齋藤	薬草で味覚が変わる！？ 薬草や健康食品の成分に関するグループワーク-4：プレゼンテーションのフィードバック
第11回5/20 山田	薬用植物の分類。健康に役立つ薬用植物の観察方法
第12回5/20 山田	薬用植物の分類。暮らしの中で役立つ植物の観察方法
第13回5/27 山田	薬用植物園における植物観察。薬用部位の観察と採集
第14回5/27 山田	薬用植物の調査研究：利用目的別の分類
第15回6/10 山田	薬用植物の調査研究に関するSGD：調査研究発表とフィードバック

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587026901	科目番号 / Course code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Course title	a8医療現場の安全と安心 / Safety and Relief in the Health Care		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 浩二 / Yoshida Koji, 皆川 昇 / Minakawa Noboru, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 森田 公一 / Morita Kouichi, 吉田 レイミント / Yoshida Lay Myint, 山下 和範 / Yamashita Kazunori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 浩二 / Yoshida Koji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 浩二 / Yoshida Koji, 皆川 昇 / Minakawa Noboru, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 森田 公一 / Morita Kouichi, 吉田 レイミント / Yoshida Lay Myint, 山下 和範 / Yamashita Kazunori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koujiy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	医学部保健学科4階		
担当教員TEL / Tel	095-819-7916		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メール、電話にてアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	急速なグローバル化や災害への対策が急務とされる今日の状況において、医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、総合的に理解する。		
授業到達目標 / Course goals	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	成績評価は授業担当教員が課題レポート、試験、授業への貢献度などを得点化し、科目責任者が統括する。なお、2/3以上の出席がない場合は評価の対象としない。 <合格基準> 長崎大学成績評価ガイドラインにそって評価し、C判定 (60%) 以上を合格とする。判定の詳細はAA(90以上)、A (80-89%)、B (70-79%)、C (60-69%)、D (60%未満) を基準とする。 成績の発表は、学期ごとに準備が整い次第、掲示板等で連絡し、学務情報「NU-Web」より各自で確認できる。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	[予習] 各回のテーマに関する情報を新聞や書籍であらかじめ調べてきてください。(2h) [復習] 授業で取り上げたトピックスに関連した書籍や論文を探し、読んでください。(2h)		
キーワード / Keywords	放射線リスク、東日本大震災、災害医療、救急医療、医薬品、天然毒、熱帯感染症		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は用いない。必要に応じて参考書を紹介する。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識してほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	吉田 浩二/病院での勤務経験、原子力災害被災地での支援経験、高齢者支援事業(高齢者サロン等)への参画/実務経験に基づき、一般的な加齢変化とそのアセスメントについて本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/ 田崎 修/医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識できることを目的として授業を実施する。/ 山下 和範/医師としての実務経験を有している。災害支援経験/実務経験に基づき、医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識できることを目的として授業を実施する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/8吉田浩)	原子力災害医療と放射線リスク
第2回 (4/8吉田浩)	原子力災害医療と放射線リスク
第3回 (4/15田崎)	救急医療の現状と課題
第4回 (4/15山下)	災害医療の現状と課題
第5回 (4/22田崎)	救急医療における臓器提供と終末期医療の現状と課題
第6回 (4/22田崎)	安心な災害医療・救急医療に向けて我々が取り組むべきこと
第7回 (5/6 吉田浩)	東日本大震災後の教訓から災害への備えを考える
第8回 (5/13田中)	医薬品開発の歴史:くすりは毒から作られた
第9回 (5/13田中)	身近な毒と、毒を克服した生物たち
第10回 (5/20田中)	くすりと食べ物の境界はどこか(病気の予防と治療)
第11回 (5/20田中)	食とくすりの安全について考える
第12回 (5/27吉田レ)	開発途上国の医療現場と感染症
第13回 (5/27森田)	デング熱ってなに?
第14回 (6/3皆川)	蚊と感染症
第15回 (6/3吉田浩)	東日本大震災後の教訓から災害への備えを考える

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587028501	科目番号 / Course code	05870285
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12121_005		
授業科目名 / Course title	a8自然災害とインフラ長寿命化COC / Natural Disaster and Maintenance of Infrastructure		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 浩平 / Yamaguchi Kohei, 蔣 宇静 / Jiang Yujing, 松田 浩 / Hiroshi Matsuda, 杉本 知 史 / Sugimoto Satoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 浩平 / Yamaguchi Kohei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 浩平 / Yamaguchi Kohei, 蔣 宇静 / Jiang Yujing, 松田 浩 / Hiroshi Matsuda, 杉本 知 史 / Sugimoto Satoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kohei nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館5階505号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業は、台風、水害などの自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な 数のインフラ構造物の劣化・老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。この授業を 通して、自然災害に遭遇した際、インフラ構造物の劣化・損傷を発見した際に、将来実社会で遭遇 しうる際に役立つ知識を修得することがてることが本授業のねらいである。		
授業到達目標/Course goals	自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な数のインフラ構造物の劣化・ 老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。そしてこのような事象に遭遇した際の対 処方法を習得することを到達目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート(30-40%程度)、グループプレゼンテーションの発表内容(50-60%程度)、最終試験(担 当者で異なる。授業のはじめに連絡予定 0-10%)で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業で扱った理論や用語について復習すること(2h) 予習は特に必要ありませんが、社会インフラの様々な問題を取りあげるニュースや新聞記事などに 目を通しておくこと(2h)		
キーワード/Keywords	長崎県、自然災害、リスク管理、防災計画、社会インフラ構造物、劣化・老朽化、インフラ長寿命 化		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じてプリント配布。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	実務家教員 山口浩平 / 実務経験内容 橋梁の診断業務 / 実務経験に基づく内容 国道に架かる橋梁の点検診断の業務	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1	ガイダンス [自然災害と防災] [インフラ長寿命化]	A B D
2	[自然災害と防災] 自然災害概論と防災の考え方 (日本の自然災害の特徴と防災・減災の考え方)	A B D
3	[自然災害と防災] 防災・減災のための社会システム (災害対策基本法、防災情報システム、気象警報等)	A B D
4	[自然災害と防災] 地域防災計画 (避難計画、ハザードマップ、自助・公助、高齢者等の避難)	A B D
5	[自然災害と防災] 地震・津波・火山災害と防災対策 (災害による現象・被害と防災対策)	A B D
6	[自然災害と防災] 豪雨・台風・高潮災害と防災対策 (災害による現象・被害と防災対策)	A B D
7	[自然災害と防災] 土砂災害と防災対策 (斜面崩壊、地すべり、土石流、液状化)	A B D
8	[自然災害と防災] インフラと防災対策 (モニタリング、リアルタイム防災、道路災害等)	A B D
9	[インフラ長寿命化] 長崎県内の橋	A B D
10	[インフラ長寿命化] 橋を強くさせるためには	A B D
11	[インフラ長寿命化] 強い橋を考える, 作る	A B D
12	[インフラ長寿命化] ペーパーブリッジコンテスト (コンテスト)	A B D
13	[インフラ長寿命化] 橋梁の現状と課題	A B D
14	[インフラ長寿命化] 日常利用している社会インフラを考える (その1)	A B D
15	[インフラ長寿命化] 日常利用している社会インフラを考える (その2)	A B D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587029701	科目番号 / Course code	05870297
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12151_005		
授業科目名 / Course title	a8環境リスクと社会 / Environmental Risk and the Public		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 護 / Yoshida Mamoru, 馬越 孝道 / Umakoshi Koudou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 護 / Yoshida Mamoru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 護 / Yoshida Mamoru, 馬越 孝道 / Umakoshi Koudou		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	吉田護 yoshida-m nagasaki-u.ac.jp 馬越孝道 umakoshi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、 を@に変更して送信してください。)		
担当教員研究室/Office	吉田護 (環433) 馬越孝道 (環218)		
担当教員TEL/Tel	吉田護 (095-819-2733) 馬越孝道 (095 819-2766)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	吉田護 (火10:00-12:00) 馬越孝道 (月12:00-14:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自然環境リスク, 中でも地震や豪雨、火山などの自然災害リスクを対象として、私たちの地域、都市がさらされているリスクの現状について説明し、「減災」の理念やリスクへの対処法、身近な減災対策について知識を習得、学生・教員間でのコミュニケーションを図りながら認識を共有化し、その実践を図ることを狙いとする。		
授業到達目標/Course goals	1. 自然環境リスクの基礎的な情報を理解できるようになる。 2. 自然環境リスクへの対策及び対応を講じるための分野横断的な科学的知見を理解できるようになる。 3. リスクマネジメント、リスクガバナンスの基礎的な知見を習得できるようになる。 4. 自然環境リスクに関わる多様なステークホルダーを理解し、それぞれの立場の視点から、対策・対応を検討できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	中間・期末試験：70点, 授業への取り組み (小レポート含む) 20点, 実践課題：10点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習：予め授業資料をLACSに公開するので、それに事前に目を通して講義にのぞむこと (2h) 復習：授業資料を再度目を通し、適宜課される課題に取り組むなど、その理解を確実にするように 努めること (2h)		
キーワード/Keywords	火山、地震、豪雨、自然災害、リスクマネジメント、リスクガバナンス、減災		
教科書・教材・参考書/Materials	授業資料を毎回配布します。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考（URL）/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	身近な自然災害の脅威について認識を深め、適切な備えと対応行動を取れるようになりましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	イントロダクション 津波災害の教訓	F
第2回	津波災害の教訓に関する討議	A B D
第3回	火山災害の教訓（伊豆大島）	F
第4回	火山災害（伊豆大島）の教訓に関する討議	A B D
第5回	火山災害に関する教訓（雲仙普賢岳）	F
第6回	火山災害の教訓（雲仙普賢岳）に関する討議	A B D
第7回	破局噴火について	F
第8回	中間試験	A
第9回	過去・近年の豪雨災害に学ぶ	F
第10回	クロスロードゲーム	B D
第11回	災害情報と避難行動1	F
第12回	災害情報と避難行動2	A D
第13回	災害リスクガバナンス	F
第14回	身近にできる災害対策	A
第15回	期末演習	A D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587041301	科目番号 / Course code	05870413
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13711_005		
授業科目名 / Course title	a9市民運動・NGOと核兵器廃絶COC / Civil Society / NGO and Abolition of Nuclear Weapon		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko, 川崎 哲 / Tetsu Kawasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko, 川崎 哲 / Tetsu Kawasaki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化、教育、経済、薬学、水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakamurak nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	核兵器廃絶研究センター (RECNA)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜16:30 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	このクラスでは、核兵器をめぐる日本と世界の動きの中で、市民運動やNGOがどのような役割を担ってきたのかを学びます。民主主義における市民社会の役割と位置付けを概観したのちに、過去と現在におけるいくつかの特徴的な市民・NGOの活動の例を取り上げ、その背後の理論、成果、残る課題等について検証します。核軍縮に限らず、さまざまな国際問題に関心のある学生、将来国際機関やNGOで働くことを視野に入れている学生、一人の人間として社会に対して何ができるのかを模索したい学生、いろいろな問題関心のある学生に対応した授業となっています。		
授業到達目標/Course goals	核兵器をめぐる市民運動とNGOの動きについて全体的な知識を得るとともに、核兵器のない世界の実現に向けた課題が何かを理解し、解決への具体的方途について学生一人一人が自分で考え、それを説明できるようになることを期待します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above グループワークの一環として、インタビューを含む調査活動を行う。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席点及び講義の際のリアクションペーパー、意見発表などの平常点が全体の60%、期末のレポートが40%です。グループワークへの参加は必須です。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	グループに分かれての調査活動を行います。(4h)		
キーワード/Keywords	核兵器、市民、市民社会、NGO		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席が原則。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	核兵器廃絶は国や国際機関だけが取り組んでいる課題ではありません。この授業をきっかけに、核兵器の問題を一人一人の問題としてとらえ、今の世界を少しでも良くするために個人やグループとしてあるいは地域として何が出来るか、を考えていきたいと思ひます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	川崎 哲/ピースボートの共同代表としての経験を有している。/「核兵器のない正解」の実現というグローバルな目標に対し、日本と世界の市民社会がどのように取り組んできたか、とりわけ被爆者の声がどのような影響を与えてきたのかについて歴史的背景や意義、直面している課題について学び、そこから地球市民の一人として自分に何が出来るかを受講生一人一人が考えることを目指す。ピースボート共同代表である本講師は核兵器廃絶に取り組む国内外のNGOの取り組みを20年以上に渡ってけん引してきた、この分野における第一人者であり、理論的支柱でもある。現在は核兵器禁止を求めるNGOの国際ネットワーク「ICAN(核兵器禁止国際キャンペーン)」の国際運営委員としても幅広い活動を行う。また核問題の解説書の執筆でも知られていることもあり、理論と実践の両面から核問題について授業を実施する。/ 中村 桂子/核兵器廃絶研究分野、特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長の実務経験を有する/特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長として、核軍縮・不拡散問題に取り組んでいた実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識を講義により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方について 「市民社会」とは何か
第2回	市民社会は世界を変えたのか 対人地雷兵器禁止の例から
第3回	原水爆禁止運動の誕生と発展
第4回	広島・長崎の被爆者の運動
第5回	アジアの中の日本 市民社会の連携を考える
第6回	グローバルな核兵器廃絶運動の今
第7回	核兵器廃絶に向けた自治体の取り組み
第8回	「科学者の社会的責任」とは？
第9回	日本の役割とNGO
第10回	若者による運動
第11回	グループ発表
第12回	グループ発表
第13回	グループ発表
第14回	グループ発表、全体の講評
第15回	まとめ：私たちにできることは？

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587042501	科目番号 / Course code	05870425
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13741_005		
授業科目名 / Course title	a9文学・芸術と核兵器 / Arts, Literature and Nuclear Arms		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	広瀬 訓 / Hirose Satoshi, 山上 徹二郎 / Tetujirou Yamagami, 赤木 幹子 / Mikiko Akagi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	広瀬 訓 / Hirose Satoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	広瀬 訓 / Hirose Satoshi, 山上 徹二郎 / Tetujirou Yamagami, 赤木 幹子 / Mikiko Akagi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化、経済、教育、薬学、水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shirose nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	核兵器廃絶研究センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2204		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日4限およびアポイントメントによる		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	文学、絵画、映画、コミック、音楽等に核兵器の存在および使用が与えた影響を探り、核兵器が様々な芸術の中でどのように描写されてきたかを考察することで、核兵器が人々の間でどのように認識、位置づけられてきたかを検討すると同時に、芸術が核兵器の存在に与える影響についても考える。同時に、「被爆地ナガサキ」がどのように描写され、それについて、現在長崎で学ぶ学生がどのようにその意味を発信できるのか、各自が考察する。		
授業到達目標/Course goals	様々な文学・芸術と核兵器の存在との間の関係について、現状を理解し、その背景にある核兵器の存在に対する認識・見解を検討し、それに対する自分の意見を、論理的に構築し、表現することを目的とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席点を含め、レポート、リアクションペーパーの提出、ディスカッション、グループワークへの積極的な参加、意見の発表等、平常点が60%、期末の成果物(通常のレポート以外に、絵本、紙芝居、小説、詩歌、シナリオ、短編フィルム等、多様な形式での提出を認めようと考えています)が40%です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業で指定された本、コミック、映画等を事前もしくは事後に読み、あるいは視聴し、感想やレポートを提出する。対象となる文学作品、芸術作品を「読んでいる」「見ている」ことが前提となる講義なので、十分な事前・事後学習(最低各2h)が必要である。		
キーワード/Keywords	核兵器、芸術、認識、メディア、被爆地ナガサキ		

教科書・教材・参考書/Materials	<p>教科書：未定 教科書以外に、ブックレポートの課題が出された場合は、対象の本は必読となります。参考書は下記ですが、授業の際に取り上げる、あるいは推薦する図書、絵本、映画、コミック等のリストを随時配布する予定ですので、できるだけ自分で読んでください。</p> <p>長谷川 潮 『戦争児童文学は真実を伝えてきたか』 梨の木舎 鳥越 信・長谷川 潮 『はじめて学ぶ日本の戦争児童文学史』 ミネルヴァ書房 長谷川 潮 『世界の子どもの本から「核と戦争」が見える』 梨の木舎 石子 順 『漫画に見る戦争と平和90年』 ほるぷ出版</p>	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>	
備考（URL）/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	<p>文学、芸術は、講義で説明を聞いているだけで理解できるものではありません。できるだけ積極的に戦争、平和、核兵器をテーマとした映画、ドラマ、コミック、絵本、小説等を自分で見たり、読んだりするように努めてください。</p>	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>広瀬 訓 / 1993年～1995年の2年半外務省に出向し、軍縮交渉に従事。軍縮条約の交渉、作成や再検討を担当 / 国際会議における実際の軍縮交渉について経験を踏まえて講義する他、軍縮交渉における各国の立場やその理論的背景等を実際に体験したエピソードを使って解説する。また、実際の紛争や国際問題を用いて、学生に交渉から条約の作成をシミュレートさせることも試みている。 /</p>	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	<p>はじめに：授業の進め方（広瀬 訓）</p> <p>1. 文学・芸術と核兵器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論によるアプローチと感性によるアプローチ ・核兵器の何を描写するのか「ひろしまのピカ」、「超兵器R1号」 	A D
第2回	<p>2. 文学・芸術の持つ力（広瀬）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の背景と読解 ・作品を理解するとはどういうことか ・扇動と芸術 ・意図と効果 	A D
第3回	<p>3. 他人に伝えるということ（赤木かんこ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人に伝わる文章 ・読書感想文の書きかた 	A B C
第4回	<p>4. 絵本に描かれた戦争（赤木かんこ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ、キーワード、ブックトーク 	A B C D
第5回	<p>5. 原爆と映画：その1（山上徹二郎）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「映画」というメディアの特徴と影響について 	D
第6回	<p>6. 映画の持つインパクト（山上徹二郎）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を動かす「力」 	A B C D
第7回	<p>7. 戦争と平和の文学と芸術（広瀬）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学と絵本が描く戦争と平和 ・戦前の日本の文学とコミック（「少年倶楽部」と「のらくろ」） 	A

第8回	8. コミックに描かれた戦争と平和（広瀬） ・何を伝えたかったのか（「ジパング」） ・メッセージとテクニック（手塚治虫、水木しげる）	A D
第9回	9. 戦争と平和の児童文学（赤木かんこ） ・児童文学は平和を描いてきたか	A C D
第10回	10. ヒロシマ・ナガサキの児童文学（赤木かんこ） ・児童文学は原爆をどう描いたか	A C D
第11回	11. コミックに描かれた核兵器（広瀬） ・感情的表現と論理的表現 ・テーマの設定（「はだしのゲン」、「沈黙の艦隊」） ・核兵器の理解（「龍」、「エリア88」）	A D
第12回	12. 新しいメディア（広瀬） ・デジタルメディアと核兵器 ・NagasakiArchive という挑戦	A C D
第13回	13. メディアの功罪（広瀬） ・「戦うマンガ」 ・ジャパンアニメ・バッシング	A B
第14回	14. 発信力としての芸術 ・何を、どう伝えるか？	A B C D
第15回	15. まとめ（広瀬 訓） ・メッセージとメディア：発信するために	A B C D
第16回	期末レポート提出	A C D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587055701	科目番号 / Course code	05870557
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15481_005		
授業科目名 / Course title	a9核と平和を科学する / Science for Nuclear Energy/Weapons and Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水 核兵器問題における科学技術的側面に関心のある人文社会系学生。自然科学系学生で核兵器問題に関心のある学生。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	鈴木達治郎、suzukitatsu nagasaki-u.ac.jp、中村桂子、nakamurak nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	核兵器廃絶研究センター (RECNA) 鈴木教授室、中村准教授室		
担当教員TEL/Tel	鈴木達治郎 (095-819-2947)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火、木、午後4:00~6:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	核兵器問題を科学技術的側面から学ぶことがこの講義の中心。核兵器の仕組みや核物質、ミサイル技術などの基礎知識を学ぶとともに、科学者の社会的責任や科学技術の軍事転用を防ぐ仕組みも学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	核兵器問題における、科学技術的側面の基本的知識を学ぶ。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート 80% (40%x2), グループ発表 20% (10%x2)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業で指定された、文献や新聞記事などをあらかじめ予習。講義の最後にレポートを提出。予習、復習に各2h以上。		
キーワード/Keywords	核兵器、核物質、原子力平和利用、核不拡散、ミサイル技術、科学者の社会的責任、科学技術の軍事転用。		
教科書・教材・参考書/Materials	参考図書は授業のはじめに紹介するが、次の2冊は入門書として参考になる。山田克哉「核兵器のしくみ」(講談社現代新書)、ニュースなるほど塾「常識として知っておきたい核兵器と原子力」(KAWADE夢文庫)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	核兵器問題、科学技術の軍事転用に関心のある学生、ぜひ参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(自己紹介)鈴木達治郎
第2回	核兵器開発の歴史:鈴木達治郎
第3回	核兵器とミサイル:梅林宏道
第4回	核兵器近代化計画:梅林宏道
第5回	放射線とその医学:朝長万左男
第6回	核兵器の人的影響:朝長万左男
第7回	グループ討論(1):核兵器、ミサイル、放射線 からトピックを1つ選んで発表
第8回	科学技術と社会・安全保障:鈴木達治郎
第9回	原子力発電と核燃料サイクル:鈴木達治郎
第10回	軍事転用をどう防ぐか:鈴木達治郎
第11回	核実験を見逃さない:鈴木達治郎
第12回	核物質をなくす:鈴木達治郎
第13回	核兵器をなくす:鈴木達治郎
第14回	科学者の社会的責任:鈴木達治郎
第15回	グループ討論(2):原子力発電、核軍縮・不拡散、科学者の社会的責任から1つ選んで発表

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587042101	科目番号 / Course code	05870421
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13731_005		
授業科目名 / Course title	a10核兵器廃絶と教育COC / Nuclear Weapons Abolition and Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	全 炳徳 / Jun Byungdug, 高瀬 毅 / Tuyoshi Takase, 桐谷 多恵子 / Taeko Kiriya, 山口 剛史 / Takeshi Yamaguti		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	全 炳徳 / Jun Byungdug		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	全 炳徳 / Jun Byungdug, 高瀬 毅 / Tuyoshi Takase, 桐谷 多恵子 / Taeko Kiriya, 山口 剛史 / Takeshi Yamaguti		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	bdjun_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階、306号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2706		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールにより質問を受け付ける bdjun_nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業は核の時代における世界の動向を確認する学習活動を行う。特に、教育的な観点から「小学校や中学校での平和教育」をどのように進めれば良いかを深く考え、実践するための模擬授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 核時代における世界の動向を確認し、学習ができる。 2. 核時代の教育について、自らの論理を立て説明することができる。 3. 小・中学校における「平和教育教材」を作成することができる。 4. 作成した教材に基づいて、模擬授業を行うことができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各講義授業の内容理解確認レポート (5点×4回=20点) + 模擬授業作成課題 (10点×2回=20点) + プレゼンテーション課題 (40点、学生同士の評価により) + 最終レポート課題 (10点) + 出席などの 授業への取り組み態度 (10点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。但し、無断欠席が4回以上あ る場合は、不合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業づくり以外の講義では予習復習課題として文献資料を読んだ後にLACS掲示板でのコメントを求 めることがある。(予習2h復習2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	授業時に資料や教材、参考文献などを提示する予定である。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	本授業のオリエンテーション（平和教育とは何か）（全）
第2回	本授業で目指す模擬授業の形について・議論（グループ活動）（全）
第3回	核をめぐってせめぎあう世界（講義）（高瀬）（全）
第4回	核をめぐってせめぎあう世界（グループ活動と議論）（高瀬）（全）
第5回	核兵器のない世界を創造するためのアプローチ（講義）（桐谷）（全）
第6回	核兵器のない世界を創造するためのアプローチ（グループ活動と議論）（桐谷）（全）
第7回	沖縄での平和教育について（講義）（山口）（全）
第8回	沖縄での平和教育について（グループ活動と議論）（山口）（全）
第9回	講義から学んだことの整理と模擬授業設計・発表（A-Dグループ）（全）
第10回	講義から学んだことの整理と模擬授業設計・発表（E-Hグループ）（全）
第11回	模擬授業のための資料収集（フィールドワーク）（全）
第12回	模擬授業のための資料収集（フィールドワーク）（全）
第13回	模擬授業実施（A-Cグループ）後、授業評価（全）
第14回	模擬授業実施（D-Fグループ）後、授業評価（全）
第15回	模擬授業実施（G-Hグループ）後、授業評価（全）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587042901	科目番号 / Course code	05870429
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13761_005		
授業科目名 / Course title	a10核軍縮の法と政治COC / Law and Politics of Nuclear Disarmament		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	広瀬 訓 / Hirose Satoshi, 福井 康人 / Fukui Yasuhito		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	広瀬 訓 / Hirose Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	広瀬 訓 / Hirose Satoshi, 福井 康人 / Fukui Yasuhito		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多教経薬水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shirose nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	核兵器廃絶研究センター 2階		
担当教員TEL/Tel	内線 2204		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜4限もしくはアポイントメントによる		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	モジュール1で学んだ基礎的な科学技術の発展と社会的な影響およびその管理に関する知識と理解の上に、究極の技術ともいえる核兵器と原子力をめぐる国際政治と国際法の、より具体的なトピックを検討することで、核兵器と平和の問題を深く掘り下げて考察することを目的とします。そして、受講する学生一人一人が、現在の国際社会に生きる一人の人間として、「核」という人類の抱える最大の問題の一つと向き合う姿勢を養うことができればよいと考えています。		
授業到達目標/Course goals	具体的な到達目標としては、核軍縮をめぐる国際政治、国際法に関する基礎的な事実や概念を正確に理解する、核兵器をめぐる現実を理解することにより、核兵器と国際社会の持つ特徴を把握する、核兵器を廃絶するために適切と思われる手段を自分なりに構築する、の三点について、その成果を少なくとも同じ講義を受講している他の学生に対し、説得的に提示できるようになることを期待しています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席および講義の際の提出物、リアクションペーパー、意見発表などの平常点が全体の40%、期末のレポートが60%になります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業に関する資料、条約、宣言等を指定しますので、それらをLACS上もしくはRECNAのデータベース等から取得し、予め目を通しておくことが前提となります(2h)。また、授業後には、それぞれの問題について、「自分が交渉担当者ならどう考えるか」という視点から復習する必要があります(2h)。そのまとめが期末レポートになります。		
キーワード/Keywords	軍縮、不拡散、軍備管理、外交交渉、国際法、被爆地ナガサキ		

教科書・教材・参考書/Materials	<p>テキスト： 特に指定しません。 参考書： 黒澤 満編著 『軍縮問題入門 第4版』 東信堂 黒澤 満 『核軍縮入門』 信山社 黒澤 満 『核軍縮と世界平和』 信山社 藤田久一 『核に立ち向かう国際法』 法律文化社 ウォード・ウィルソン 『核兵器をめぐる5つの神話』 法律文化社 上記以外に、RECNAのホームページ、特に「市民データベース」には核軍縮に関する主要な情報がまとめられているので、適宜参照してください。</p>	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>	
備考（URL）/Remarks (URL)	<p>http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp</p>	
学生へのメッセージ/Message for students	<p>講義の進度、講師のスケジュール等により、多少予定が変更になる場合があります。授業の中だけでなく、教室の外でも核軍縮に関する情報やニュースの収集のような予習を各自が進めることを期待しています。積極的に問題意識を持って授業に臨むことを期待しています。</p>	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>広瀬 訓/1993年～1995年の2年半外務省に出向し、軍縮交渉に従事。軍縮条約の交渉、作成や再検討を担当/国際会議における実際の軍縮交渉について経験を踏まえて講義する他、軍縮交渉における各国の立場やその理論的背景等を実際に体験したエピソードを使って解説する。また、実際の紛争や国際問題を用いて、学生に交渉から条約の作成をシミュレートさせることも試みている。福井康人氏は長年外務省で軍縮を担当し、現在は原子力研究開発機構で主に核不拡散を担当しており、経験を踏まえて学生にグループワーク、ロールプレイなどのメソッドを通して軍縮・不拡散と原子力平和利用の両立の問題を教えている。</p>	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	<p>1. はじめてに：授業の進め方（広瀬）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「核兵器」に関する伝統的な考え方 ・ パワーバランスとは何か ・ 「抑止」とは何か ・ 核兵器と安全保障 	A
第2回	<p>2. 「軍縮」・「軍備管理」・「不拡散」（広瀬）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「軍縮」とは何か ・ 「軍備管理」とは何か ・ 「不拡散」とは何か 	A
第3回	<p>3. 核兵器の削減（広瀬）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際社会の取組 ・ 二国間の取組 ・ 地域的取組 	A B
第4回	<p>4. 核不拡散条約（NPT）：その1（広瀬）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成立の背景と経過 ・ 内容と特徴 	A
第5回	<p>5. 核不拡散条約（NPT）：その2（広瀬）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不拡散 ・ 核軍縮 ・ 原子力平和利用 ・ 現状と問題点 	A D
第6回	<p>6. 核不拡散条約（NPT）：その3（広瀬）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1995年延長会議 ・ 再検討プロセス ・ 中東問題 	A B D

第7回	7.核実験の禁止（広瀬） ・部分的核実験禁止条約（PTBT） ・包括的核実験禁止条約（CTBT）	A
第8回	8.非核兵器地帯（広瀬） ・非核兵器地帯とは何か ・世界の非核兵器地帯 ・北東アジア非核兵器地帯提案	A
第9回	9.核軍縮交渉の現状と問題点（福井） ・安全保障と核軍縮：日本の姿勢	A D
第10回	10.核軍縮交渉の現状と問題点（福井） ・日本は核軍縮に対しどうあるべきか	A B D
第11回	11.新しい核軍縮の試み（広瀬） ・兵器用核分裂性物質生産禁止条約（カットオフ） ・核兵器不使用条約 ・核兵器禁止条約	A B D
第12回	12.核軍縮と国際人道法（広瀬） ・国際人道法とは何か ・核兵器は国際法違反か	A
第13回	13.核軍縮交渉の舞台（広瀬） ・ジュネーブ軍縮会議（CD） ・国連総会および第一委員会 ・国連軍縮特別総会（SSOD）	A B D
第14回	14.核軍縮交渉と世論（広瀬） ・核軍縮交渉と市民 ・私たちにできること	A B D
第15回	15.まとめ（広瀬）	A B C D
第16回	期末レポート提出	A C D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587045101	科目番号 / Course code	05870451
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13751_005		
授業科目名 / Course title	a10メディアと平和COC / Journalism and the Path to Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森川 裕二 / Morikawa Yuji, 小倉 利丸 / Saeki Toshimaru, 島 洋子, 山口 響		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森川 裕二 / Morikawa Yuji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森川 裕二 / Morikawa Yuji, 小倉 利丸 / Saeki Toshimaru, 島 洋子, 山口 響		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	morikay_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟 1 1F 森川研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2904		
担当教員オフィスアワー/Office hours	面談を希望する学生は、メール事前予約をしてください		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ジャーナリズムは、第二次大戦後の「世界の平和」についてどのような視点から報道してきたのか。国際社会の中での日本の立ち位置を、長崎の視点とも関連づけて、ジャーナリズムを通じて学びます。とくに冷戦後の世界と、3.11後に政治・経済各面の矛盾を浮き彫りにした核開発と原子力平和利用を分離してきたメディアの対応を批判的に議論し、平和を実現するためのジャーナリズムの役割と課題について考える。		
授業到達目標/Course goals	平和な世界を実現するためにジャーナリズムに何を期待すべきか。戦争と平和そして核についての報道を批判的に論じるための視点を養う。そのために、日本と世界の現状を歴史的に把握し、ジャーナリズムの果たしてきた役割と課題を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	論点ペーパー40% (各教員ごとに1000-2000文字)、最終レポート50% (2000文字) もしくは試験、授業への取り組み姿勢 (討論の参加状況)。ペーパー、レポートは締め切り厳守。起承転結を明確にすること。不要な記述は減点の対象とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業の参考資料をLACSを通じて配布するほか、授業内での議論の準備をして臨む。(2h)事後学習としては、授業内容の理解を促すために、各担当教員の授業ごとに論点ペーパー (1000文字。講義の論点の要約と敷衍、自分の意見) を提出する。締め切り厳守。(2h)		
キーワード/Keywords	冷戦後の世界、戦争と平和、ジャーナリズム		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	週平均2時間、授業外学習 (関連図書・資料のチェックなど) にあてること。日々の新聞・TVの国際関係記事をチェックする習慣をつけること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	事実関係の細部を把握すること以上に、事実関係の背後にある構造と考え方を探求することが大事です。そのためには歴史的な教訓を学ぶことは重要な方法です。新聞やTVの国際報道については、この授業期間中、こまめにチェックしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	普久原 均/長年の新聞記者として沖縄米軍基地の必要性や沖縄経済について携わってきた実務経験を有している。現在は琉球新報論説副委員長として活躍している。/本授業科目においては、ジャーナリズムを通じメディアの対応や世界平和実現に関する課題を取り扱う。報道関係からは琉球新報社の論説副委員長である本講師から、長年の新聞記者として沖縄米軍基地の必要性や沖縄経済について携わってきた実務経験を活かし、戦後の平和や沖縄の実態など様々な視点から研究をとおして学生たちに指導を行う。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1・2回	ジャーナリズムの役割（総論、森川）
第3・4回	権力とメディア（小倉）
第5・6回	日米同盟の中の沖縄基地問題とメディア（普久原）
第7・8回	国際社会とメディア（森川）
第9・10回	原爆被災を記録・記憶すること（山口）
第11・12回	ポスト・トゥルースメディア（山口）
第13・14回	ジャーナリズムの課題（森川）
第15回	まとめ・討論

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587045301	科目番号 / Course code	05870453
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14111_005		
授業科目名 / Course title	a11意思決定の数理 / Mathematical Approach for Decision-Making		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	goma_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館6F 教員・ゼミ室606		
担当教員TEL/Tel	095-819-2698		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜5校時 これ以外でも良いが電子メールによるアポイントメントを取ることを勧める。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	いくつかの選択肢の中から自分の意志を決定するような状況を、数理工学的手法を用いて解決する際の基本的事項について学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	意思決定に関する数理工学的手法を用いて、問題解決を行えるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認課題 (20点×3回=60点) + 授業への取り組みやプレゼンテーションへの参加 (40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	< 予習 > 講義資料の該当範囲について事前に読んでおくこと(2h) < 復習 > 講義内容および講義資料をもとに復習し、出題される演習問題を解き、レポートにまとめること(2h)		
キーワード/Keywords	誤り符号訂正・順序問題・割当問題・ゲーム理論		
教科書・教材・参考書/Materials	講義に必要な資料を準備する。 資料の入手方法は講義の最初に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校での数学の知識があれば理解できる講義内容です。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 第2回	ガイダンス 誤り符号訂正について	F
第3回 第4回	順序問題	F
第5回 第6回	割当問題 誤り符号訂正・順序問題・割当問題に関する演習	A
第7回 第8回	ゲーム理論：ゲーム理論概要 ゼロサムゲーム ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲーム(純粋戦略)	F
第9回 第10回	ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲーム(混合戦略) ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲームに関する演習・プレゼンテーションの準備	A
第11回 第12回	ゲーム理論：ノン・ゼロサムゲーム ノンゼロサムゲーム ゲーム理論：ノン・ゼロサムゲーム ノンゼロサムゲームに関する演習・プレゼンテーションの準備	A
第13回 第14回	各演習の解答のプレゼンテーション	A
第15回	各演習の解答のプレゼンテーション	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587045501	科目番号 / Course code	05870455
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14121_005		
授業科目名 / Course title	a11暮らしと電気 / Life and Electricity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿部 貴志 / Abe Takashi, 丸田 英徳 / Maruta Hidenori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿部 貴志 / Abe Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿部 貴志 / Abe Takashi, 丸田 英徳 / Maruta Hidenori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	abet nagasaki-u.ac.jp, hmaruta nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部2号館4階409(阿部), 工学部2号館5階510(丸田)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2562(阿部), 095-819-2557(丸田),		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現代社会の社会基盤のひとつである電気について、電気とは何か、電気の発生から伝送、そして我々の生活でどのように使われているかを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	分野・領域を超えて活用できる汎用的な技能を身につけ、地球環境と社会の多様性を理解でき、本講義で学んだ数理・自然科学の知識と技能を活用できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各授業にて出題される復習ミニテストを20点、調べ学習のレポートを80点として、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	LACSにアップされる講義資料を予習として読んでおくこと。(2h) 講義開始時の復習ミニテストや講義当日に示される課題を復習として実施すること。(2h)		
キーワード/Keywords	電気, 電力, エネルギー		
教科書・教材・参考書/Materials	特に無し。必要に応じて資料をLACSなどで配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特に無し。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の物理を復習していると、講義内容の理解に役立つ		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	家庭における電気製品の構造 (丸田英徳)
第2回	家庭におけるエネルギーの消費 (丸田英徳)
第3回	家庭等におけるエネルギー供給 (丸田英徳)
第4回	家庭等におけるエネルギー管理システム (丸田英徳)
第5回	家庭等における省エネ (丸田英徳)
第6回	家庭における電気の今後 (丸田英徳)
第7回	前半まとめ (丸田英徳)
第8回	電気の性質 (阿部貴志)
第9回	発電・送電・配電 (阿部貴志)
第10回	家庭での電力利用 (阿部貴志)
第11回	電力変換と電動機(1) (阿部貴志)
第12回	電力変換と電動機(2) (阿部貴志)
第13回	移動体への応用(1) (阿部貴志)
第14回	移動体への応用(2) (阿部貴志)
第15回	まとめ (阿部貴志)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587045701	科目番号 / Course code	05870457
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14131_005		
授業科目名 / Course title	a11分子設計と合成化学COC / Molecular Design and Synthetic Chemistry		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	木村 正成 / Kimura Masanari, 有川 康弘 / Arikawa Yasuhiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	木村 正成 / Kimura Masanari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	木村 正成 / Kimura Masanari, 有川 康弘 / Arikawa Yasuhiro		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	木村(masanari nagasaki-u.ac.jp), 有川(arikawa nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する を@ に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	木村 (工学部 1号館 3階)、有川 (工学部 1号館 2階)		
担当教員TEL/Tel	木村(819-2677), 有川(819-2673)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (事前にメールでアポイントメントを取った方が望ましい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医薬品や機能性材料など、我々の生活に不可欠な有用物質の性質や構造を理解すると共に、分子設計と合成化学について学ぶ。 医薬品・創薬の授業では、今後、長崎大学が設置予定であるBSL-4の研究に関わる内容も包括し、感染症治療薬に関する内容を取り扱う。		
授業到達目標/Course goals	合成化学に関する科学的な思考法と方法論の基礎を学ぶ。 医薬品合成や遷移金属錯体化学について学び、日常生活と科学が如何に密接な関係にあるのかが理解できる。 感染症治療薬の開発について調べるとともに、長崎大学の感染症研究やBSL-4研究開発の現状に関して議論する。長崎県や長崎大学の科学分野における強みや今後発展の可能性のある研究事例を考察することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度、積極的態、レポート等から総合して判断 木村担当と有川担当の平均で評価する。100%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	長崎県や長崎大学で行われている研究について調べ、今後の発展課題を考える(2h)。長崎の地域医療や科学に関連する発展分野を調べたり考察する(2h)。 各班毎に事前学習として調べた内容についてプレゼンテーションを行う(2h)。終了後は、プレゼンテーションを行った感想や、本講義で得られた知識等についてレポートを提出する(2h)。		
キーワード/Keywords	合成化学・創薬・医薬品・金属錯体・機能性材料・長崎大学		

教科書・教材・参考書/Materials	木村担当 参考書 「現代有機化学(上)(下)」(ボルハルトショアー著 化学同人)、 「創薬化学 -有機合成からのアプローチ-」(北泰行著,東京化学同人) 有川担当 参考書 「錯体化学」(佐々木陽一,柘植清志著 裳華房) 「配位化学(第2版)-金属錯体の化学-」(F.パソロ,R.C.ジョンソン著 化学同人)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	高校時代に化学を履修している事が望ましい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	受講する学生の学部が多岐にわたっているため、理解度も異なってくると思うが、積極的に学習した学生には特に評価を高くする。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	担当 木村 イントロダクション
2回目	有機化学と医薬品開発
3回目	感染症について
4回目	感染症薬剤開発について
5回目	薬剤耐性菌について
6回目	抗ウイルス剤の開発
7回目	長崎大学における感染症研究について
8回目	長崎大学BSL-4研究施設について 木村担当 課題提出
9回目	担当 有川 イントロダクション
10回目	錯体化学(錯イオン)について解説
11回目	8族遷移金属について(特に不斉触媒や人工光合成について)
12回目	4族遷移金属について(特にポリマーについて)
13回目	11族遷移金属について(特に分子マシンについて)
14回目	9族遷移金属について(特に有機ELについて)
15回目	6族遷移金属について(特に窒素固定について) 有川担当課題提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587051901	科目番号 / Course code	05870519
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15371_005		
授業科目名 / Course title	a12映画から学ぶライフサイクルとメンタルヘルス / What Movies Can Teach Us about Life Cycle and Mental Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小澤 寛樹 / Ozawa Hiroki, 金替 伸治 / Kanegae Shinji, 森本 芳郎		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小澤 寛樹 / Ozawa Hiroki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小澤 寛樹 / Ozawa Hiroki, 金替 伸治 / Kanegae Shinji, 森本 芳郎		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ozawa07_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	医学部 精神神経科		
担当教員TEL / Tel	095-819-7293		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月水木12-13時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	自分を取り巻くライフサイクルとメンタルヘルスの実状をまずきちんと把握し、受講者がこれからの経済活動や現代の市民としての生活などで役に立つ知識を習得してもらうことを目標としたい。		
授業到達目標 / Course goals	毎回のテーマは生活の中で起きうる具体的な問題であり、心理学・精神医学(必要であれば、人文科学・社会科学の知識)を通して、自分で的確に把握できるようになる。そして得られた知識を、まだ知らない人に対しても正しくプレゼンテーション可能ようになることを通じて、社会に貢献できる "新しい人" (大江健三郎) になるためのメンタル・リテラシーを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	講義後に提出するレポート : 50% 講義中のディスカッションへの参加態度 (意欲点) : 50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	該当の映画をネットなどを使って調べる (2h) 講義内容及び講義資料をもとにレポートを提出すること (2h)		
キーワード / Keywords	精神医学、精神疾患、メンタルヘルス、アンチスティグマ		
教科書・教材・参考書 / Materials	「シネマサイキアトリー映画からみる精神医学」(小澤寛樹監訳、中外医学社) 「標準精神医学・第5版」(野村総一郎他編、医学書院)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	本シラバスは今後変更される可能性があるため、受講予定者は履修登録時に再度本シラバスの内容を確認し、受講の有無を決定すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	自分に関係ないと思いがちな心の病気……。実は誰にでもなりうる可能性がある、身近なものなのです。この授業では、そんな心の病気に触れた映画を視聴し、メンタルヘルスについて学んでいきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	小澤 寛樹/精神神経科において医師としての実務経験を有している/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 松坂 雄亮/精神神経科において医師としての実務経験を有している/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 木下 裕久/精神神経科において医師としての実務経験を有している/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 森本 芳郎/精神科医としての勤務経験/実務経験に基づき、精神疾患に関する病態について本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	身近な人がうつになった時の対処法 (作品：ツレがうつになりまして)
第2回	身近な人がうつになった時の対処法 (作品：ツレがうつになりまして)
第3回	アルコール乱用 (作品：シェルブールの雨傘)
第4回	アルコール乱用 (作品：シェルブールの雨傘)
第5回	高次脳機能障害の一例 (作品：メメント)
第6回	高次脳機能障害の一例 (作品：メメント)
第7回	統合失調症の実態 (作品：ビューティフルマインド)
第8回	統合失調症の実態 (作品：ビューティフルマインド)
第9回	アップダウンの激しい人たち～双極性障害の話～ (作品：心のままに)
第10回	アップダウンの激しい人たち～双極性障害の話～ (作品：心のままに)
第11回	認知症の基礎知識 (作品：折梅)
第12回	認知症の基礎知識 (作品：折梅)
第13回	人生の終末期を迎える人の心について (作品：余命1ヶ月の花嫁)
第14回	人生の終末期を迎える人の心について (作品：余命1ヶ月の花嫁)
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587061101	科目番号 / Course code	05870611
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15561_005		
授業科目名 / Course title	a12発達症(発達障害)の理解と支援COC / Understanding and Support for Neurodevelopmental Disorders		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	今村 明 / Imamura Akira, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou, 金替 伸治 / Kanegae Shinji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	今村 明 / Imamura Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	今村 明 / Imamura Akira, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou, 金替 伸治 / Kanegae Shinji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aimamura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院12階 地域連携児童思春期精神医学診療部(精神神経学)		
担当教員TEL/Tel	095-819-7292		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発達症(発達障害)の特性を理解することで、発達症を神経多様性の一つとして考え、適切な支援とはどのようなものかを検討する。		
授業到達目標/Course goals	自閉スペクトラム症や注意欠如・多動症などの発達症(発達障害)は脳神経系の発達のかたよりにより生じるものと考えられ、最近では小学生の10人にひとりには発達症の特性を持つものと推測されている。同様の発達症の傾向を持つ児・者も、周囲がその傾向を理解し適切な対応を行うことで、社会的適応の度合いは大きく変化する。映像資料を用いて、自分自身の傾向も含めて発達症について学び、理解を深めることを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	論文の理解度50%、英文論文の作成50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	該当範囲について自主学習しておくこと(2h) 講義内容及び講義資料をもとに復讐すること(2h)		
キーワード/Keywords	神経発達症 neurodevelopmental disorders 自閉スペクトラム症 autism spectrum disorder 注意欠如・多動症 attention-deficit/hyperactivity disorder 限局性学習症 specific learning disorder 発達性協調運動症 developmental coordination disorder 愛着 attachment 心的外傷後ストレス posttraumatic stress		
教科書・教材・参考書/Materials	精神障害の診断と統計マニュアル第5版 米国精神医学会		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	どのような職種やグループの中にも、発達症の人は含まれます。あなた自身にもその傾向があるかもしれません。発達症について学ぶことは、脳の多様性を通して、自分や周りの人の特性を知ることにより、自己肯定感や他者への共感性の向上につながるものと考えます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	今村 明/精神神経科において医師としての実務経験を有している/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 金替 伸治/精神神経科において医師としての実務経験を有している/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(6/11)	オリエンテーション
第2回(6/11)	発達症の子どもの支援
第3回(6/18)	発達症の子どもの支援
第4回(6/18)	発達症の子どもの支援
第5回(6/25)	発達症の子どもの支援
第6回(6/25)	発達症の学生支援
第7回(7/2)	発達症の学生支援
第8回(7/2)	発達症の就労支援
第9回(7/9)	発達症の就労支援
第10回(7/9)	社会の中での発達症
第11回(7/16)	社会の中での発達症
第12回(7/16)	発達症の困難さと強み
第13回(7/30)	発達症の困難さと強み
第14回(7/30)	発達症の医学的支援
第15回(8/6)	発達症の医学的支援

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587061301	科目番号 / Course code	05870613
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15571_005		
授業科目名 / Course title	a12ヒトはなぜ病気になるのか / Etiology of Human Disease		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川上 純 / Atushi Kawakami, 吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou, 佐藤 克也 / Satou Katuya, 川尻 真也 / Kawashiri Shinya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	川上 純 / Atushi Kawakami		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	川上 純 / Atushi Kawakami, 吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou, 佐藤 克也 / Satou Katuya, 川尻 真也 / Kawashiri Shinya		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	atsushik nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	先進予防医学共同専攻		
担当教員TEL/Tel	095-819-7260 (教授室) 095-819-7262 (医局受付)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	18:00 ~ 19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヒトはなぜ病気になるのだろうか? 病気になるリスクを予測して、病気を予防することはできるのだろうか? 急速に進む高齢化社会の中で、私たちはどのように病気と向き合えば良いのだろうか? 解明が進む病気の研究内容を紹介しながら、それを日常生活に取り組み工夫も本モジュール科目では解説する。		
授業到達目標/Course goals	ヒトの病気の発症機序と予防法の概略を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み(30点)+レポート課題(70点)で60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業で扱った内容や用語について復習すること(2h) 予習は特に必要ありませんが、授業に関する問題を取り上げるニュースや新聞記事などに目を通しておくこと(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	川上 純/リウマチ・膠原病内科において専門医としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/ 吉浦 孝一郎/遺伝医療の実践経験/遺伝医療実践に向けて必要な基礎知識, 応用, 検査, 実験まで講義する。/ 佐藤 克也/内科臨床医として勤務経験/実務経験に基づき、各種感染症について必要な基本的知識を講義する。/ 川尻 真也/医師としての実務経験を有している。/各職種での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識, 技能を講義, 実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第2回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第3回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第4回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第5回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第6回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第7回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第8回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第9回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第10回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第11回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第12回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第13回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第14回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)
第15回	健やかに生きる(ヒトはなぜ病気になるのか)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587048701	科目番号 / Course code	05870487
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15281_005		
授業科目名 / Course title	a13細胞生命を哲学する / Intensive Thinking of Life of the Cell		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池松 和哉 / Ikematu Kazuya, 林 日出喜 / Hayashi Hideki, 柴田 恭明 / Shibata Yasuaki, 田中 邦彦 / Tanaka Kunihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	池松 和哉 / Ikematu Kazuya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	池松 和哉 / Ikematu Kazuya, 林 日出喜 / Hayashi Hideki, 柴田 恭明 / Shibata Yasuaki, 田中 邦彦 / Tanaka Kunihiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-ikema nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	819-7076		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間はいつか死を迎えるが、その最期は様々である。現代社会においてヒトの死は、自然死や病死をはじめ、交通事故や他殺、薬物中毒、虐待、ストレス社会における過労死、あるいは隣家との接触の希薄化などによる都市部での孤独死、また自らの命を絶つ自殺など多様化している。本講義では、死、死に至る過程、様々な死について医学的側面から各講師が講義し、社会的側面から個人が貢献できることを考えるための素材を提供する。「社会からの逸脱」であるヒトの死について学ぶことで、「生命と社会」という普遍的な命題について哲学する。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会的側面から解剖の意義について説明できる。 2. ヒトの様々な死、そしてその意義を説明できる。 3. 社会における個人の役割について考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	討論への貢献度、課題レポート：40% 終了時提出のポートフォリオ、レポート：60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎週の課題に対する回答を作成し、発表できる様にする(学習時間2時間程度)。 毎週の最終課題に対するレポート作成を行う(学習時間2時間程度)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	学生のための法医学(南山堂)		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	人は誰も精神的に健康な状態の時は、前向きに社会と関係を持つことができますが、そうでない時は社会との関係が希薄になり、つながりを断ち切りたいと思うようになります。そこで、医学的（法医学的）観点からヒトの死について学ぶことで、「生命」についての自分なりの価値観を確立し、社会における個人としての役割等について考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	社会的側面から解剖の意義について考える。
第2回	社会的側面から解剖の意義について考える。
第3回	自殺について考える。
第4回	自殺について考える。
第5回	アルコールについて考える。
第6回	アルコールについて考える。
第7回	薬毒物について考える。
第8回	薬毒物について考える。
第9回	虐待について考える。
第10回	虐待について考える。
第11回	嬰兒殺について考える。
第12回	嬰兒殺について考える。
第13回	個人識別について考える。
第14回	個人識別について考える。
第15回	総括。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587049101	科目番号 / Course code	05870491
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15291_005		
授業科目名 / Course title	a13社会生命を哲学する / Consideration of Social Life Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	梅原 敬弘 / Umehara Takahiro, 池松 和哉 / Ikematu Kazuya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	梅原 敬弘 / Umehara Takahiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	梅原 敬弘 / Umehara Takahiro, 池松 和哉 / Ikematu Kazuya		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	umehara nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部基礎研究棟6階法医学教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7076		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:00~18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間はいつか死を迎えるが、その最期は様々である。現代社会においてヒトの死は、自然死や病死をはじめ、交通事故や他殺、薬物中毒、虐待、ストレス社会における過労死、あるいは隣家との接触の希薄化などによる都市部での孤独死、また自らの命を絶つ自殺など多様化している。本講義では、死、死に至る過程、様々な死について医学的側面から各講師が講義し、社会的側面から個人が貢献できることを考えるための素材を提供する。「社会からの逸脱」であるヒトの死について学ぶことで、「生命と社会」という普遍的な命題について哲学する。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的側面から解剖の意義について説明できる。 2. ヒトの様々な死、そしてその意義を説明できる。 3. 生命と社会における個人の役割について考えることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	討論への貢献度、課題レポート：40% 終了時提出のポートフォリオ、レポート：60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎週の課題に対する回答を作成し、発表できる様にする(学習時間2時間程度)。毎週の最終課題に対するレポート作成を行う(学習時間2時間程度)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	学生のための法医学(南山堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全ての授業に出席できること。講義内容の復習、それに伴う情報収集、そして発表ができること。グループ活動に積極的に参画できること。適切なモジュール科目に合格していること		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	人は誰も精神的に健康な状態の時は、前向きに社会と関係を持つことができますが、そうでない時は社会との関係が希薄になり、つながりを断ち切りたいと思うようになります。そこで、医学的（法医学的）観点からヒトの死について学ぶことで、「生命」についての自分なりの価値観を確立し、社会における個人としての役割等について考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	社会的側面から解剖の意義について考える。
第2回	社会的側面から解剖の意義について考える。
第3回	自殺について考える。
第4回	自殺について考える。
第5回	アルコールについて考える。
第6回	アルコールについて考える。
第7回	薬毒物について考える。
第8回	薬毒物について考える。
第9回	虐待について考える。
第10回	虐待について考える。
第11回	嬰兒殺について考える。
第12回	嬰兒殺について考える。
第13回	個人識別について考える。
第14回	個人識別について考える。
第15回	総括。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587056901	科目番号 / Course code	05870569
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15521_005		
授業科目名 / Course title	a13地域社会に生きる個体生命を哲学するCOC / Biopsychosocial Approach to Life in Community		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森 亮一 / Mori Riyouti, 朴 盛俊 / Paku Senjiyun		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森 亮一 / Mori Riyouti		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森 亮一 / Mori Riyouti, 朴 盛俊 / Paku Senjiyun		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	森 : ryoichi nagasaki-u.ac.jp 林 : hayashih nagasaki-u.ac.jp 朴 : psj1026 nagasaki-u.ac.jp 下川 : shimo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部 医学科 病理学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7051		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月・水曜日 17:00~18:00 (電話で所在を確認すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>私達は、地域社会を構成する最小単位である個人として社会的役割を担っている。地域社会は、地理的・経済的状况によって多様性を呈しており、その多様性に応答すべく、個人としての順応し社会的責務をはたして生活を営んでいる。しかしながら、それらに関係に希薄が生じた際は、自身を見つめ直し、時には新たな環境を目指し、新しい人生の方向性を見出すきっかけとなる。</p> <p>本授業では、個人における地域社会における役割、地域社会との希薄関係の理由、新たな人生設計の差異について、生命医科学的に深く学ぶ。そして、個体生命としての私達が、地域社会にどのようにして順応、貢献、変革に寄与できるかを哲学する。</p> <p>細胞単位、遺伝子レベルで解明されている疾病も、個体レベルの症候として表出される表現形は多彩であり、さらにこれが個体へ及ぼす影響となると多元的になる。例えば癌においても、年齢、性別、発生臓器によりその様相は異なり、個体は社会におけるヒトとしてこれを捉えていく必要がある。細胞と社会の接点に生命体として存在する個体生命を哲学することで、科学的な理解を越え哲学的アプローチにより生命観に迫る。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献について説明できるようになる。 ・高齢化社会について説明できるようになる。 ・老化について説明できるようになる。 ・現代の主要病態について説明できるようになる。 ・医学的病態発症と社会生活の変化について考えることができるようになる。 ・地域社会における個人の意識、役割の差異とその実践について考えることができるようになる。 ・高齢化社会における地域社会の役割について考えることができるようになる。 ・病理学を通して、人体の正常と病的状態の基本的事項を学び、説明できるようになる。 ・主要な疾患の病理像を通して、その病態を考えることができるようになる。 ・学んだことについて、グループでディスカッションすることができるようになる。 ・学んだことについて、理論的にまとめ、発表することができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	4名の教員によるオムニバス形式であり、方法については各教員により異なる。基本的には授業時には配付資料やスライドでの講義・説明であるが、教員によりグループ単位でのテーマ討議と発表会、レポート提出を課す。 出席（15点）+ レポート課題（15点）+ 内容理解確認ディスカッション（15点）+ 授業への取り組み（55点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ 予習は特に必要ありませんが、国際的な問題を取り上げる場合がありますので、ニュースや新聞記事などに目を通しておくこと(2h)。 ・ 授業内容の理解と発表の為にレポート作成を行います。そのレポートをもとにディスカッションを行う事もあります。ディスカッションには積極的に参加すること(2h)。
キーワード/Keywords	遺伝子、がん、健康寿命、生活習慣病、生命医科学一般、病理、老化
教科書・教材・参考書/Materials	・ 老化の生物学（化学同人） ・ はじめの一步のイラスト病理学（羊土社）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全ての授業に出席できること。講義内容の復習、それに伴う情報収集、そして発表ができること。グループ活動に積極的に参画できること。適切なモジュール科目に合格していること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	健康なときは、密接に社会と関係を持つことができます。しかしながら、健康状態が思わしくないときや高齢者は、社会との関係が希薄となる傾向があります。その希薄のきっかけやその適応等について、生活習慣、発育、病気、老化を中心に、医学的知見から講義を行います。そして、地域社会における個人としての役割等について考えていきたいと思えます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	森 亮一/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 林 洋子/病理診断科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 朴 盛俊/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 下川 功/病理診断科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (11/25、3限)	地域社会の特色（森）
第2回 (11/25、4限)	個人が形成する多様な地域社会（森）
第3回 (12/2、3限)	高齢化社会（森）
第4回 (12/2、4限)	社会生活と健康（森）
第5回 (12/9、3限)	発表、討論（森）
第6回 (12/9、4限)	医療分野における病理という視点（森）
第7回 (12/16、3限)	人体の病理組織像（森）
第8回 (12/16、4限)	炎症、生活習慣病、腫瘍の病理（森）
第9回 (1/6、3限)	病理解剖例の検討（朴）
第10回 (1/6、4限)	発表、討論（朴）
第11回 (1/13、3限)	病気と社会生活の関係（朴）
第12回 (1/13、4限)	生活環境変化（朴）

第13回 (1/27、3限)	社会的適応 (朴)
第14回 (1/27、4限)	体調管理の科学 (朴)
第15回 (2/3、3限)	発表、討論 (朴)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587036901	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	a14教育相談 / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に講義室で受付ける 木曜日・金曜日5限 面談の場合もあるため、メールでアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	教育相談の意義や役割について説明することができる 実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表の成果物及びその過程での記録(40%) 授業ごとのレポートおよび小テスト(45%) 授業への参加度・貢献度(15%) 合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予めレジュメや資料を配布し、読んでくるべき箇所を示しますのでそれらに目を通したうえで講義に臨むようにしてください(2h)。授業終了後は、資料やレジュメを再読し、理解を確実にするように努めてください(2h)。		
キーワード/Keywords	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	内野 成美/スクールカウンセラー・スクールカウンセラースーパーバイザー、いじめ・暴力行為など児童生徒の問題行動、不登校等への対応について、発達障害等野路同性との個別の支援について等 /長崎県教育委員会
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育相談の意義と役割
第2回	カウンセリングの基本技法
第3回	学校現場の諸問題 (不登校等) への理解
第4回	学校現場の諸問題 (いじめ等) への理解
第5回	学校現場の諸問題 (発達障害等) への理解
第6回	居心地の良い学級づくりのためのアセスメント
第7回	課題を抱える子ども (保護者) のためのカウンセリング技法
第8回	課題解決のための演習 1 (問題の焦点化)
第9回	課題解決のための演習 2 (問題の深化)
第10回	課題解決のための演習 3 (問題とその対応についての発信)
第11回	発表 1
第12回	発表 2
第13回	振り返り 1
第14回	振り返り 2
第15回	危機介入
第16回	総括およびまとめのテスト

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587038101	科目番号 / Course code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Course title	a14芸術COC / Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kankan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部 美術技術教室 2F 212		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	前期 金曜 12:00から12:30 (必ず事前にメールでの予約・確認してください。)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	美術における喜びや感動を感じる。 感じたことを表現する喜びを学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	日常生活 (社会) に潜む芸術について説明や表現ができたり、楽しむことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	5分の4以上の出席者を評価の対象とする。提出物 (作品やレポート等) 60%、受講の姿勢 40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、予告される授業の内容について自主的に書籍・新聞・インターネット・新聞を見守り調べ、関連するメディアの試写をしてください。(2h) 事後学習は、授業で行ったことをまとめておくこと、それに関連する本や資料等を各自で読んでおくこと(2h)		
キーワード / Keywords	工芸・美術・長崎		
教科書・教材・参考書 / Materials	各自が準備するもの 切り出し (カッターナイフは不可)、新聞紙、竹トンボと佐世保独楽の教材 (授業時に説明 教材費あり) デジカメ。教科書は使用しない。 材料費は一人2500円程度かかります。業者の方に授業時に販売してもらいますので詳細は授業時に説明します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	実技を含むので定員は40名以内。コロナ禍の影響で対面授業ができない場合、授業内容が「飛び出すカード」の制作に一部・もしくは全て変更される場合が合います。ご了承ください。対面授業が行えない場合、ZOOMを用いながら授業を行う予定です。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	事前学習を含め、作品制作のための材料・道具の準備や管理が確実にできること。 特に、切出しの管理については注意すること。コンプライアンスを遵守すること（例えば、授業で使い終わったら自宅で適切に保管すること。カバンに入れたままにしないこと。運搬の際は鞄に入れて安全な状態で持ち運ぶこと等） 材料費は一人2500円程度かかります。業者の方に授業時に販売してもらいますので詳細は授業時に説明します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1回	今まで学んできた造形表現・図画工作・美術、工芸を振り返りながら、生活に潜む造形について発見する力を開拓する。
第2回	鑑賞 映画に潜む造形をさがす 映画鑑賞を含むので第2、3、4回は同じ映画の鑑賞
第3回	鑑賞 映画に潜む造形をさがす 映画鑑賞を含むので第2、3、4回は同じ映画の鑑賞
第4回	鑑賞 映画に潜む造形をさがす 映画鑑賞を含むので第2、3、4回は同じ映画の鑑賞 ディスカッションや感想の発表
第5回	鑑賞 映画に潜む造形をより深く探求する 長崎に関係する映画より 映画鑑賞を含むので5と6は同じ映画の鑑賞
第6回	鑑賞 映画に潜む造形をより深く探求する 長崎に関係する映画より 映画鑑賞を含むので5と6は同じ映画の鑑賞
第7回	第5回鑑賞、第6回鑑賞について ディスカッションと発表
第8回	竹トンボ (1) アイデアスケッチ & 飛ぶための要点
第9回	竹トンボ (2) 道具を使っでの制作 手で考える
第10回	竹トンボ (3) 道具を使って制作 素材を考える
第11回	竹トンボ (4) 道具を使って制作 道具の使い方を再考する
第12回	竹トンボ (5) 道具を使って制作 まとめ 鑑賞と講評 — 飛ばしてみよう —
第13回	佐世保独楽 伝統を知り、作って、楽しむ (1) 特別講師
第14回	佐世保独楽 伝統を知り、作って、楽しむ (2) 特別講師
第15回	発表 まとめ・レポートの提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587067101	科目番号 / Course code	05870671
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16411_005		
授業科目名 / Course title	a14美術の魅力を探る / Seeking the Charm of Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	牧野 一穂 / Kazuho Makino, 金原 雅樹 / Kanahara Masaki, 宮崎 友理子 / Miyazaki Yuriko, 中川 泰 / Nakagawa Tooru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	牧野 一穂 / Kazuho Makino, 金原 雅樹 / Kanahara Masaki, 宮崎 友理子 / Miyazaki Yuriko, 中川 泰 / Nakagawa Tooru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakagawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部美術技術教室209-1		
担当教員TEL/Tel	095-819-2351		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月12:10-12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	○美術の魅力を探る ○美術における表現の喜びや感動を学ぶ ○全学モジュール科目の選択科目(モジュール)		
授業到達目標/Course goals	1.美術の魅力の説明ができる 2.自らを日常的な縛りから開放させることができる 3.自由な発想と多様な表現方法を獲得する		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提出物 [作品] (40%)、提出物 [レポート] (40%)、受講態度 [積極的な参加] (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	授業時に指示する(事前2h、事後2h)		
キーワード/Keywords	美術、創造、長崎県美術館、水彩表現		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない 参考書については適宜紹介する		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	第2Qで、日曜日に集中講義で開講する【6月27日(日)、7月4日(日)、7月11日(日)】 原則、その3日間すべてに出席することが受講要件である 準備物等については必ず掲示物を確認すること		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	○問題意識をもって受講して欲しい ○材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。また、制作に必要な時間には個人差があり、作品完成のために時間外での制作が必要である	
学生へのメッセージ/Message for students	準備・事前学習 美術に関心を持ち、楽しみながら学ぶ習慣を日頃からつけておくこと 授業のなかで適宜、具体的な内容について指示する	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	宮崎 友理子/幼稚園教諭	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
6月27日(日) 限	美術と私() 【担当者: 金原 雅樹(長崎県美術館 常務理事・事務局長)】	D
6月27日(日) 限	美術と私() 【担当者: 金原 雅樹(長崎県美術館 常務理事・事務局長)】	D
6月27日(日) 限	はじめての水彩表現() 【担当者: 牧野 一穂(教育学部 准教授)】	C
6月27日(日) 限	はじめての水彩表現() 【担当者: 牧野 一穂(教育学部 准教授)】	C
6月27日(日) 限	はじめての水彩表現() 【担当者: 牧野 一穂(教育学部 准教授)】	C
7月4日(日) 限	美術館の概要、未就学児向け「スクールプログラム」の紹介と表現プログラム「線のおさんぽ」体験 【担当者: 宮崎 友理子(前長崎県美術館 エducレーター)】	A B
7月4日(日) 限	アート作品鑑賞1・・・対話型鑑賞「Visual Thinking Strategies」に挑戦 【担当者: 宮崎 友理子(前長崎県美術館 エducレーター)】	A B
7月4日(日) 限	美術館での教育普及・生涯学習の仕事 【担当者: 宮崎 友理子(前長崎県美術館 エducレーター)】	A B
7月4日(日) 限	Workshop1-1 コラージュによる表現 【担当者: 宮崎 友理子(前長崎県美術館 エducレーター)】	C D
7月4日(日) 限	Workshop1-2 コラージュによる表現 【担当者: 宮崎 友理子(前長崎県美術館 エducレーター)】	C D
7月11日(日) 限	アート作品鑑賞2・・・対話型鑑賞、グループ活動 【担当者: 宮崎 友理子(前長崎県美術館 エducレーター)】	A B
7月11日(日) 限	社会における美術館の役割、アートイベントやワークショップの企画について 【担当者: 宮崎 友理子(前長崎県美術館 エducレーター)】	A B
7月11日(日) 限	クリエイティブな発想力とは? 【担当者: 宮崎 友理子(前長崎県美術館 エducレーター)】	A B
7月11日(日) 限	Workshop2-1 帽子をつくろう 【担当者: 宮崎 友理子(前長崎県美術館 エducレーター)】	C D
7月11日(日) 限	Workshop2-2 帽子をつくろう 【担当者: 宮崎 友理子(前長崎県美術館 エducレーター)】	C D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587036902	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	a15教育相談 / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に講義室で受付ける 木曜日・金曜日5限 面談の場合もあるため、メールでアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	教育相談の意義や役割について説明することができる 実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表の成果物及びその過程での記録(40%) 授業ごとのレポートおよび小テスト(45%) 授業への参加度・貢献度(15%) 合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予めレジュメや資料を配布し、読んでくるべき箇所を示しますのでそれらに目を通したうえで講義に臨むようにしてください(2h)。授業終了後は、資料やレジュメを再読し、理解を確実にするように努めてください(2h)。		
キーワード/Keywords	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	内野 成美/スクールカウンセラー・スクールカウンセラースーパーバイザー、いじめ・暴力行為など児童生徒の問題行動、不登校等への対応について、発達障害等野路同性との個別の支援について等 /長崎県教育委員会
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育相談の意義と役割
第2回	カウンセリングの基本技法
第3回	学校現場の諸問題(不登校等)への理解
第4回	学校現場の諸問題(いじめ等)への理解
第5回	学校現場の諸問題(発達障害等)への理解
第6回	居心地の良い学級づくりのためのアセスメント
第7回	課題を抱える子ども(保護者)のためのカウンセリング技法
第8回	課題解決のための演習1(問題の焦点化)
第9回	課題解決のための演習2(問題の深化)
第10回	課題解決のための演習3(問題とその対応についての発信)
第11回	発表1
第12回	発表2
第13回	振り返り1
第14回	振り返り2
第15回	危機介入
第16回	総括およびまとめのテスト

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202105870369Z1	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	a15教育相談[上限外] / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に講義室で受付ける 木曜日・金曜日5限 面談の場合もあるため、メールでアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	教育相談の意義や役割について説明することができる 実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表の成果物及びその過程での記録(40%) 授業ごとのレポートおよび小テスト(45%) 授業への参加度・貢献度(15%) 合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予めレジュメや資料を配布し、読んでくるべき箇所を示しますのでそれらに目を通したうえで講義に臨むようにしてください(2h)。授業終了後は、資料やレジュメを再読し、理解を確実にするように努めてください(2h)。		
キーワード/Keywords	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	内野 成美/スクールカウンセラー・スクールカウンセラースーパーバイザー、いじめ・暴力行為など児童生徒の問題行動、不登校等への対応について、発達障害等野路同性との個別の支援について等 /長崎県教育委員会
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育相談の意義と役割
第2回	カウンセリングの基本技法
第3回	学校現場の諸問題(不登校等)への理解
第4回	学校現場の諸問題(いじめ等)への理解
第5回	学校現場の諸問題(発達障害等)への理解
第6回	居心地の良い学級づくりのためのアセスメント
第7回	課題を抱える子ども(保護者)のためのカウンセリング技法
第8回	課題解決のための演習1(問題の焦点化)
第9回	課題解決のための演習2(問題の深化)
第10回	課題解決のための演習3(問題とその対応についての発信)
第11回	発表1
第12回	発表2
第13回	振り返り1
第14回	振り返り2
第15回	危機介入
第16回	総括およびまとめのテスト

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587037701	科目番号 / Course code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Course title	a15身のまわりの科学COC / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大庭 伸也 / Shinya Oba		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大庭 伸也 / Shinya Oba		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大庭 伸也 / Shinya Oba		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水 2, 3, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ooba nagasaki-uac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館412号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2393		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日6校時、研究室にて		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々ヒトを含む動物が地球上に誕生してから現在に至るまでのプロセスを理解する。また、動物の多様な種類、形態、行動、生活史、生態が如何にして形作られてきたのか、身近に起こりつつ外来種問題の是非について考えていきます。		
授業到達目標/Course goals	文系理系問わず、進化的な視点で、ヒトを含む動物を理解し、生物多様性や地域固有の自然が重要であり、その保全の必要性を、自分の言葉で説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の取り組み (レポート) により、評価する。 3分の1以上欠席で自動的に失格とする。 2回の遅刻 = 1回の欠席とカウント。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業テーマについて、ネットのみならず、図書館などを活用して自分で深く調べる。授業資料の確認 (2時間) やそれに関連する資料の閲覧により、知識の定着、科学的思考力を醸成すること。		
キーワード/Keywords	地域固有の生態系、感染症、保全、外来種問題、生態学、行動学		
教科書・教材・参考書/Materials	毎回プリントを配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	科学 (生物学) への興味関心を持つこと		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的等の配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～2回	ガイダンス 生物とは何か? (グループワークと発表・評価)
第3～4回	生物多様性はなぜ必要 (グループワークと発表・評価)
第5～6回	生物多様性と感染症 (グループワークと発表・評価)
第7～10回	長崎における科学 / 生物学 (長崎県内の博物館・科学館の見学を通じた学習) 授業期間内に見学・情報収集をしてもらいます (入館料等は各自ご負担ください)。
第11～12回	長崎における科学 / 生物学 (学習内容の発表と共有)
第13～14回	身近な外来種 (グループワークと発表・評価)
第15～16回	ヒトという動物 (グループワークと発表・評価) 授業のまとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/08/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587038501	科目番号 / Course code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Course title	a15環境と社会 / Environment and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第32講義室 / Room 32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	藤本 : n-fuji_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	藤本 : 教育学部美術技術教室棟111室		
担当教員TEL/Tel	藤本 : 095-819-2360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	地球環境問題など現代社会が抱える問題について、「教育」の観点で個人の有り様を問い直す講義です。なぜヒトはそのような行動をするのか、主に環境要因の観点からその理由を推測する枠組みについて学びます。その上で環境問題やエネルギー問題について知り、どのようにそれを考えていけばいいのか、課題を認識し、追求します。		
授業到達目標/Course goals	主に環境要因の観点から、自己の行動の理由を説明することができる。また、一人ひとりの行動の観点から環境問題を捉えることができる。また、環境やエネルギー問題に対して、自ら課題を認識し、社会で変革するための手法を説明できる。その変革に関わるための態度や実践力を養い、持続可能な社会作りに貢献するための自身の役割を説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各課題の評価 (50%) 最終レポート・発表 (30%) 講義におけるディスカッション等での貢献度 (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 予めレジュメ・資料を配布します。課題等を資料に示すので、それらに目を通したうえで講義にのぞむこと。関連するニュース記事を収集し、分析しておくこと。各自の光熱水量データなど自宅や事業者にお問い合わせが必要になるものもありますので、講義やLACSの指示に注意してください。(2h) 復習 レジュメ・資料を再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	環境問題 (地球温暖化、廃棄物問題、水問題など)、エネルギー問題 (電源選択、高レベル放射性廃棄物処理など)、ガバナンス、価値観、意志決定		

教科書・教材・参考書/Materials	参考書：中谷内一也『リスクの社会心理学』（有斐閣、2012）、矢守克也・他『防災ゲームで学ぶリスクコミュニケーション』（ナカニシヤ出版、2016）他 参考書：環境白書、エネルギー白書、刀根薫「ゲーム感覚意思決定法 AHP入門」など、講義資料はLACSに掲載します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	環境問題やエネルギー問題に強い関心を持つ学生で、積極的に議論に参加できること。（グループ・全体での議論が多いことを事前に認識しておいて下さい）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	【注意事項】 大学の管理業務のため第1、2木曜日を授業開講日とし、前期を通して講義を実施します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	藤本 登/工学部助手等で、実験装置の設計、製作、測定。北九州市立科学館等でロボット教室の講師。企業等の指導・共同研究。エネルギーや環境教育に関連して、全国の公立学校等で出前授業、教員研修等を実施し、関連教材の開発などを手がける。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	オリエンテーション（目的、学習方法、ルールなど）、アイスブレーキング（グループ決め、認知確認など） 担当：藤本
2回目	環境問題と私たちの暮らしを考える 担当：藤本
3回目	持続可能な社会を考える 担当：藤本
4回目	持続可能な社会を目指して!?(自身のエコロジカル・フットプリントから考える) 担当：藤本
5回目	地球温暖化とエネルギー問題 担当：藤本
6回目	リスク認知とコミュニケーション 担当：藤本
7回目	エネルギー問題を考える 担当：藤本
8回目	私たちの暮らしを支える電気（火力・原子力・再生可能エネルギーの過去・現在・未来） 担当：藤本
9回目	九州の電気を考える 担当：藤本
10回目	放射線について知る 担当：藤本
11回目	電気のごみを考える(1)（高レベル放射性廃棄物の処分方法を考える） 担当：藤本（NUMOから外部講師）
12回目	電気のごみを考える(2)（国際的な処分方法と日本の状況） 担当：藤本（NUMOから外部講師）
13回目	電気のごみを考える(3)（高レベル放射性廃棄物の処分地選定を考える） 担当：藤本（NUMOから外部講師）
14回目	電気のごみを考える(4)（高レベル放射性廃棄物の処分地選定の合意形成） 担当：藤本（NUMOから外部講師）
15回目	総合討論 担当：藤本

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587018101	科目番号 / Course code	05870181
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12921_005		
授業科目名 / Course title	a16環境と社会運動COC / Environment and Social Movements		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	友澤 : tomozawa nagasaki-u.ac.jp 戸田 : toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	友澤教員室 : 環439 戸田教員室 : 環404		
担当教員TEL/Tel	友澤 : 095-819-2784 戸田 : 095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	個別にメールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	公害・環境問題を環境社会学の観点から考察する。政府、企業、専門家との対立や協力の相互作用のなかでの市民運動の役割について、様々な視点から議論できる知識と素養を養う。長崎県と関係のある環境問題についても触れる。		
授業到達目標/Course goals	公害・環境問題を環境社会学の観点から説明できる(11)。企業、行政、専門家、市民の役割や対立点を説明できるようになることも目指す(3)。長崎県内の環境問題を整理して問題点と解決策を発表できる(7)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平常点30% + レポート70% = 100%のうち、60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	ニュースや新聞を読むときに、授業で学んだ用語を想起して社会分析をしてみる。 < 予習 > 環境問題を取りあげるニュースや新聞記事などに目を通しておくこと(2h) < 復習 > 講義内容および講義資料をもとに復習すること(2h)		
キーワード/Keywords	環境運動、公共性、水俣病、カネミ油症、原発事故、長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書は適宜紹介する。プリント配布、映像の視聴を行う。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容で得た知識を利用し、報道される環境問題を掘り下げて考える習慣をつけてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	総論（1）いま環境はどうなっているか（友澤）
2	総論（2）人間による地球の変形（友澤）
3	日本の環境運動（1）足尾（友澤）
4	日本の環境運動（2）水俣（友澤）
5	日本の環境運動（3）四日市（友澤）
6	日本の環境運動（4）三島・沼津・清水（友澤）
7	「する側」と「される側」の論理（友澤）
8	科学・技術と環境問題（友澤）
9	当事者・行政・企業・市民社会の役割（友澤）
10	「快適な社会」をめぐる模索（友澤）
11	個別事例を学ぶ（1）カネミ油症事件（戸田）
12	個別事例を学ぶ（2）じん肺・アスベスト問題（戸田）
13	個別事例を学ぶ（3）石木ダム問題（戸田）
14	個別事例を学ぶ（4）原発（戸田）
15	「市民」として生きる人びとに学ぶ（友澤）
16	まとめと試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587018501	科目番号 / Course code	05870185
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12931_005		
授業科目名 / Course title	a16環境問題の歴史から学ぶ / The History of Environmental Problems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 五島 聖子 / Goto Seiko, 関 陽子 / Seki Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 五島 聖子 / Goto Seiko, 関 陽子 / Seki Yoko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	seijishirakawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部3F 環321 白川教員室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2734		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	現在存在する環境問題の解決策を考える上で、過去の環境問題とその解決法や取り組みについて知ることは重要である。本講義では、様々な視点で過去および現在の環境問題について知ることで、環境問題について深く考える。また、講義で得た新たな知識を参考に、自分自身の環境問題に対する姿勢を深く考えていく。		
授業到達目標 / Course goals	日本や海外の環境問題のいくつかの事例に歴史について説明できる。環境問題に対する自身の姿勢および意見を他者に述べることができる。他者の環境問題に対する姿勢および意見に対する議論を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各講義ごとのレポートによる評価(50%)、授業への貢献度(50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	復習：講義内容の復習 (1コマ毎 4 h)		
キーワード / Keywords	環境問題、公害、社会システム		
教科書・教材・参考書 / Materials	必要に応じて資料を配布		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	環境問題に関心を持っている。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	環境問題について再度じっくり学び、考え直すことで、今後の環境問題に対する意識を高めて欲しい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 : 6/11, 3限	白川担当 講義の概要
第2回 : 6/11, 4限	白川担当 公害問題 1
第3回 : 6/18, 3限	白川担当 公害問題 2
第4回 : 6/18, 4限	白川担当 公害と化学
第5回 : 6/25, 3限	白川担当 公害問題について考える
第6回 : 6/25, 4限	五島担当 都市緑地について
第7回 : 7/2, 3限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (イギリス)
第8回 : 7/2, 4限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (フランス)
第9回 : 7/9, 3限	五島担当 日本の自然観について
第10回 : 7/9, 4限	五島担当 明治以降の日本の都市緑地について
第11回 : 7/16, 3限	関担当 環境思想史 (人間中心主義はどこからきたか)
第12回 : 7/16, 4限	関担当 環境思想史 (自然中心主義)
第13回 : 7/30, 3限	関担当 環境思想史 (環境倫理と環境運動)
第14回 : 7/30, 4限	関担当 動物倫理から考える
第15回 : 8/6, 3限	関担当 価値の対立について

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587043701	科目番号 / Course code	05870437
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12911_005		
授業科目名 / Course title	a16生態系と社会C0C / Ecosystem and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山本 裕基 / Yamamoto Yuki, 服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山本 裕基 / Yamamoto Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山本 裕基 / Yamamoto Yuki, 服部 充 / Hattori Mitsuru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	山本: y-yamamoto nagasaki-u.ac.jp, 服部: mhattori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	山本: 環451 服部: 環432		
担当教員TEL/Tel	山本: 095-819-2724 服部: 095-819-2759		
担当教員オフィスアワー/Office hours	山本: 適宜対応します。 服部: 水曜日9時00分-10時30分		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生態系、生態系機能、生態系サービスについて一般論として説明した後、生態系サービスについて 事例を交えつつ説明をおこなう。社会の方へ力点を置き、持続的な社会を維持するための経済的な 仕組み、法や制度、地域の取り組みなどについて紹介し、環境問題に関連する対策について説明す る。 プレゼンテーション・レポートなどを通じて理解度の確認をおこなう。		
授業到達目標/Course goals	生態系、生態系機能、生態系サービス、社会的な取り組みなどについて、一般論や典型的な事例な どを提示しつつ、基礎的なことを学び、生態系が人間社会にとって欠かせない、環境の重要な要素 となっていることが説明できる。また、生態系と社会の関係が現代あるいは長崎県の環境問題とど のように深く関わっているか、基礎的なことが説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各教員による。 主に小テスト、プレゼンテーション、レポートなどで評価をおこなう予定であるが、詳しくは講義 内で説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 次回の講義内容について文献・ウェブ等で各自で調べて事前知識を得る(2h) 復習: 資料等により講義内容について復習する・プレゼンテーション資料作りなどをおこなう (2h)		
キーワード/Keywords	生態系サービス、環境問題、経済政策		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて指示をおこなう		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	とくになし
学生へのメッセージ/Message for students	地球規模の気候変動、生物多様性の急激な低下、様々な災害から生活環境の快適性に至るまで、生態系は我々の生活に大きく関わっています。ここで学ぶことは初歩的なことですが、大事な知識の1頁に加えましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション、環境問題とは何か（服部）
2	生態系を形作る生物の役割（1）生物間相互作用
3	生態系を形作る生物の役割（2）生物多様性の創出メカニズム
4	生態系を形作る生物の役割（3）生物間相互作用が生態系をつなぐ
5	生態系サービス：人間社会での生物利用
6	生物が引き起こす環境問題：外来種問題、獣害問題
7	生物多様性保全
8	イントロダクション（山本）
9	経済学の基本の考え方（1）
10	経済学の基本の考え方（2）
11	経済政策の基本（1）市場の役割と失敗
12	経済政策の基本（2）環境税・補助金
13	経済政策の応用（1）生態系保全と経済政策
14	経済政策の応用（2）生態系サービスの価値推定
15	環境保全政策のまとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587018901	科目番号 / Course code	05870189
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12941_005		
授業科目名 / Course title	a17地域の環境を考えるCOC / Community and Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	深見 聡 / Fukami Satoshi, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	深見 聡 / Fukami Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	深見 聡 / Fukami Satoshi, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	深見: fukami nagasaki-u.ac.jp 黒田: skuroda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	深見: 環境科学部4階・環438教員室 黒田: 環境科学部4階・環431教員室		
担当教員TEL/Tel	深見: 095-819-2720 黒田: 095-819-2732		
担当教員オフィスアワー/Office hours	深見: 金曜日5時間目 黒田: 木曜日2時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境問題は、人間や自然の相互関係の複雑化にともない多様なものとなっています。それに対して、地域特性に注目した、持続可能な地域づくりのあり方を希求することで、人間と自然の共生を図ろうという各種取り組みに注目が集まっています。それらのなかに、環境に配慮することの必要性を学ぶ「環境教育」や「環境自治」の充実があり、近年特に重要視されるようになりました。そこで本講義では、「環境教育」と「環境自治」をキーワードに掲げ、私たちの生活に身近な長崎における事例や時事問題として関心の高まっている地域の環境問題をピックアップし、その本質に迫ります。		
授業到達目標/Course goals	1.地域の環境問題を考える上で、「環境教育」や「環境自治」が果たす役割について説明できる。 2.「環境教育」や「環境自治」の分野における地域調査の方法にふれ、その基本を習得する。 3.持続可能な地域づくりのあり方について、長崎県内の課題を整理して問題点とその解決策を発表できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レスポンス用紙への記入状況50% (深見担当分) + 講義中に出される小課題への応答50% (黒田担当分) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として普段から関連ニュースを見ること、前回講義の内容と小テストについて考え直すこと。(2h) 事後学習として講義時に配布したプリントを読んでおくこと。分からなかった単語や事象を講義後に調べるようにすること。(2h)		

キーワード/Keywords	地域の視点、持続可能な地域づくり、ESD（持続可能な開発のための教育）、観光教育、災害対応、地域再生、地域コミュニティ、環境ガバナンス、環境自治のしくみ、長崎県
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：使用しない。 教材：適宜プリント等を配布する。 参考書：深見聡『観光と地域-エコツーリズム・世界遺産観光の現場から』（南方新社、2019年） 西城戸誠・宮内泰介・黒田暁編『震災と地域再生-石巻市北上町に生きる人びと』（法政大学出版局、2016年）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	長崎県内や九州各地を含むローカルな事例に学ぶことを通して、自地域や他地域、ひいては国内外へとグローバルな課題へと関心喚起につながることを目指します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	深見 聡/NPO法人での実務経験/NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会を設立し、代表として観光やまちづくり、環境教育の実務経験を有する教員が、理論と実際の両面から、エコツーリズムの現状等について解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(10月1日)	I. オリエンテーション / 環境問題の多様化
第2回(10月1日)	II. 地域の環境と「環境教育」 環境教育の歴史-公害教育から国際理解教育へ-
第3回(10月8日)	環境教育のすすめ(1) 「科学リテラシー」に基づいた価値判断学習
第4回(10月8日)	環境教育のすすめ(2) 「メディアリテラシー」と環境問題の扱い
第5回(10月15日)	環境教育を現場で考えてみよう(1) 文教キャンパス探検
第6回(10月15日)	環境教育を現場で考えてみよう(2) 文教キャンパス探検
第7回(10月22日)	文教キャンパス探検と「エコマップ」作りワークショップ
第8回(10月22日)	持続可能な社会形成に求められる市民参加型環境教育とは？
第9回(10月29日)	III. 地域の環境と「環境自治」 災害と地域復興の現場(1) 震災による地域の「被害」とは
第10回(10月29日)	災害と地域復興の現場(2) 災害社会を考える
第11回(11月5日)	環境と地域のコミュニティ(1) 「地域」というまとまり
第12回(11月5日)	環境と地域のコミュニティ(2) 自治はつらいよ？
第13回(11月12日)	環境ガバナンスのしくみ(1) 環境自治の実態と課題
第14回(11月12日)	環境ガバナンスのしくみ(2) 持続性のゆくえ
第15回(11月19日)	環境と地域の関係のあり方とは
第16回(11月19日)	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587047301	科目番号 / Course code	05870473
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12961_005		
授業科目名 / Course title	a17資源管理論 / Introduction to Resource Management		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	Medicine, Engineering, Education, Global Humanities and Social Science		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-hamasaki nagasaki-u.ac.jp (Hamasaki) y-shigetomi nagasaki-u.ac.jp (Shigetomi) (Please replace with @ when you send an email)		
担当教員研究室/Office	Env. building 449 (Hamasaki) Env. building 452 (Shigetomi)		
担当教員TEL/Tel	2742 (Hamasaki) 2785 (Shigetomi)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Fri. 16:00-17:00 (Hamasaki) Please make an appointment in advance (Shigetomi)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	To understand the characteristics of various resources, such as water resources, rare metal resources, energy resources, and recycling of resources, and to outline the economic and political mechanisms and management that determine resource allocation, using actual examples.		
授業到達目標/Course goals	Students will be able to understand the characteristics of various resources, and understand the economic and political mechanisms that determine resource allocation, the roles of organizations that are responsible for resource management, and how to coordinate different interests.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Response sheet (20%), willingness to participate in and contribute to presentations and discussions (20%), and group presentation (60%) (Hamasaki, Shigetomi)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Preparation: Read the previous class materials and review the contents (1h) Review: While reflecting on the contents of the class, collect literature and information to enable fruitful discussion in the group work (3h)		
キーワード/Keywords	globalism, resource management, interests, sustainable development, energy, circular		
教科書・教材・参考書/Materials	No textbook is specified, and the class will proceed based on the materials prepared by the lecturers. Reference literature will be introduced in each class.		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	Let's learn how to use resources effectively in the present and future.
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Class orientation (class aims, achievement goals, grading, grouping, etc.)
2	- What is resource management? The struggle between economic development (resource use) and environmental conservation (resource protection) - Group work
3	Trends in the international community and Japan regarding environmental protection and resource conservation
4	- Resource use and conservation with a case study of water resource management: a political perspective - Group work
5	A trade game to experience the difficulty of resource management
6	Review of the trade game, group work
7	Energy issues
8	Critical mineral issues
9	Waste issues
10	Circular society
11	Group work
12	Group work
13	Presentation
14	Presentation
15	Review of group presentations Class summary - How to use resources in a sustainable way

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587047301	科目番号 / Course code	05870473
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12961_005		
授業科目名 / Course title	a17資源管理論 / Introduction to Resource Management		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-hamasaki nagasaki-u.ac.jp (濱崎) y-shigetomi nagasaki-u.ac.jp (重富) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環449 (濱崎) 環452 (重富)		
担当教員TEL/Tel	内線 2742 (濱崎) 内線 2785 (重富)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜16:00~17:00 (濱崎) 事前にアポイントをとってもらえれば、適宜調整します (重富)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	水資源、希少金属資源 (レアメタル)、エネルギー資源、資源の循環利用など、さまざまな資源がもつ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみと管理について、実例を挙げながら概説する。		
授業到達目標/Course goals	さまざまな資源が持つ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみが理解できる。また、資源管理の主体となる組織の役割や異なる利害の調整の方法が理解できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	濱崎・重富ともに、レスポンスシート (20%)、プレゼンやディスカッションなどへの参加意欲・貢献度 (20%)、グループ発表 (60%) を総合的に評価する		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 前回授業資料を読んで内容のおさらいをしてくる (1h) 復習: 授業内容を反芻しつつ、グループワークでの充実した議論ができるよう文献・情報の収集を行う (3h)		
キーワード/Keywords	グローバル社会, 資源管理, 利害関係, 持続可能な開発, エネルギー資源, 循環型社会		
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は指定せず, 教員作成の資料に基づいて授業を進める。参考文献は毎回の授業で紹介する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	現在と将来の資源を有効に利用するためのしくみを学びましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション（授業のねらい、達成目標、成績評価、グループワークなど）
第2回	資源管理とは：経済発展（資源利用）と環境保全（資源保護）のせめぎあい グループワーク
第3回	環境保全と資源保護に関する国際社会および日本の動向
第4回	水資源の管理を事例とした資源の利用と保全：政治的観点から グループワーク
第5回	資源管理の難しさを体感する貿易ゲーム
第6回	貿易ゲームの振り返り，グループワーク
第7回	エネルギー問題
第8回	希少金属資源
第9回	廃棄物
第10回	循環型社会
第11回	エコロジカルフットプリント
第12回	グループワーク 最終グループ発表準備
第13回	グループ発表
第14回	グループ発表
第15回	グループ発表の講評 授業総括 資源を持続可能な方法で利用するためには

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587049501	科目番号 / Course code	05870495
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15311_005		
授業科目名 / Course title	a17廃棄物の管理と処理 / Management of Waste		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹下 哲史 / Takeshita Satoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	juniper nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2227		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで問い合わせ		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	廃棄物の処理に関する法律等を理解するとともに、実際に廃棄物の分別を体験し、廃棄物の管理と処理に関する知識と理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	日本の廃棄物処理のデータ分析と、学内の「ごみ」の実態調査・分析から、社会に必要な廃棄物の管理と処理について考察する力を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の授業への積極的な参加30%, レポート70%で評価し, 60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	シラバスの内容に沿った事前学習, および各調査・分析毎に簡単なレポート作成し提出する事後学習があります(2h程度)。		
キーワード/Keywords	廃棄物 ごみの分別 ごみ処理の方法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。資料は適宜提示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	自分が住んでいる自治体で定められているごみの分別方法を正しく理解しておくこと。グループ活動を中心とした実態調査, データ分析, 課題抽出が主体となるので, 欠席の影響は, 次の講義, さらに個人だけではなくグループにも及ぶことを念頭に入れておいてください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ごみの話, 関連する法制度についての概要説明
第2回	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)の概要説明
第3回	居住地域のごみ分別方法について調査する
第4回	居住地域のごみ分別方法の調査結果を分析する
第5回	居住地域のごみ分別方法と他地域のごみ分別方法を比較検討し, 「ごみを分別すること」について考察する
第6回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する 1
第7回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する 2
第8回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を分析する
第9回	日本の廃棄物処理の現状評価から問題点を抽出する
第10回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う 1
第11回	長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する
第12回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う 2
第13回	長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析を行い, 現状を評価する
第14回	長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出する
第15回	「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討し, 提案する。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587024501	科目番号 / Course code	05870245
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13121_005		
授業科目名 / Course title	a18情報と社会 / Information in Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 福澤 勝彦 / Fukuzawa Katuhiko, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部, 教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 10:30-12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業では、四名の教員がそれぞれの専門分野を取り上げて、実社会における「情報」について以 下の四つの観点から講義を行う。 ・経済学的視点 ・情報の結合・活用 ・可視化 ・情報セキュリティとプライバシー		
授業到達目標 / Course goals	・経済学的視点から理論とその限界について学び、事例をあげて説明できる (, , , , B,C,D) ・情報の結合・活用に関連する技術として、ソーシャルメディアと人工知能に関する技術的背景を 理解し、時代の変遷を説明できる (, , , , , , , , C,D) ・「情報」の可視化が情報社会に貢献している事例について説明できる (, , , , , , , , C,D)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 考えに対して「合意/非合意」の両観点で相互評価する取り組み F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各単元と各授業で課すレポート(10点×7回=70点のうち、42点以上を合格とする)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前) 授業内容の理解と発表の為に、事前に講義内容の十分な学修と知識の習得を行うこと。(2h) (事後) 相互評価および教員によるフォローを受けて、授業後にも自己評価シートの作成と改善を行 う。(2h)		
キーワード / Keywords	情報の価値, ソーシャル・メディア, 情報の可視化, 情報セキュリティとプライバシー		
教科書・教材・参考書 / Materials	適宜関連資料を授業で配布する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	授業ではノートPCを利用するので毎回持参すること。(初回授業から持参すること) 全回出席を原則とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	丹羽 量久/社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。 /コンピュータやインターネットに関わるときに注意すべきことについて、その仕組みや根拠を実務から得た問題点等を加味しながら講義する。また、演習の際は、周りとのコミュニケーションを取りながら、わからないことを解決していく経験を積ませる。 上繁 義史/財団法人北九州産業学術推進機構、財団法人九州システム情報技術研究所にて、研究員としてIT関連技術の研究に従事/IT技術関連の研究員としての経験を持つ教員が、コンピュータに関する基本的な原理や情報に関する基礎理論について講義・演習を行う。 鈴木 斉/富士通愛知エンジニアリングでの勤務経験/ソフトウェア開発系企業での勤務経験を有する教員が関連する業界の現状等について実態を交えて解説する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 & 第2回	【ガイダンス】丹羽 この授業の進め方について説明し、簡単に体験します。 【情報技術から見た現代】鈴木 情報・通信技術の発展を振り返りながら、この変化について取り上げます。
第3回 & 第4回	【情報化に伴う集団の形成、ヒューマン・コミュニケーション】鈴木 情報・通信技術の発展がもたらした人の繋がりについて取り上げます。
第5回 & 第6回	【社会における情報の価値】(1) 福澤 ・不確実な世界を確率で定義する。 ・価値を決定するための期待値とその意味について考えよう ・情報の価値を定義する 【情報の価値を計算する】(1) 福澤 ・期待値を基礎とした情報の価値の算出 ・期待値は万能か？
第7回 & 第8回	【人工知能と機械学習】鈴木 コンピュータ上で構築される人工知能や機械学習について取り上げます。
第9回 ~ 第10回	【情報の表現と可視化】丹羽 ・情報社会に貢献する可視化 ・VR, AR, MR
第11回	【社会における情報の価値】(2) 福澤 【情報の価値を計算する】(2) 福澤 学生によるプレゼンテーションを予定しています。
第12回 & 第13回	【暗号の世界は秘密じゃない】上繁 情報セキュリティ技術として暗号があり、山のような暗号化手法が開発され、国際規格もたくさんあります。この回では暗号技術の考え方を紹介し、応用例として、ビットコインに代表される仮想通貨などを紹介します。 【認証?私はワタシ】上繁 ID・パスワード認証をはじめ、いろいろな本人認証の技術が知られていますが、この回では特に生体認証を取り上げ、その手法に加えてプライバシーなどの問題をご紹介します。また、生体認証技術を利用した事例を紹介します。
第14回 & 第15回	【利便性・安全性とプライバシー】上繁 ネットサービスにより生活が便利になりました。また、防犯カメラなどを普及させて生活の安全性を高めようとしています。その反面、個人のプライバシーとのバランスが問題になっています。この回では、問題を例示してどう向き合うかを考えます。 【振り返り、まとめ】丹羽 ・授業の総括

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587024901	科目番号 / Course code	05870249
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13171_005		
授業科目名 / Course title	a18情報化の役割と課題 / Roles and Issues of Informatization		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部, 教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 10:30 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業では、日々の暮らしで身近に感じることをテーマの中から「情報」に関わることを取り上げている。 社会で実際に運用されている情報システムがどのような役割を担っているのか、またどのような課題を持っているのかについて一人一人が個別のトピックについて調べる。得られた成果を整理することにより、社会と情報システムとの関わりを認識し、重要と考えられる事項を抽出して、他者に説明することにより、自身が理解を深める。		
授業到達目標 / Course goals	情報社会における情報システムの役割と仕組みについて理解した上で、あるテーマについて、その課題を整理して、わかりやすく説明できるようになることを目標とし、それに必要な以下のことを修得する。 ・特定のトピックについて深く調べていく手法 (, , C, D) ・他者が理解しやすい資料の作成方法と提示方法 (, , , D) ・他者と協力して資料を改善し、かつ理解を深めていく方法 (, , , , D) ・学習活動と得られた成果をポートフォリオとして構成する方法 (, , , C, D)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 学生間の相互評価を組み込んでいる F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・毎回の授業(予習・復習を含む)における学習の取り組み状況 ・ワークシート, レポート, 他者への提示(プレゼンテーション等), 総合レポート(ポートフォリオ) のできばえ なお、プレゼンテーション等は受講者間の相互評価を加味する。 成績評価については、ワークシートや総合レポート等(5点×12=60点)およびプレゼンテーション の課題(3点×5=15点)の合計75点のうち、45点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業中は主にグループ内での情報共有・議論やプレゼンテーション等の時間に割り当てているので、 事前・事後学習についてはその準備としての調べ学習やスライド作成に充てる。(4H)		

キーワード/Keywords	情報社会, 情報システム, 業務の情報化
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて, LACSを通じて配布する。 調べ学習に用いる参考図書については, 授業で情報探索法を学び, 自分で選定する。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席を原則とし, 必ずノートPCを持参すること。 初回授業からLACSを利用する(ノートPCが必要)。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	丹羽 量久/社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務, 橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発, 科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務, 既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化, および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。/コンピュータやインターネットに関わるときに注意すべきことについて, その仕組みや根拠を実務から得た問題点等を加味しながら講義する。また, 演習の際は, 周りとのコミュニケーションを取りながら, わからないことを解決していく経験を積ませる。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 ・授業の内容, 進め方, 評価方法等の概要を説明する。 【情報化について考える】 ・情報化概論についての講義 ・確認テストの実施
第2回	【情報化について考える】 ・情報システムの開発・運用事例のビデオ視聴 ・初回授業の講義内容を踏まえて考察する
第3回	【学習テーマの決定】 ・学習テーマごとにグループを編成し, それぞれのグループで担当キーワードを決める
第4回	【参考図書の選定】 ・担当キーワードに関するパスファインダーの作成 ・参考図書の選定
第5回	【担当キーワードの調査と情報共有】 ・予習による担当キーワードの調査内容をグループ内討論により共有・深化 ・興味あることを連想キーワードとして選択
第6回	【中間発表の準備】 ・予習で作成してきた各担当スライドについて, グループ内で考えながら改善に取り組む
第7回	【中間発表】(1/2) ・すべてのグループがプレゼンテーション等による他者への説明を行う。 ・視聴者は他グループの説明内容や提示方法を相互チェックし, 質問を考える。 ・復習として, 各グループに対して内容への質問と発表で優れていたことを授業支援システムに投稿する
第8回	【中間発表】(2/2)
第9回	【中間発表の振り返り】 ・受けた質問への対応を考え, 各投稿に回答する ・二つめの調査トピックとして, 連想キーワードを自分で設定する
第10回	【連想キーワードの調査】 ・第7回までの授業で修得したことを踏まえて, 一人一人が連想キーワードについて調べる
第11回	【最終発表の準備】 ・最終発表で用いるスライドの作成と改善
第12回	【最終発表の準備】 ・各グループでリハーサルを行う
第13回	【最終発表】(1/2) ・すべてのグループがプレゼンテーション等による説明を行う。
第14回	【最終発表】(2/2)

第15回

【総合レポート・まとめ】

- ・最終発表の振り返り
- ・これまでの学習成果（ワークシート、スライド等）を集約し、自分の学習活動に対する省察を加えて、ポートフォリオとして完成させる
- ・授業の総括

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587026101	科目番号 / Course code	05870261
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13131_005		
授業科目名 / Course title	a18ソフトウェアの利用技術COC / Utilization of Application Software		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部, 教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 10:30 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	さまざまなアプリケーション・ソフトウェアを利用しながらそれらの便利さと限界を認識し, コンピュータを用いてさまざまな問題を解決していくために適切なアプリケーション・ソフトウェアを選択・活用していく方法を習得する。 さらに, データベースについては, 初歩的な利用方法について学ぶだけでなく, 長崎大学が所蔵する古写真の歴史やそのデータベース化についても学ぶ機会を設けて, 現物とそのデジタル化の関係が理解できるように導く。		
授業到達目標 / Course goals	汎用的技能の一つとして, 解決すべき問題に応じて適切なアプリケーションソフトウェアを活用できるようになる。主な技能としては以下の通りである。 ・電子書籍フォーマットEPUBのデータ構造を意識して, リフロー型電子書籍を作成できる (, , C, D) ・リレーショナル型データベースを構築し, 外部ファイルからデータをインポートして登録できる (, , , , C, D) ・データベースに登録されたデータを抽出するためのクエリを作成できる (, , , , C, D) ・長崎大学所蔵の古写真データベースから長崎にゆかりある写真を抽出し, 現在と比較して変化を説明できる (, , , A, D)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各授業での演習内容 (5点×5), およびレポート課題 (30点×2) の合計85点のうち, 51点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前に配付する授業資料を参考にして, 各ソフトウェアの基本操作を予習してから授業に臨むこと。(1H) 授業で指示する演習課題に取り組み, 期限内に提出すること。(1.5H) 提出した演習成果にコメントするので, 次回授業までに修正等の対応に取り組むこと。(1.5H)		
キーワード / Keywords	アプリケーション・ソフトウェア, データベース, 電子書籍, 古写真, 長崎		

教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて電子化資料を授業支援システムを通じて配布する
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席を原則とし、必ずノートPCを持参すること。初回授業からノートPCを使います。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	仕事を効率的かつ効果的に進めていくための一方策としてコンピュータの活用をあげることができます。いくつかのアプリケーション・ソフトウェアを利用していく過程で、データの整理法や表現法を学んでもらいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	丹羽 量久/社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。/コンピュータやインターネットに関わるときに注意すべきことについて、その仕組みや根拠を実務から得た問題点等を加味しながら講義する。また、演習の際は、周りとのコミュニケーションを取りながら、わからないことを解決していく経験を積ませる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 ・授業の内容、進め方、評価方法等の概要
第2回	【電子書籍オーサリングソフトの利用技術】 ・電子書籍フォーマットEPUB,HTML5とCSS,書誌情報,他
第3回	【電子書籍オーサリングソフトの利用技術】 ・EPUBオーサリングソフトSigilを用いた電子書籍の作成 ・スクリーンキャプチャ
第4回	【電子書籍オーサリングソフトの利用技術】 ・XHTMLとCSSのデザイン入門(1)(文字の表現,段落の表現)
第5回	【電子書籍オーサリングソフトの利用技術】 ・XHTMLとCSSのデザイン入門(2)(画像の表現)
第6回	【古写真データベース】 ・本学附属図書館のデジタルアーカイブス
第7回	【画像演習ソフトの利用技術】 ・ビットマップ画像とベクトル画像,画像編集ソフトの概要,レイヤー,他 ・画像編集ソフトを用いたイラストの作成(編集)
第8回	【電子書籍オーサリングソフトの利用技術】 ・マルチメディア(MPEG-4,SVG)
第9回	【電子書籍オーサリングソフトの利用技術】 ・EPUB電子書籍の総合課題
第10回	【データベースソフトの利用技術】 ・データベースソフトの概要,データベース・システム,リレーション,正規化,SQL 他 ・Microsoft Accessを用いたデータベース
第11回	【データベースソフトの利用技術】 ・Microsoft Accessを用いたデータベースの構築(設計・作成)
第12回	【データベースソフトの利用技術】 ・Microsoft Accessを用いたデータベースの構築(リレーションシップ)
第13回	【データベースソフトの利用技術】 ・Microsoft Accessを用いたデータベースの構築(クエリ)
第14回	【データベースソフトの利用技術】 ・Microsoft Accessを用いたデータベースの構築(フォーム,レポート)
第15回	【まとめ】 ・総合演習 ・授業の振り返り

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587025301	科目番号 / Course code	05870253
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13151_005		
授業科目名 / Course title	a19情報通信とコンピュータネットワークのしくみCOC / Computer Communications and Networks		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会, 教育, 経済, 薬, 水産 (「ICTの仕組みと活用法」モジュール)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	d-yagyu nagasaki-u.ac.jp (を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2220		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日16:00~17:30 LACSメッセージ, 電子メール等による質問等は随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	コンピュータ・ネットワークの要素技術や規格・プロトコル等を知ることにより, コンピュータシステムや構成要素がどのような仕組みで稼働しているか, どのような工夫がなされているか, また, どのような性能や信頼性のもとに稼働しているかを理解する. また, 「長崎」の通信の歴史におけるかかわり, 離島・へき地における通信について学ぶ.		
授業到達目標/Course goals	各回の内容に示す項目について理解し, 他者に説明できるようになることを目標とする (1, 3, 7, 10). たとえば, 本県のような離島・へき地を有する地域の通信環境に関する現況を説明でき, 関わる政策について, 自分なりの考えで論ずることができる (7, 10). なお, 本講義の直接の目標ではないが, ITパスポートや基本情報技術者試験のテクノロジ系科目の問題が解けるようになることを目指す (1, 3).		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題・レポート計35点, 小テスト・定期試験計50点, 講義中の積極的な取組状況計15点を基礎として総合的に評価し, 60点以上を合格とする.		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業後, 教員の指定することから・キーワードについて, 一定の限られた文字数(令和元年度の例では300字から400字の範囲)でまとめて提出する(3h). また, 授業で習った内容をもとに, 各自が所有するデバイスに関して調べる課題や, 教員が指定した項目について, 各自で授業時間外(授業前)に調べる課題を課す(1h).		
キーワード/Keywords	情報通信, コンピュータネットワーク, コンピュータシステム, プロトコル, 信頼性, 長崎県		

教科書・教材・参考書/Materials	授業資料等についてはLACSに掲載する。ただし穴あきテキストであるので、各自でノートを取り、完成したテキストとしてまとめることが必要である。参考となる図書、Webページ等は随時紹介する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全回出席を原則とする。必修PCを毎回使用する。対面授業の場合は教室に持参すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	いつも何気なく利用しているさまざまなネットワーク・機器に関して、どのような技術が用いられ、工夫がなされているかがわかります。これらの工夫は、そのシステムでのみ有効というものだけではありません。普段の生活の中でも応用できるものがあります。発想の転換のヒントになります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	<p>【ガイダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信とは ・情報の伝送 ・有線通信と無線通信 - 電波が与える影響，無線通信に関する規制・制限 - 通信の歴史 - 「長崎」の通信の歴史におけるかかわり <p>【通信の形態】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> - 一対一と一対多 - 通信と放送 - 全二重と半二重 - 上りと下り
第3-4回	<p>【電磁波の性質】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電波の周波数とその特性 - 電磁波と電波 - 周波数と波長 - アンテナ - 周波数帯と特性，使われ方 - 無線LANの種類と特性，使い分け - デジタル化による電波の再利用 - 携帯電話における新たな技術 - 各自の所有端末が使用する周波数帯を調べる
第5-6回	<p>【インタフェースとコネクタ】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタフェースとコネクタ - インタフェースとは - インタフェースを通じて送られるもの - コネクタの役割 - 医用コンセント，医用接地 - インタフェースやコネクタ，通信伝送路に求められること ・コンピュータや家電製品の外部インタフェース - 衛星4K・8K放送を視聴するために必要なもの - 各自の端末のインタフェースを理解する ・コンピュータのデータ転送用インタフェース - シリアル伝送とパラレル伝送 - 接続のトポロジ - 有線LANの規格と通信ケーブルの品質 - 無線LANの規格

<p>第7-8回</p>	<p>【通信回線の構造】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回線の種類と交換方式 - 回線交換 - 長崎県の電話交換の歴史 - 電話を「かける」とは - 専用回線と公衆回線 - パケット交換 - PSTNの終焉 ・多重化 <p>【ネットワークアーキテクチャ】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロトコルと階層 - プロトコルとは - 階層構造の意味 - OSI基本参照モデル - Internet Protocol Suite ・コンピュータ通信の具体例を見る - Webや電子メールのやりとりを例に
<p>第9-10回</p>	<p>【ネットワーク（第1層～第2層）】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットボロジ ・アクセス制御方式 - 衝突検知 ・イーサネット ・MACアドレス ・MACアドレスをトレースすると ・ネットワークを構成する装置（第1層～第3層） - コリジョンドメインとブロードキャストドメイン <p>【ルーティング（第3層）】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット - Internet Protocol
<p>第11-12回</p>	<p>【電話の公共性，離島・へき地における通信の現状】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話の公共性 - 番号計画 - 通話料金と単位料金区域 - ユニバーサルサービス - 離島特例，離島特例に見る長崎県の地域と交流関係 - 離島・へき地における通話・通信環境 <p>【ルーティング（第3層）】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IPアドレス - IPv4とその割り当て - サブネッティング ・IPv4アドレスの枯渇とその対策 - IPv6 - グローバルアドレスとプライベートアドレス - アドレス変換 ・ルーティング - ARP - 経路情報とルーティング - 電話のネットワークにおけるルーティング ・DHCP

<p>第13-14回</p>	<p>【ネットワーク・通信の信頼性〔第4層〕】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信の信頼性 - コネクション型とコネクションレス型 - ポート番号 <p>【誤り検出・誤り訂正】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤り検出・誤り訂正 - 正しく伝える工夫 - 誤りに対する耐性 - パリティチェック, CRC, チェックディジット <p>【アプリケーション〔第5層～第7層〕】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Domain Name System - ホスト名とドメイン - ナンバーポータビリティ - 名前解決に見るインターネットの信頼性 <p>・アプリケーションのふるまい〔第4層～第7層〕を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> - Webアクセスや電子メールを例に ・ネットワークセキュリティ - ファイアウォール, パケットフィルタ, アプリケーションゲートウェイ - 守られる範囲 - 無線LANのセキュリティ
<p>第15回</p>	<p>【コンピュータシステムの構成と信頼性】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータシステムの処理形態 - 集中処理と分散処理 - サーバ・クライアントモデル - クラスタ - クラウド <p>・コンピュータシステムの信頼性</p> <ul style="list-style-type: none"> - 冗長化 - 信頼性の評価指標 - 故障曲線 - 信頼性を高める工夫 - フォールトトレラント <p>・記憶の信頼性</p> <ul style="list-style-type: none"> - コンピュータの5大装置 - 半導体メモリの種類 - 補助記憶装置の種類 - USBメモリやディスクの記憶の信頼性 - データのバックアップ
<p>第16回</p>	<p>【定期試験】</p>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587025701	科目番号 / Course code	05870257
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13161_005		
授業科目名 / Course title	a19情報化時代の仕事術 / Literacy in the Information Age		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会, 教育, 経済, 薬, 水産 (ICTの仕組みと活用法)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @にを変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日2校時 (10:30 ~ 12:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業ではいくつかのライフハックについて演習をまじえて学び、日常生活や学習・研究の場で活用できるようになることを目標とする。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフハックについて理解する。 ・ライフハックを自らの学生生活で活用できる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中課題及び小テスト : 60% , 期末テストまたは課題 : 40% , を予定している。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	ライフハック, クラウド, スマートデバイス		
教科書・教材・参考書/Materials	LACS上で提供する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	iOS か Android OS を搭載したスマートフォン、タブレットを保有しており、授業に持参できる 学生を受講を希望する。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ノートパソコンを準備してください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週	ガイダンス / パスワード管理
第2週	クラウドストレージ / マインドマップ
第3週	To Do管理 / GTD
第4週	Windows / Office Hack
第5週	デジタルノート活用術 / バージョン管理
第6週	ワークフロー自動化ツール / 電子メールの整理術
第7週	数式処理ソフトウェア / Web会議サービス
第8週	ラーニングポートフォリオの作成

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587054701	科目番号 / Course code	05870547
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15451_005		
授業科目名 / Course title	a19プログラミング入門 / Introduction to Programming		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日2校時(10:30 ~ 12:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、プログラミング的な思考力を養うことである。本授業では、プログラミング言語としてPythonを取り上げ、プログラミングの基礎やアルゴリズムについて学ぶ。また、Pythonを用いた画像認識AIの作成にも挑戦する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ Pythonの基本的な文法を理解する。 ・ 簡単なアルゴリズムに基づきプログラムを作成できる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中課題及び小テスト : 60% , 期末試験(または課題) : 40% , を予定している。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【第1回】 予習 : 特になし、復習 : プログラミング環境の準備を完了させる (4時間) 【第2~14回】 予習 : 指定された内容の学習 (各回2時間)、復習 : プログラムの作成 (各回2時間) 【第15回】 予習 : プレゼン資料の作成 (4時間)		
キーワード/Keywords	プログラミング, アルゴリズム		
教科書・教材・参考書/Materials	LACS上で提供		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	ノートパソコンを準備してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週	ガイダンス / プログラミング環境の準備
第2週	Python の基礎
第3週	アルゴリズム入門(1)
第4週	アルゴリズム入門(2)
第5週	画像認識AIの作成(1)
第6週	画像認識AIの作成(2)
第7週	画像認識AIの作成(3)
第8週	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587034901	科目番号 / Course code	05870349
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13321_005		
授業科目名 / Course title	a21世界人口の動向と国際開発 / Trends in World Population and International Development		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	Ed, Ec, Ph, Fi, SGHSS		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	Use LACS's "Messages".		
担当教員研究室/Office	one floor above Room B15		
担当教員TEL/Tel	095-819-2253		
担当教員オフィスアワー/Office hours	By appointment.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Students are expected to deepen their understanding of basic demographic concepts and indicators as well as determinants and consequences of the current demographic trends.		
授業到達目標/Course goals	To develop skills to: (1) Interpret population data regarding death, birth, and migration. (2) Explain factors influencing population dynamics in connection with social, economic, and cultural background. (3) Explain the consequences of the changing demographic structures in the world.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	In-class exercises (70%) Final exam (30%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Preparation: Watch preparation videos (2h). Review: Summarize the results of in-class exercises (2h).		
キーワード/Keywords	demographic transition, decreasing birthrate and aging population, international		
教科書・教材・参考書/Materials	PRB's World Population Data Sheet 2020, etc.		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
April 8 (12:50)	Introduction to the course
April 8 (14:30)	Overview and history of demography
April 15 (12:50)	Global comparisons of demographic structures
April 15 (14:30)	What is demographic transition?
April 22 (12:50)	Indicators and determinants of fertility
April 22 (14:30)	Global comparison of fertility rates
May 6 (12:50)	Mortality rates and life expectancies
May 6 (14:30)	Global comparison of mortality rates
May 13 (12:50)	Backgrounds of internal and international migration
May 13 (14:30)	Immigrants and refugees
May 20 (12:50)	Indicators of population aging
May 20 (14:30)	Case studies of aging countries
May 27 (12:50)	What is demographic dividend?
May 27 (14:30)	Types and purposes of population policies
June3 (12:50)	Summary
June3 (14:30)	Final exam

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587034901	科目番号 / Course code	05870349
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13321_005		
授業科目名 / Course title	a21世界人口の動向と国際開発 / Trends in World Population and International Development		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多教経薬水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	LACSメニューのメッセージ内「松村 真樹 (教員)」を使ってください。		
担当教員研究室/Office	グローバル連携機構教員室 (B15教室の真上)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2253		
担当教員オフィスアワー/Office hours	アポイントメントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人口の動向を見ることによって、世界の多様性が見えてくる。同時に、貧困層、児童労働、ジェンダー格差、そして移民・難民の現状など、さまざまな課題にも目が向くようになる。この授業を通じて、人口学的視点から国際社会の変化と多様性について関心をもち、人口データによって現状を説明する方法を身につける。		
授業到達目標/Course goals	1)死亡、出生、移動に関する基礎的な人口指標を算出し、その意味を説明することができる。 2)人口動態に影響を与える要因について、社会・経済・文化的背景に関連付けて説明することができる。 3)人口構造の変化が国際社会に及ぼす影響について、事例を挙げて説明することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題演習 (複数回の合計70点) + 定期試験 (30点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 予習用の動画ビデオを視聴して理解した点や疑問点をメモしておく (2h) 事後学習: 授業中に行った演習を復習して提出用にまとめる (2h)		
キーワード/Keywords	人口転換, 少子高齢化, 国際人口移動		
教科書・教材・参考書/Materials	PRB's World Population Data Sheet 2020などを配布する		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4月8日 (12:50)	授業の進め方と課題演習について
4月8日 (14:50)	人口学の歴史と概要
4月15日 (12:50)	人口構造の国際比較
4月15日 (14:30)	人口転換とは何か
4月22日 (12:50)	合計特殊出生率とは何か
4月22日 (14:30)	出生状況の国際比較
5月6日 (12:50)	死亡に関する人口統計とその国際比較
5月6日 (14:30)	死亡率低下の歴史的推移と平均寿命
5月13日 (12:50)	国内及び国際人口移動の背景
5月13日 (14:30)	移民・難民の現状について考える
5月20日 (12:50)	人口高齢化の統計指標
5月20日 (14:30)	高齢社会の現状について考える
5月27日 (12:50)	人口ボーナスとは何か
5月27日 (14:30)	人口政策の種類と目的
6月3日 (12:50)	まとめ
6月3日 (14:30)	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587036101	科目番号 / Course code	05870361
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13351_005		
授業科目名 / Course title	a21異文化接触とコミュニケーションCOC / Cross-Cultural Contact and Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumoto_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日16時-17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>長崎大学には、2020年5月現在、約470名の外国人留学生がいます(2019年は約550名、2010年は約360名だったそうです)。新型コロナウイルス感染症の影響により人の移動が大きく制限された2020年でしたが、日本や長崎を訪問したり暮らしたりする外国人の数は着実に増加しています。それに伴い、みなさんが大学や街で外国人に会う機会も今後増えていくことでしょう。</p> <p>この講義では、まず、"やさしい日本語"について学びます。そして、自分が普段使っている日本語やコミュニケーションの仕方について振り返ります。最終的に、日本人と外国人が共に暮らすために必要なもの・ことについて仲間といっしょに考えます。この科目は、「COC+対応」科目です。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>a. 長崎大学や長崎県、日本にいる外国人の背景や受入に関する課題をおおまかに説明できる(1, 11)</p> <p>b. "やさしい"日本語を使って、外国人留学生とコミュニケーションができる(10)</p> <p>c. 自分が普段話したり、書いたりする日本語や、自分のコミュニケーションの仕方について客観的に捉えることができる(5, 8, 11)</p> <p>d. 日本人と外国人が共に暮らすために必要な(または大切な)もの・ことについて提案できる(2, 11)</p> <p>e. グループワークにおいて、仲間と協力しながら自分の役割を果たすことができる(9)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>以下、合計100点のうち60点以上を合格とする。</p> <p>(1) 授業への取組み【5点】</p> <p>(2) やさしい日本語クイズ【15点】</p> <p>(3) プレゼンテーション3回【20点+5点+30点=55点】</p> <p>(4) PBL学習計画シート【2.5点】</p> <p>(5) PBL個別学習サマリー【5点】</p> <p>(6) PBL振り返り記録【2.5点】</p> <p>(7) PBL最終レポート【15点】</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>【事前】シラバスや「学習者ガイド」を見て次の授業の流れを把握する。そして、必要な作業を済ませる。（1h）</p> <p>【事後】グループワークの中で自分が担った作業や与えられた課題を決められた時間までに済ませる。授業で扱った話題に関連する情報をインターネットや新聞で調べる。自分が住んでいる街、自分の身の回りがある物、自分や周りの人が話す日本語を、授業で習ったことと関連付けながら観察する。（3h）</p>	
キーワード/Keywords	日本語、コミュニケーション、"やさしい"、文化、社会、変容、長崎	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948</p>	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回（3校時）	・オリエンテーション ・日本在住外国人と訪日外国人	F
第2回（4校時）	・"やさしい"日本語 ・ユニバーサル・コミュニケーション	A C
第3回（3校時）	・「長崎にいる外国人について知る」調査についての説明と計画	A B C D
第4回（4校時）	・調査の計画と実施	A B D
第5回（3校時）	・調査結果のまとめと分析	A B D
第6回（4校時）	・成果発表	A B D
第7回（3校時）	・PBL（Problem Based Learning）についての説明 ・シナリオを読む（Step1） ・キーワードの抽出（Step2）	A B D
第8回（4校時）	・問題提示（Step3） ・問題の位置付け（Step4） ・学習の計画（Step5） ・中間発表の準備	A B D
第9回（3校時）	・中間発表	B
第10回（4校時）	・個別学習（Step6）	A D
第11回（3校時）	・学習成果の共有（Step7）	B D
第12回（4校時）	・学習成果の整理と発表準備（Step8）	A B D

第13回（3校時）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習成果の整理と発表準備（Step8） ・ 成果発表 	A B D
第14回（4校時）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果発表 	A B D
第15回（3校時）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前週の発表のフィードバック ・ 本科目のまとめ 	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587069101	科目番号 / Course code	05870691
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a21国際協力と開発援助 / International Cooperation and Development Assistance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoki.tsunenori@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス総合研究棟5階507号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895 (直通)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜から金曜まで 10時から17時まで 面談予約や質問はaoki.tsunenori@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信して ください) 宛とし、件名に学部名と氏名を入れて下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>感染症の脅威、経済の停滞、紛争の影響、環境の汚染にみるように、今日の世界で起きている問題は多様かつ複雑であり、相互作用、グローバル化しています。そのような中で、世界の8割の人々は開発途上国に暮らし、貧困、保健医療、水資源、教育、社会保障、人権、ジェンダー、紛争、移動、経済、環境など様々な領域で厳しい現実と直面しています。開発途上国が抱える問題は何か、その原因は何か、どのように解決すべきか、世界の国々はどのように関わるべきか、これらは21世紀に生きる我々にとって重要な問いであり、その問いに対して、自分で考え、自分の意見を持ち、他者と議論するための基礎的な教養を身に付けておく必要があります。</p> <p>本科目は国際協力における開発援助に焦点を当てます。まず開発途上国と開発援助に関する基礎的な知識を習得していきます。続いて、日本の政府開発援助 (ODA) を通じて開発援助の具体的な仕組みとその実際について理解を深めていきます。さらに、国際協力で具体的に参加する方法とその実際について学んでいきます。そして、国際協力と開発援助の今後について考えていきます。これらを踏まえて、国際協力と開発援助について自分の考えを説明し、他者と議論できるようになることを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>この授業が終了した時に以下のような知識や能力を身につけることを目標にします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発途上国の課題、開発と開発援助に関する基本的な概念、開発援助の主要な歴史・理論・政策、開発アクターについて理解し、自分の考えを説明できるようになる。 2. 日本の政府開発援助 (ODA) を通じて、開発援助の仕組みとその実際、国際協力の参加方法とその実際について理解し、自分の考えを説明できるようになる。 3. 国際協力と開発援助の今後について自分の考えを説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加と課題と試験をもとに授業の目標にどれほど到達しているのかという基準で成績評価を行います。 最終の成績評価における配分は以下のとおりです。 授業への貢献（出席ではない。質問や意見、意欲など。）20点、課題 30点、試験（場合によりレポート評価）50点 総合点(100点)60点以上を合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容及び講義資料、参考文献等をもとに復習すること。 ・疑問点あれば調べ、要すれば次の授業で教員に確認すること。 ・課題がある場合は、取り組み、指定された授業で提出すること。 ・国際協力と開発援助についての自身の考え方をまとめていくことを意識しておくこと。 (事前学習 2 h、事後学習2h)
キーワード/Keywords	グローバル化、SDGs、国際協力、開発援助、政府開発援助（ODA）、国連、世界銀行、JICA、企業連携、保健医療、環境、水産、教育、経済、戦争、紛争、難民、人権、女性、ジェンダー、アジア、アフリカ、中東、欧州、中南米、国際政治、ナショナリズム、多様性、ボランティア、キャリア
教科書・教材・参考書/Materials	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書はありません。 ・授業を通じて参考書籍等を紹介します。 【全般的な参考資料】 <ul style="list-style-type: none"> ・開発協力白書 日本の国際協力：外務省ウェブサイトからダウンロード可能 ・国際協力機構年報：国際協力機構（JICA）ウェブサイトからダウンロード可能 【参考文献】 <ul style="list-style-type: none"> ・「国際協力 -その新しい潮流 第3版」有斐閣、2016 ・〔新版〕「国際協力論を学ぶ人のために」世界思想社、2016 ・「国際開発援助と新興国の台頭」明石書店、2014 ・「持続可能な開発目標(SDGs)と開発資金 開発援助レジームの変容の中で」文眞堂、2017 ・「日本の国際開発援助事業」日本評論社、2014
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> ・受講に先立ち履修すべき科目はありません。 ・国際協力、開発援助についての基礎知識が無くても構いません。 ・授業では学生に発言や発表を求めます。発言しない、発言したくない、聞くのみのつもりでいる学生には向いていません。成績評価の欄のとおり、授業への貢献を問いますので良く考えて受講を決めて下さい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948</p>
備考（URL）/Remarks（URL）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の特徴：担当教員の実務経験を活かした理論と実務（実際）に基づく講義です。 ・授業の形態：担当教員及びゲストスピーカーによる講義です。新型コロナウイルス流行等の対応で講義方法が変わる可能性があります。 ・授業の流れ：冒頭に前回授業の復習、学習の目標の提示、続いて講義（質疑含む）、最後に要点や授業の位置づけの再確認、次回の予告（あれば課題指示）をします。LACSに講義資料を掲示します。 ・質問：どの時点でも授業中の質問を歓迎します。終了時の教室での個別質問も時間の限り受け付けます。「こんなことを聞いてもいいのかな」「分からなかった」といったことも遠慮せずに聞いて下さい。 ・授業の進行：進行具合、ゲストスピーカーの日程の都合により、授業の順番を変更する可能性があります。 ・課題と試験：剽窃、不正が認められた場合は該当箇所の評価をゼロとします。
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通じて国際協力を身近に感じ関心を深めてもらうこと、世界、日本、自分について学びほどこき、国際協力についての皆さんの視野や考え方が広がること、自分の意見を持つようになることを期待しています。 ・国際協力の実務に長年携わってきた知識や経験を学生の皆さんに共有しながら、写真や動画、国際協力の事例の紹介やゲストスピーカーを迎え、生きた授業も行っています。 ・自分なりの考えや問いを大切に、ぜひ積極的に質問して下さい。みなさんの受講を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y

<p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	<p>青木恒憲 (本授業担当教員) / 20年に亘り、日本政府の国際協力の実施機関である独立行政法人国際協力機構 (JICA) で国際協力の実務に従事。アジア・大洋州、中東・欧州、アフリカ、中南米の保健医療分野のプロジェクトマネジメント、世界銀行、ビル&メリンダ・ゲイツ財団等とのグローバルパートナーシップ、日本の民間企業や大学との連携を担当。保健医療専門家として2003年から2005年までミャンマーに保健医療プログラム企画調査員、2014年から2017年までガーナ保健サービスに地域保健政策アドバイザーとして駐在。現場調査・国際会議等で25カ国に滞在。2020年3月まで人間開発部保健第一グループ課長。 / 実務経験の紹介を交えながら本授業を担当する。 ゲストスピーカー / 国際協力の実務経験者 / 実務経験の紹介を行う。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回 10月1日</p>	<p>ようこそ、授業の紹介 授業の概要、目標、スケジュール、進め方、成績評価、担当教員、参考文献について紹介します。</p>
<p>第2回 10月1日</p>	<p>開発途上国の課題、開発、開発援助 開発途上国の課題、開発の定義と尺度、開発途上国と政府開発援助 (ODA) の定義を考えます。</p>
<p>第3回 10月8日</p>	<p>開発援助の歴史 開発における歴史・理論・政策の変遷、開発アクターの変遷、開発アクター間のパートナーシップの変遷を考えます。</p>
<p>第4回 10月8日</p>	<p>開発援助の歴史 前回に続いて、開発における歴史・理論・政策の変遷、開発アクターの変遷、開発アクター間のパートナーシップの変遷を考えます。</p>
<p>第5回 10月15日</p>	<p>日本の政府開発援助 (ODA) の歴史 日本の政府開発援助 (ODA) の歴史の変遷と日本のODAの特徴を考えます。</p>
<p>第6回 10月15日</p>	<p>日本の政府開発援助 (ODA) の歴史 前回に続いて日本の政府開発援助 (ODA) の歴史の変遷と日本のODAの特徴を考えます。</p>
<p>第7回 10月22日</p>	<p>日本の政府開発援助 (ODA) の仕組みと実例 日本の政府開発援助 (ODA) の政策枠組み、行政枠組み、実施方式、プロジェクトの実施を実例を交えながら考えます。</p>
<p>第8回 10月22日</p>	<p>日本の政府開発援助 (ODA) の仕組みと実例 前回に続いて日本の政府開発援助 (ODA) の政策枠組み、行政枠組み、実施方式、プロジェクトの実施を実例を交えながら考えます。</p>
<p>第9回 10月29日</p>	<p>日本の政府開発援助 (ODA) の仕組みと実例 前回に続いて日本の政府開発援助 (ODA) の政策枠組み、行政枠組み、実施方式、プロジェクトの実施を実例を交えながら考えます。</p>
<p>第10回 10月29日</p>	<p>国際協力の実際 ゲストスピーカー 国際協力の実務経験者の話を聴き、国際協力の実際について考えます。</p>
<p>第11回 11月5日</p>	<p>国際協力の実際 ゲストスピーカー 続いて国際協力の実務経験者の話を聴き、国際協力の実際について考えます。</p>
<p>第12回 11月5日</p>	<p>国際協力に参加する 国際協力に参加するうえで大事なこと、参加する具体的な方法を実例を交えながら考えます。</p>
<p>第13回 11月12日</p>	<p>国際協力と開発援助の今後 国際協力と開発援助の今後について考えます。</p>
<p>第14回 11月12日</p>	<p>国際協力と開発援助の今後 続いて国際協力と開発援助の今後について考えます。これまでの講義のまとめを行います。</p>
<p>第15回 11月19日</p>	<p>試験 (場合によりレポート) これまでの学習についての理解を試します。</p>
<p>第16回 11月19日</p>	<p>試験 (場合によりレポート) の解説、質疑応答 試験の解説、質疑応答を行います。</p>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587049901	科目番号 / Course code	05870499
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15321_005		
授業科目名 / Course title	a22身体関係論COC / Embodied Relating		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	北村 史 / Kitamura Fumito		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	北村 史 / Kitamura Fumito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	北村 史 / Kitamura Fumito		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kitamura@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @ を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館 オープンラボ1		
担当教員TEL/Tel	095-819-2455		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日16:00 ~ 17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々の日常的なコミュニケーション活動において、言語的な意味内容は重要です。しかしながら、我々が他者のことを「わかる」とき、利用しているのは単に言語的な情報だけでなく、相手の表情やジェスチャーや姿勢などからも豊かな意味をもってメッセージが伝わっていると考えられます。そういった身体の機能の重要性の一方で、我々は身体の使い方を学ぶことは少なく、無意識のうちに慣れてくせのようになった身体の使い方に気づくことすらあまりありません。本授業では、実際に身体を動かすワークを通じて、自分自身の身体感覚に意識を向け、コミュニケーションにおける身体の役割に気づき、自分自身のコミュニケーションスタイルを意識して、効果的なコミュニケーションをできるようになることを目指します。また、「わかる」ということにおける身体の機能に注目したワークショップを履修者全員で企画実施し、実践的に身体を活用した学びに取り組みます。		
授業到達目標/Course goals	a. 自分のコミュニケーションスタイルに気づく (2, 5) b. 自分の身体的体験を言葉にできる (5, 10) c. 他者との関わりにおいて、自分らしい自己表現を効果的に行うことができる (8, 9, 10) d. 非言語行動、身体化された知識、感覚の共有など、授業で紹介された考え方について整理して説明できる (C) ()内の数字は全学モジュール目標の番号と対応 (『全学モジュールガイドブック』を参照)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	(身体体験ログ5点×7回) + (予習復習課題6点×4回) + (プレゼンテーション10点) + (体験学習やグループワークへの取り組み11点) + (レポート課題20点) = 100点満点のうち、60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業後に予習復習のための課題を知らせます。課題には以下のものが含まれます。 体感ログの作成 資料を閲覧視聴した後の掲示板ディスカッション グループでの準備活動	
キーワード/Keywords	からだ言葉、ボディ・スキーマ、身体化、非言語行動、ワークショップ	
教科書・教材・参考書/Materials	購入指定する教科書はありません。以下の文献を主な参考書とします。 生田久美子 「わざ言語ー感覚の共有を通しての『学び』へ」 慶應義塾大学出版会 2011 D. マクニール 「心理言語学『ことばと心』への新しいアプローチ」 サイエンス社 1990 鴻上尚史 「発声と身体のレッスン」 ちくま文庫 2012 佐々木正人 「からだ：認識の原点」 東京大学出版会 2008 鯨岡峻 「ひとがひとをわかるということ」 ミネルヴァ書房 2006 得丸さと子 「TAEによる文章表現ワークブック」2008 荻宿俊文、佐伯胖、高木光太郎 「まなびほぐしのデザイン」 東京大学出版会 2012	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> ・一つひとつの体験を大事に、集中して授業に参加すること ・うまくできなくても、やってみようとする ・自らの知性を発揮することを楽しんで、建設的な学び合いができること ・授業内外でテーマについて考え、学ぶ（予習、復習、課題、グループワーク）ために時間をつかうこと（週平均3時間程度） 	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	いろいろな姿勢や動きをする体験学習が多いので、全回の授業に、からだを動かしても気にならない服装で参加してください。からだを動かさずらい服装やスカート等は避けてください。また、本授業では授業の成果を検討して授業内容の改善につなげるために、調査に協力してもらうことがあります。協力するかどうかはその都度各自で選択できます。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション アイスブレイク からだ言葉	A B
第2回	【ボディ・ワーク】自分の身体とのかかわり(1) TAEによる自己表現の導入	A C
第3回	ボディ・マップ ボディ・スキーマ ペリパーソナルスペース	A
第4回	【ボディ・ワーク】自分の身体とのかかわり(2)	A C
第5回	感覚の共有とまなび(1)	A
第6回	【ボディ・ワーク】他者とのかかわり(1)	A C
第7回	共感とまなび(2)	A
第8回	【ボディ・ワーク】他者とのかかわり(2)	A C
第9回	ワークショップの構想(1)(グループワーク)	B D
第10回	ワークショップの構想(2)(グループワーク)	B D
第11回	ワークショップ案のコンペ(プレゼンテーション)	B C
第12回	ワークショップの準備	B D

第13回	ワークショップ実施(1)	A B
第14回	ワークショップ実施(2) ワークショップのふりかえり	A B
第15回	【ボディ・ワーク】他者とのかかわり(3) 授業のまとめ	A B

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587061701	科目番号 / Course code	05870617
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15591_005		
授業科目名 / Course title	a22他者理解とバイアス / Unconscious Bias Toward the Others		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中島 ゆり / Nakajima Yuri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中島 ゆり / Nakajima Yuri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中島 ゆり / Nakajima Yuri		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakajimayuri nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス 美術技術棟 2 0 3		
担当教員TEL/Tel	095-819-2908 (内線2908)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業後、またはメールにてアポイントをとること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人は他者を判断するとき、「無意識のバイアス」に依拠しがちである。対人関係を築く上で自分自身がどのようなバイアスを持っているか、それによってどのような問題が生じる可能性があるか、なぜそのようなバイアスを持ってしまうのかについて学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	1. 「無意識のバイアス」が何によって生じるのか、どのような問題が生じる可能性があるのか、について説明することができる。 2. 自らのバイアスと、それによって生じる可能性のある問題を理解し、それをできるだけなくすように努力する態度を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の課題・文字起こし・グループ・プレゼンテーション 50% 最終レポート 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	インタビューデータの文字起こしを授業外で行います。 グループ発表の準備も授業外で行います。(計4h)		
キーワード/Keywords	無意識のバイアス、社会階層・人種・ジェンダー、社会学		
教科書・教材・参考書/Materials	資料はこちらで準備しますので、購入する教科書等はありません。 参考文献については授業中に提示します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	人に対するインタビューを実施します。また、グループで活動します。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	イントロダクション
第 2 回	無意識のバイアス
第 3 回	グループワーク
第 4 回	どう行動するか (1)
第 5 回	グループディスカッション
第 6 回	どう行動するか (2)
第 7 回	インタビューテーマ決め (グループワーク)
第 8 回	話の聞き方
第 9 回	インタビュー (1)
第10回	インタビュー (2)
第11回	インタビューデータの分析 (1) (グループワーク)
第12回	インタビューデータの分析 (2) (グループワーク)
第13回	プレゼンテーション準備 (1) (グループワーク)
第14回	プレゼンテーション準備 (2) (グループワーク)
第15回	グループごとにプレゼンテーション

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587067701	科目番号 / Course code	05870677
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16441_005		
授業科目名 / Course title	a22対人関係を考えるCOC / Workshops on Interpersonal Relationship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	okadayo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	共用校舎2 (多文化社会学部3号館) 102		
担当教員TEL / Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー / Office hours	何か質問や相談したいことがあったら遠慮なく来てください。 但し、LACS経由ではなく、必ずメールにて面談の予約をしてください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>私達はこの世に生まれてから死ぬまで、必ず誰かとの対人関係の中で生きています。本科目では、この対人関係の中にみられる諸問題について客観的・分析的に考え、その後自分達で何かしらの解決策を探求していくことを目指します。</p> <p>そのために本科目ではまず、様々な対人関係の中にある諸問題について、教育学・社会学の観点から客観的・分析的に考えるための視点を養います。次に、それらの視点に基づき、今後実際の諸問題にどのように対応していくのかについてグループワークやディスカッションの中で自分達なりの答えを考え出していくことを目指します。</p> <p>本科目は大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる思考力・分析力・コミュニケーション力など、様々な基礎能力を育成することを目指しています。そのため、この科目では皆さんの積極的な参加が不可欠です。授業内では他者とのコミュニケーションや自分の意見を持つことが強く求められます。受動的に授業を受けたい人には不向きな授業であるため、その点に留意して受講してください。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・対人関係にみられる諸問題を教育学・社会学の用語を用いて分析的に説明することができる ・自分と異なる意見を持つ他者と話し合いながら問題解決に取り組むことができる ・人間関係に関する諸問題について自分の考えを述べるることができる ・他者の多様な価値観について受動的に関わることができる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業内ワーク及び事前ワーク40%、授業外課題60%</p> <p>全課題の総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。</p> <p>但し、(1)全体の2/3以上の出席及び、(2)ワークと課題を全体の2/3以上提出していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないこととなります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください)</p> <p>本科目では、最終試験は実施しません。その代わりに、授業回数が16回に設定されています。注意して受講すること。</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	本科目では、毎回課題を提出してもらいます。その中に授業の予習・復習の内容が含まれているので、授業に出席する際は必ず課題を提出したうえで臨むこと。（4h）
キーワード/Keywords	社会化、生徒文化、社会階層、文化資本、再生産、ジェンダー
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業の中で随時配付します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。 ・グループワークを行う際、各個人にグループ全体に対する役割と責任が出る課題を与える場合があるため、特段の理由がない限りは遅刻及び欠席厳禁です。特に、授業進行やグループワークの妨げとなるため授業開始時には必ず教室にいるよう注意して受講してください。 ・授業中の私語および携帯電話の使用は禁止します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>
備考（URL）/Remarks (URL)	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業では座席指定を行います。座席の指示は授業開始時に行うため、遅刻しないこと。 ・授業内でグループワークを頻繁に行うため、特別の理由がない限りは遅刻及び欠席厳禁とします。それに留意したうえで受講すること。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では自分の経験や社会的な問題について客観的・分析的に捉え直す視点を培い、考える力をつけていくことをねらいとしています。社会の中にある様々な対人関係の問題・課題について一緒にじっくり考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション・学校の人間関係を考える（1）
第2回	学校の人間関係を考える（2）
第3回	学校の人間関係を考える（3）
第4回	学校の人間関係を考える（4）
第5回	教育格差を考える（1）
第6回	教育格差を考える（2）
第7回	教育格差を考える（3）
第8回	教育格差を考える（4）
第9回	ジェンダーについて考える（1）
第10回	ジェンダーについて考える（2）
第11回	ジェンダーについて考える（3）
第12回	ジェンダーについて考える（4）
第13回	人の多様性について考える（1）
第14回	人の多様性について考える（2）
第15回	人の多様性について考える（3）
第16回	人の多様性について考える（4）および授業まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587050301	科目番号 / Course code	05870503
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15331_005		
授業科目名 / Course title	a23コミュニケーションの生物学・臨床医学 / Biology of Animal Communication and Clinical Medicine of Human Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 二郎 / Okada Jiro, 田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 二郎 / Okada Jiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 二郎 / Okada Jiro, 田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jokada nagasaki-u.ac.jp (岡田) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) goro nagasaki-u.ac.jp (田中) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) akiko0923 nagasaki-u.ac.jp (徳永) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部本館227室 (岡田) 保健学科5階 (田中) 保健学科5階 (徳永)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2762 (岡田) 095-819-7995 (田中) 095-819-7996 (徳永)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金 12:10~12:40 (岡田) 月~金 12:10~12:40 (田中) 適宜 (徳永)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ほとんどの動物は、何らかの手段を用いて個体同士での情報のやり取りをおこなっているが、これ が現代の人間社会における複雑なコミュニケーションの礎となっている。ヒトを含めた動物では、 種特異的な動作、音声、化学物質などのシグナルが送り手から発せられ、それらが受け手の感覚器 で受信される。このシグナルは中枢に運ばれ、識別され、次に受け手が起こすべき応答のプログラ ムが生成され、最終的に返信シグナルが発現する。この一連のプロセスは、必然的に生物学的な意 義が存在していて、いずれも脳神経系の機能を基礎としている。また、シグナルの受信から、返信 シグナルの発現という一連のプロセスにおいて、その一部の機能が障害されると、そのコミュニケ ーションは大きく変容する。本講義では、動物とヒトのコミュニケーションについて、その進化、 多様性、生理機能、および障害に注目して学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	(岡田) 1) コミュニケーションの生物学的意義を理解し、その進化と多様性について説明できる。 2) 様々な動物におけるコミュニケーションの生理学側面について説明できる。 3) 自主的に学ぶ態度を身につける。 4) 与えられたグループ課題に対して、メンバー間で積極的かつ協調的に解決に取り組み、最善の 結論を得るための態度およびスキルを獲得する。 (田中・徳永) 1) 障害をもつ事例からヒトのコミュニケーションの多様な側面を学ぶ。 2) メンバー間で積極的かつ協調的に課題解決に取り組み、最善の結論を得るための態度およびス キルを獲得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習課題(30%)、講義中のグループ課題(30%)と最終試験(40%)による。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習課題、講義前に配布される資料の確認、不明な用語や概念の下調べ等で、毎回2時間の事前学習が必要。 講義内容、講義中に課される課題の振り返り等で、毎回2時間の事後学習が必要。
キーワード/Keywords	(岡田) 行動、進化、多様性、脳神経系 (田中・徳永) 精神障害、発達障害、コミュニケーション
教科書・教材・参考書/Materials	LACSに掲載する資料、配布資料等を用いる。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	連絡はLACS等を通じて行う。
学生へのメッセージ/Message for students	高校生物や一般書等から、動物の行動と生態、脳・神経系に関する予備知識があると良い。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	田中 悟郎/精神科病院及び施設で作業療法士としての勤務経験/病院や施設での勤務経験を有する教員が、精神障害者への作業療法について解説する。/ 徳永 瑛子/地域の障害福祉センターでの勤務経験/実際に現場で会う子どもたちの特性、反応の仕方、対処法を伝達している/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(9月30日・3校時)	オリエンテーション:生物のコミュニケーションとは(岡田)
第2回(9月30日・4校時)	動物コミュニケーションとその進化1(岡田)
第3回(10月7日・3校時)	動物コミュニケーションとその進化2(岡田)
第4回(10月7日・4校時)	動物コミュニケーションの生理学的基礎(岡田)
第5回(10月14日・3校時)	昆虫の化学コミュニケーション(岡田)
第6回(10月14日・4校時)	コオロギの音声コミュニケーション(岡田)
第7回(10月21日・3校時)	小鳥の音声コミュニケーション(岡田)
第8回(10月21日・4校時)	オリエンテーション:精神障害とコミュニケーション(田中)
第9回(10月28日・3校時)	うつ病とコミュニケーション(田中)
第10回(10月28日・4校時)	コミュニケーションスキルトレーニング1(田中)
第11回(11月4日・3校時)	コミュニケーションスキルトレーニング2(田中)
第12回(11月4日・4校時)	コミュニケーションスキルトレーニング3(田中)
第13回(11月11日・3校時)	発達障害とコミュニケーション1(徳永)
第14回(11月11日・4校時)	発達障害とコミュニケーション2(徳永)
第15回(11月18日・3校時)	講義の総括・最終試験(岡田)
第16回(11月18日・4校時)	講義の総括・最終試験(田中・徳永)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587050501	科目番号 / Course code	05870505
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15341_005		
授業科目名 / Course title	a23音表現とグループ・プロセス / Music and Group Process		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館516室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	昼休み(事前にメールにてアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>本講義では、共に奏でることとそれによって人々がつながりあうことの意義について体験を通して考えることを主とする。実技も含むが、音楽の得意・不得意は一切問わない。音楽に苦手意識のある方の受講を歓迎する。いわゆるクラシック音楽は、講義内容に含まれないため注意すること。</p> <p>音楽を演奏する行為は、その原初は、遊びであると同時に、コミュニティ形成のための一つの手段だったはずである。音楽がプロ化することで、一部の人が奏で、その他大勢は聴き手にまわる文化状況が生まれ、それによって音楽の技術力は飛躍的に伸長するが、その一方で、多くの人々が音楽に音楽に参与する機会が社会の中で減少した。</p> <p>近代化した社会では減少してしまった「誰かと共に気楽に音楽を奏でる」という行為は、個人のウエルネスやコミュニティ形成にとって重要であることは今も変わらない。この点について、民族音楽学者、トマス・トゥリノ氏の理論的な枠組みを使って体験的に考察を深めていく。また、ウエルネスの実現のために音楽が果たす役割について体験をもとに考えるために、音楽と関連させたヨガの体験を行う。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>音および音楽の表現力・影響力について体験的に理解し、それについてことばで語ったり書いたりすることができる。</p> <p>自らの体験や考えを分かりやすく相手に伝えることができる。</p> <p>自らと音楽の関係、音楽を通じた他者とのかかわり、社会における音楽の役割について考えを述べるることができる。</p> <p>持続可能な開発について音楽を切り口として考えることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>レポート・提出物 70%</p> <p>出席・講義への参加度 30%</p> <p>授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	復習課題：講義内容の振り返り 2h 予習課題：課題文献の要約 2h
キーワード/Keywords	参与型音楽 ワークショップ ヨガ
教科書・教材・参考書/Materials	ヨガの体験の際に、床に敷くためのバスタオルが必要となるため持参すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	できるだけ欠席をせず講義に参加すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	木部崎 幸子/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を有している。/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を活かし、現代社会におけるアーティストという職業について、これまでの経験をもとに話をさせていただくことで、音楽と社会の関わりの一側面について明らかにする。また、もう一つは、グローバル化の中で、伝統音楽の今とこれからがどうなっていくのか、いくべきなのかについての授業を実施する。/ 西田 治/音楽ワークショップの開催経験を持つ。人と音楽のかかわりについて、ワークショップの実施経験を踏まえて講義を実施する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 音で遊ぶ
第2回	ヨガと音楽
第3回	グループでの即興演奏 1
第4回	ヨガのアート
第5回	グループでの即興演奏 2
第6回	体調を整えることと音楽
第7回	サウンドスケープ 1
第8回	マインドフルネス 1
第9回	サウンドスケープ 2
第10回	マインドフルネス 2
第11回	参与型音楽の概要
第12回	ミュージックメディスン
第13回	持続可能な音楽行為
第14回	音楽と呼吸
第15回	気づきを向けること

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587067901	科目番号 / Course code	05870679
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16451_005		
授業科目名 / Course title	a23人間関係の心理学COC / Educational and School Psychology ('20)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	當山 明華 / Toyama Sayaka		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-toyama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育開発推進機構アドミッションセンター		
担当教員TEL/Tel	2115		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本科目は「グループ・コミュニケーション」のモジュール科目として、大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる基礎能力の育成を目指します。</p> <p>他者や社会を理解する科目ですが、これらを理解するためにはまず自分を知ることが大切です。そのために、最初に自己の感情や思考についての理解を深め、その後他者や社会について理解を深めていきます。</p> <p>この科目では、最初に理論を学び、その後理論を用いたワーク、グループ。ディスカッション等を行います。自己と他者の基礎的知識を理解し実践によって定着することで、皆さんの社会生活が豊かになることを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1)自己および他者についての基礎的な知識を得ることができる</p> <p>(2)自分の気持ちや考えを整理することができる</p> <p>(3)自分の気持ちや考えを他者に表現することができる</p> <p>(4)自分の考えと異なる他者の考えを理解できる</p> <p>(5)思わぬ事態が起こった際に客観的に考えようとするすることができる</p> <p>(6)社会や環境への意識を高めることができる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>成績評価は、課題(60%)およびリフレクションペーパー(40%)の評価で行います。課題の評価は提示するルーブリックを用いて行います。リフレクションペーパーは出席も兼ねています。また、下記の条件を全て満たした方のみを評価対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席は8回以上 ・最終課題以外の課題提出は5回以上 ・最終課題の提出 <p>(課題については、期限外の提出は認めません)</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回とも、テーマに沿ったワークを行っています。学修を深めるために復習を行い(1h)、それを元にしたレポートの提出を求めます(3h)。
キーワード/Keywords	論理的思考, 批判的思考, グループワーク
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業のなかで随時配布・提示します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	全回出席が可能なこと。集中して授業や課題に取り組むこと。自分の言動に責任を持てることを求めます。 教員からの指示がない限り、授業中のPCおよびスマートフォンの使用は不可とします。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では、理論の理解を元に自己および他者との関わりを実践的に行います。そのため、授業外での学修や課題、調査の比重が大きいです。受講を希望する人はその点に留意して参加して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1, 2回	オリエンテーション, 自分自身を知る
第3, 4回	自己とは何か
第5, 6回	自己と他者(1)ステレオタイプ, 対人認知
第7, 8回	自己と他者(2)
第9, 10回	自己と社会(1)集団内での人間関係
第11, 12回	自己と社会(2)
第13, 14回	自己と環境
第15回	まとめと振り返り